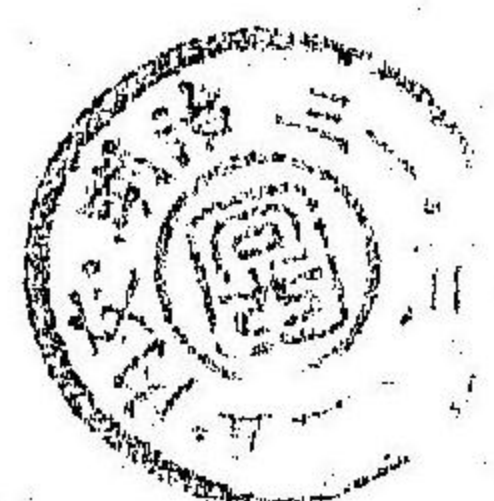


正1199

75-47

理學博士飯島魁編纂



保壽易圖譜

東京 有斐閣書房

保護鳥圖譜序

曩ニ本省狩獵法施行細則ヲ發令シ捕獲ヲ禁スル鳥類ノ名稱及保護ノ季節ヲ指示セリ而シテ其鳥類ノ各地方ニ於ケル同種ニシテ異名ノモノアリ或ハ一名ニシテ數種ヲ混稱スルモノアリ又甲地ニハ多クシテ乙地ニハ稀ナルモノアリ其解釋ニ苦ムノ憾ナキ能ハサルヲ以テ理科大學教授理學博士飯島魁氏ニ囑シ保護鳥ノ種類ニ就キ其性質產地等ノ説明ヲ要シ加フルニ寫生圖ヲ掲出シ名ケテ保護鳥圖譜ト云フ今此書ヲ印刷シテ世上ニ頒ツ庶幾クハ疑似ノ惑ヲ解キ保護ノ要領ヲ得ルニ便益ナラント云爾

明治三十年二月

農務局長 藤田 四郎 識

保護鳥圖譜

緒言

余嘗テ農務局長ノ囑ヲ受ケ保護鳥類ノ形狀性質產地等ヲ
講説ス農務局員三田清三郎氏即チ余カ口述スルマ、ヲ筆
記シテ冊ヲナス又理科大學動物學教室ノ助手長原孝太郎
氏ニ托シテ鳥類着色圖ノ調整ヲナサシメ余之レヲ監督シ
テ補修シ保護鳥圖譜ノ稿ヲ脱ス乃チ之ヲ局長ニ進ム局長
ハ之ヲ舊農務局員織田完之氏ニ囑シテ辭文ヲ訂正セシム
思フニ我邦鳥類保護ノ制ナキ久シ濫殺ノ酷虐ナル殆ント
有益鳥類ノ種族ヲ絶滅セントスルニ近シ今ヨリ法令施行
其宜キヲ得バ其蕃息スルヲ旺盛ナルニ至リ農政上ノ實益

モ亦蓋シ此中ニ起ルナルベシト云フ

明治三十年一月

理科大學教授理學博士 飯島 魁 識

凡例

- 一 此編ハ現今ニ於ケル本邦ノ被保護諸鳥ヲ類聚シテ之ヲ圖解シ以テ之カ保護ノ要領ヲ示スニアリ
- 一 被保護鳥類ハ狩獵法第十八條ニヨリ其卵雛ニ至ルマデ保護セラレタルモノナルガ故ニ此等ノ性狀ヲ示スノ要アリト雖モ材料未タ全カラス今之ヲ併示スルヲ得ス
- 一 鳥体形質ノ記述ハ成ルヘシ通俗的ナルヲ務メタリ
- 一 鳥類實物ニ就キテ其保護鳥ナルヤ否ヤヲ判定スルノ便ニ供センガ爲メ保護鳥索引表ヲ掲ケタリ
- 一 此編記スル所ノ尺度ハ專ハラ曲尺ヲ以テセリ
- 一 編中翼長ト云フハ伸張セル翼ノ全長ニハ非ラス、翼ニハ前方ニ向ヒタル角腕關節アリテ此點ヨリ最長風切是ハ翼ニ列生スル最大形ノ羽ヲ云フ、ノ末端マテノ距離ヲ翼長ト名クルナリ
- 一 諸圖縮小ノ度ハ每圖ノ側ニ分數ヲ記入シテ示セリ
- 一 此編ノ創意ハ狩獵法ニ規定セル主旨ヲ詳明ナラシムルニ在リ因テ保護鳥獸ニ關スル諸規則及ヒ鳥獸保護期一覽表ヲ卷尾ニ掲ケテ參照ニ資ス

保護鳥圖譜

目次

| | | |
|-----------------------|---|---|
| ○序 | | |
| ○緒言 | | |
| ○凡例 | | |
| ○保護鳥索引用法說明 | | |
| ○保護鳥所屬部類索引 | | |
| ○鶴 <small>ツル</small> | 一 丹頂鶴 <small>マシロ</small> 第一版、一圖..... 三頁 | 一 |
| | 二 真那鶴 <small>マナ</small> 全、二圖..... 四頁 | 二 |
| | 三 鍋鶴 <small>ナベ</small> 全、三圖..... 五頁 | 三 |
| | 四 黑鶴 <small>クロ</small> 第二版、四圖..... 五頁 | 四 |
| | 五 袖黑鶴 <small>ソデクロ</small> 全、五圖..... 六頁 | 五 |
| | 六 姉羽鶴 <small>シモ</small> 全、六圖..... 七頁 | 六 |
| ○燕 <small>ツバメ</small> | 八頁 | 七 |

| | | | |
|----|--------|---------------|-----|
| 七 | 通常燕 | 第三版、七圖 | 九頁 |
| 八 | 琉球燕 | 全、八圖 | 一〇頁 |
| 九 | 腰赤燕 | 全、九圖 | 一〇頁 |
| 十 | しやうとう燕 | 全、十圖 | 一一頁 |
| 附 | 岩燕 | 全、十一圖 | 一二頁 |
| ○ | から類 | | |
| 十一 | 小雀 | 第四版、十二圖 | 一三頁 |
| 十二 | 日雀 | 全、十三圖 | 一四頁 |
| 十三 | 四十雀 | 全、十四圖 | 一五頁 |
| 十四 | 五十雀 | 全、十五圖 | 一六頁 |
| 十五 | 柄長 | 全、十六圖 | 一七頁 |
| 十六 | 島柄長 | 全、十七圖 | 一八頁 |
| 十七 | 鶴 | 全、十八圖 | 一九頁 |
| 附 | 山雀 | をうすどんがら 菊戴 木走 | 二〇頁 |
| ○ | 杜鵑類 | | |
| 十八 | 杜鵑 | 第五版、二十二圖 | 二二頁 |
| 十九 | 郭公 | 全、二十圖 | 二三頁 |
| 附 | 筒鳥 | 第五版、二十一圖 ぶらうち | 二四頁 |

| | | | |
|-----|------|---|-----|
| ○ | 三光鳥 | | 二七頁 |
| 二十 | 三光鳥 | 第五版、十九圖 | 二七頁 |
| ○ | 雉 | | |
| 二十一 | 通常雉子 | 第六版、二十三圖 | 二九頁 |
| 二十二 | 高麗雉子 | 全、二十四圖 | 三〇頁 |
| 二十三 | 通常鷓雉 | 第七版、 <small>二十五圖雌</small> <small>二十六圖雄</small> | 三一頁 |
| 二十四 | 赤鷓雉 | 第八版、二十七圖 | 三二頁 |
| ○ | 鶺鴒 | | |
| 二十五 | 白鶺鴒 | 第八版、二十八圖 | 三四頁 |
| 二十六 | 脊黑鶺鴒 | 全、二十九圖 | 三五頁 |
| 二十七 | 黃鶺鴒 | 第九版、 <small>三十圖</small> <small>三十一圖</small> | 三六頁 |
| 二十八 | 頬白鶺鴒 | 全、三十四圖 | 三七頁 |
| 二十九 | 爪長鶺鴒 | 全、三十三圖 | 三七頁 |
| 三十 | 岩見鶺鴒 | 全、三十二圖 | 三八頁 |
| 附 | 田鶺鴒 | びんざり | 三九頁 |
| ○ | 椋鳥 | | |
| 三十一 | 通常椋鳥 | 第十版、三十五圖 | 四一頁 |
| 三十二 | 小椋鳥 | 全、三十六圖 | 四二頁 |

| | | | |
|-------|----------|-----------|-----|
| 三十三 | 唐椋鳥 | 第十版、三十七圖 | 四三頁 |
| ○ 鸚 | | | |
| 三十四 | 上 | 第十一版、三十八圖 | 四五頁 |
| 三十五 | 瑠璃 | 全、三十九圖 | 四六頁 |
| 三十六 | 黃 | 全、四十圖 | 四七頁 |
| 三十七 | 野 | 全、四十一圖 | 四八頁 |
| 三十八 | 絞 | 全、四十二圖 | 四九頁 |
| 三十九 | 小絞 | 全、四十三圖 | 五〇頁 |
| 附 | 大瑠璃、小燕 | | 五一頁 |
| ○ 雲雀 | | | |
| 四十 | 通常雲雀 | 第十二版、四十四圖 | 五二頁 |
| 四十一 | 大雲雀 | | 五三頁 |
| 四十二 | 濱雲雀 | 全、四十五圖 | 五三頁 |
| ○ 鶉 | | | |
| 四十三 | 通常鶉 | 第十二版、四十六圖 | 五五頁 |
| 四十四 | 小笠原鶉 | | 五六頁 |
| 四十五 | 琉球鶉 | | 五六頁 |
| ○ 鴉 | | | |
| 四十六 | 通常鴉 | 第十三版、四十七圖 | 五九頁 |
| 四十七 | 赤 | 全、四十八圖 | 六〇頁 |
| 四十八 | 兒 | 全、四十九圖 | 六〇頁 |
| 四十九 | 琉球 | | 六一頁 |
| 五十 | 大 | 第十四版、五十圖 | 六二頁 |
| 附 | 大唐 | | 六二頁 |
| ○ 啄木鳥 | | | |
| 五十一 | 小啄木 | 第十四版、五十一圖 | 六三頁 |
| 附 | 自餘ノ啄木鳥諸種 | | 六四頁 |
| ○ 松鷄類 | | | |
| 五十二 | 松 | 第十四版、五十二圖 | 六五頁 |
| 五十三 | 雷 | 第十五版、五十三圖 | 六七頁 |
| ○ 鳩 | | | |
| 五十四 | 河原 | 第十六版、五十五圖 | 六八頁 |
| 五十五 | 雄 | 全、五十六圖 | 七〇頁 |
| 五十六 | 斑 | 第十七版、五十七圖 | 七一頁 |
| 五十七 | 紅 | | 七一頁 |
| 五十八 | 金 | 第十七版、五十八圖 | 七二頁 |

| | | | |
|-------|----------|-----------|-----|
| 三十三 | 唐椋鳥 | 第十版、三十七圖 | 四三頁 |
| ○ 鸚 | | | |
| 三十四 | 上 | 第十一版、三十八圖 | 四五頁 |
| 三十五 | 瑠璃 | 全、三十九圖 | 四六頁 |
| 三十六 | 黃 | 全、四十圖 | 四七頁 |
| 三十七 | 野 | 全、四十一圖 | 四八頁 |
| 三十八 | 絞 | 全、四十二圖 | 四九頁 |
| 三十九 | 小絞 | 全、四十三圖 | 五〇頁 |
| 附 | 大瑠璃、小燕 | | 五一頁 |
| ○ 雲雀 | | | |
| 四十 | 通常雲雀 | 第十二版、四十四圖 | 五二頁 |
| 四十一 | 大雲雀 | | 五三頁 |
| 四十二 | 濱雲雀 | 全、四十五圖 | 五三頁 |
| ○ 鶉 | | | |
| 四十三 | 通常鶉 | 第十二版、四十六圖 | 五五頁 |
| 四十四 | 小笠原鶉 | | 五六頁 |
| 四十五 | 琉球鶉 | | 五六頁 |
| ○ 鴉 | | | |
| 四十六 | 通常鴉 | 第十三版、四十七圖 | 五九頁 |
| 四十七 | 赤 | 全、四十八圖 | 六〇頁 |
| 四十八 | 兒 | 全、四十九圖 | 六〇頁 |
| 四十九 | 琉球 | | 六一頁 |
| 五十 | 大 | 第十四版、五十圖 | 六二頁 |
| 附 | 大唐 | | 六二頁 |
| ○ 啄木鳥 | | | |
| 五十一 | 小啄木 | 第十四版、五十一圖 | 六三頁 |
| 附 | 自餘ノ啄木鳥諸種 | | 六四頁 |
| ○ 松鷄類 | | | |
| 五十二 | 松 | 第十四版、五十二圖 | 六五頁 |
| 五十三 | 雷 | 第十五版、五十三圖 | 六七頁 |
| ○ 鳩 | | | |
| 五十四 | 河原 | 第十六版、五十五圖 | 六八頁 |
| 五十五 | 雄 | 全、五十六圖 | 七〇頁 |
| 五十六 | 斑 | 第十七版、五十七圖 | 七一頁 |
| 五十七 | 紅 | | 七一頁 |
| 五十八 | 金 | 第十七版、五十八圖 | 七二頁 |

| | | |
|-----|---|-----|
| 五十九 | 絲鳩 <small>スズメバト</small> ……………第十七版、五十九圖…………… | 七三頁 |
| 六十 | 琉球絲鳩 <small>リュウキウスズメバト</small> …………… | 七三頁 |
| 六十一 | 鴉 <small>カラス</small> 鳩……………第十八版、六十圖…………… | 七四頁 |
| 六十二 | 小笠原鴉 <small>オガサハラスズメバト</small> 鳩…………… | 七四頁 |
| 六十三 | 赤頭鴉 <small>アカシラカラスバト</small> 鳩……………第十八版、六十一圖…………… | 七五頁 |
| 六十四 | 琉球鴉 <small>リュウキウカラスバト</small> 鳩……………全、六十二圖…………… | 七五頁 |

○保護鳥獸ニ關スル法令……………七七頁

○鳥獸保護期一覽表……………七九頁

以上

保護鳥索引用法説明

此索引ハ所謂二分岐法ニ依ルモノニシテ自然的分類ニハ關係ナシ即チいろは字ヲ附シタル
 數部ヲ設ケ更ニ各部ニ必ズ二項ヲ置ク而シテ本書中ニ記載シタル鳥ナレバ之ヲいヨリ對照
 シテ其性質ノ投合スル項ノ下段ニ指定シタル所ニ隨ヒ追蹤シ行ケハ終ニ鳥名ヲ發見スルノ
 仕組ナリ例ヘバ今讀者ハ一羽ノ鳩ヲ手ニ持ツモ其何鳥ナルヤヲ識ラス之レカ名稱ヲ發見セ
 ント欲スト假想セヨ先ツ第一ニ次出ノ表中ニ就キ其一項ニ相當スルカ二項ニ相當スルカ
 ヲ定ムベキナリ鳩ニテハ三趾前方ニ向ヒ一趾ノミ後方ニ向フ依テいノ二項ニ屬スルモノナ
 ルヲ明ナリ而シテ該項下段ニハニ移レトアル故更ニハノ部ニ就キ參照スルニ此部ノ一項ニ
 ハ相當セザルモノ二項ニハ相當ス、是ニハニ移レトアルヲ以テにノ兩項ト對照スルニ鳩ノ翼
 長是ハ凡例ニ説明セリハ四寸ヨリモ長シ左レバにノ一項ニ相當スルナリ、此下段ニハニ移
 レト指定シアリ、依テハニ移レバ其二項ニ屬シヘニ移レトノ指定アリ、之ニ從ヒヘニ移レバ其
 二項ニ相當シ更ニヒニ移レバ一項ニ相當シテ二項ニハ相當ヒズ而シテヒノ一項ノ下段ニ鳩
 六八頁トアリ、是ニ於テ讀者ノ手ニ持タル鳥ハ鳩ナルヲ知ルベシ、尙ホ尋テ示指シアル一五
 頁ヲ披見セバ此處ニハ又本邦ニ産スル鳩ノ種類ヲ定ムル爲メナル索引アルヲ見ルベシ、此索
 引ト實物ヲ前述ノ方法ニヨリ尙ホモ對照シ行ケバ彼ノ鳩ハ何鳩ナルカヲ識ルニ至ルベシ
 此書中ニ掲グル諸索引ハ本書ニ記載シタル諸鳥ヲ基礎ト爲シ調製シタルモノナレハ記載以
 外ノ鳥ハ多クハ索引ノ中途ニテ孰レノ項ニモ當挿ラザルニ至ルベシ或ハ時ニ種名マデモ索

メ得タリト思ハル、場合アルモ其種ノ説ト對照スルトキハ必ラズ相異ノ點アルヲ發見スル
ナルベシ、尙ホ玆ニ注意ヲ要スル一事ハ縱令本書中ニ記載シタル保護鳥ト雖モ雜鳥ナルカ若
クハ羽ノ甚シク損傷シタルモノハ搜索スルヲ能ハザルベシ

○保護鳥所屬部類索引

- い
 - 一、二趾ハ前方ニ二趾ハ後方ニ向フ……………ろニ移レ
 - 二、三趾ハ前方ニ一趾後方ニ向フ……………はニ移レ
- る
 - 一、足ハ黄色、鼻孔露出ス……………○杜鵑類(二二頁)
 - 二、足ハ黄色ニ非ズ、鼻孔羽毛ニヨリ隠蔽セラル……………○啄木鳥(六三頁)
- は
 - 一、脚及ビ足長シ、鳥体大ナリ……………○鶴(一頁)
 - 二、然ラズ、鳥体小形乃至中大ナリ……………にニ移レ
 - 三、翼長四寸或ハ四寸ヨリモ長シ……………はニ移レ
- に
 - 一、翼長四寸ヨリモ短シ……………ぬニ移レ
 - 二、後趾ノ爪普通ヨリモ長シ……………○雲雀(五二頁)
- ほ
 - 一、然ラズ……………へニ移レ
- へ
 - 一、尾羽ハ末端ノ方ニ細ク且ツ尖レリ、鳥体大ナル方……………○雉(二九頁)
 - 二、然ラズ、中大ノ鳥ナリ……………とニ移レ
- こ
 - 一、嘴ハ軟皮ヲ被ハリ、鼻孔上ニ軟辨ヲ垂ル……………○鳩(六八頁)
 - 二、然ラズ、嘴ハ堅硬ナリ……………ちニ移レ
- ち
 - 一、脛ハ羽毛ヲ生ジ露出セズ……………○松鷄類(六五頁)
 - 二、脛ハ然ラズ普通ノ有様ナリ……………りニ移レ

嘴及ビ足ハ黄色ナリ(通常むくどり).....○椋鳥(四一頁)
 嘴及ビ足ハ黄色ニ非ラズ.....○鶇(五五頁)
 翼長三寸ヨリモ長シ.....るニ移レ
 翼長三寸ヨリモ短シ.....れニ移レ
 嘴ハ甚ダ短ク口裂廣濶ナリ.....○燕(八頁)
 然ラズ.....をニ移レ
 後趾ノ爪普通ニ於ケルヨリモ長シ.....○雲雀(五二頁)
 後趾ノ爪普通ノ長サナリ.....わニ移レ
 嘴ハ壯大ニシテ堅幅廣ク尖端鈎曲ス.....○鶇(五八頁)
 然ラズ.....わニ移レ
 額部白ク白色ノ眉アリ(白セキレイセグロセキレイ).....かニ移レ
 然ラズ.....かニ移レ
 頭上一様ニ灰白色或ハ茶褐色尾比較的ニ短シ.....よニ移レ
 然ラズ.....よニ移レ
 中央二枚ノ尾羽ハ他ノ尾羽ニ比シ著シク長シ.....たニ移レ
 然ラズ頰部焦茶色ナリ.....たニ移レ
 嘴壯大ニシテ堅幅廣ク末端鈎曲セリ.....○鶇(五八頁)
 然ラズ.....たニ移レ
 嘴ハ根元ニテ横幅廣ク上ヨリ見ルトキハ三角形ヲ呈ス.....つニ移レ
 嘴細ク圓錐狀ナリ.....つニ移レ
 中央ナル二枚ノ尾羽ハ他ノ尾羽ヨリモ著シク長シ.....ねニ移レ
 然ラズ小鳥ナリ.....○鶇(四五頁)
 上面ニ於ケル尾根ハ青色ヲ帯ビ腹側茶色ヲ呈ス(ルリビタキ).....○鶇(四五頁)
 然ラズ.....ねニ移レ
 鼻孔ハ前方ニ向ヒタル羽毛ニヨリ隠蔽セラル.....なニ移レ
 鼻孔露出ス.....なニ移レ
 至テ小サキ鳥ニシテ翼長二寸以下(ミンサソイ).....○から類(二三頁)
 稍々大ニシテ翼鳥二寸八分以上.....○鶇 鶇(三四頁)

嘴及ビ足ハ黄色ナリ(通常むくどり).....○椋鳥(四一頁)
 嘴及ビ足ハ黄色ニ非ラズ.....○鶇(五五頁)
 翼長三寸ヨリモ長シ.....るニ移レ
 翼長三寸ヨリモ短シ.....れニ移レ
 嘴ハ甚ダ短ク口裂廣濶ナリ.....○燕(八頁)
 然ラズ.....をニ移レ
 後趾ノ爪普通ニ於ケルヨリモ長シ.....○雲雀(五二頁)
 後趾ノ爪普通ノ長サナリ.....わニ移レ
 嘴ハ壯大ニシテ堅幅廣ク尖端鈎曲ス.....○鶇(五八頁)
 然ラズ.....わニ移レ
 額部白ク白色ノ眉アリ(白セキレイセグロセキレイ).....かニ移レ
 然ラズ.....かニ移レ
 頭上一様ニ灰白色或ハ茶褐色尾比較的ニ短シ.....よニ移レ
 然ラズ.....よニ移レ
 中央二枚ノ尾羽ハ他ノ尾羽ニ比シ著シク長シ.....たニ移レ
 然ラズ頰部焦茶色ナリ.....たニ移レ
 嘴壯大ニシテ堅幅廣ク末端鈎曲セリ.....○鶇(五八頁)
 然ラズ.....たニ移レ
 嘴ハ根元ニテ横幅廣ク上ヨリ見ルトキハ三角形ヲ呈ス.....つニ移レ
 嘴細ク圓錐狀ナリ.....つニ移レ
 中央ナル二枚ノ尾羽ハ他ノ尾羽ヨリモ著シク長シ.....ねニ移レ
 然ラズ小鳥ナリ.....○鶇(四五頁)
 上面ニ於ケル尾根ハ青色ヲ帯ビ腹側茶色ヲ呈ス(ルリビタキ).....○鶇(四五頁)
 然ラズ.....ねニ移レ
 鼻孔ハ前方ニ向ヒタル羽毛ニヨリ隠蔽セラル.....なニ移レ
 鼻孔露出ス.....なニ移レ
 至テ小サキ鳥ニシテ翼長二寸以下(ミンサソイ).....○から類(二三頁)
 稍々大ニシテ翼鳥二寸八分以上.....○鶇 鶇(三四頁)

保護鳥圖譜

農務局纂訂

(第一) 四季共ニ保護ヲ加ヘキ鳥類

○鶴



鶴ハ其形貌瀟洒羽毛美麗ノ大鳥ニシテ本邦ニ於テハ古來之ヲ靈禽ノ一ニ數ヘ或ハ詩歌ニ詠シ或ハ繪畫ニ寫シ或ハ織紋ニ彫刻ニ其形狀ヲ摸出シ又之ヲ苑囿ニ畜養スル等之ヲ賞愛スルヲ他邦ニ比テアラズ維新前ニ在テハ竣刑ヲ設ケテ之ヲ保護シタルヲ以テ到ル處此鳥ノ優美ナル姿ヲ見ルヲ得タルモ維新以來ハ其制度解ケタルヲ以テ其數漸ク減シ今日ニ在リテハ殆シト其跡ヲ絶タントスルニ至レリ豈憾ムヘキノ至リナラスヤ然レモ猶ホ毎歲晩秋ノ頃ニ至レバ往々鶴群ノ中天ニ飛翔シテ清唳ノ聲ヲ放ツヲ聞クアリ今ニシテ之ニ保護ヲ加ヘハ又永ク其優美ノ姿ヲ見ルヲ得ンカ元來鶴ハ穀類若シハ水中ノ小動物等ヲ食餌トシ秋季大陸ヨリ來リ其一部分ハ本邦ヲ過キテ南方ニ渡リ又一部分ハ冬季間本邦ニ棲息シ初春營巢ノ爲メ再ヒ大陸ニ向テ去ルモノ、如シ但其小數ハ夏季ト雖モ本邦殊ニ北海道ニ留リ巢ヲ營ミテ雛ヲ育ツルモノモアリ而シテ本邦ニ於テ見ル所ノ鶴ニ六種アリ曰ク丹頂鶴カシキヤ眞那鶴マナ鍋鍋鶴ナベナベ黑鶴クロ袖黑鶴ソデクロ姉羽鶴シハ是ナリ此他地方ニ由リテハ鷺屬ノ鳥ニシテ外形ノ相似タルニヨリテ鶴ノ名稱ヲ附

スルコアルモ是レ全ク鶴屬ニハアラサルナリ又鶴ハ俗ニ之ヲこうづると稱スト雖モ是又動物學上鶴ノ類ニ入ルヘキモノニアラズ今第一版及ヒ第二版ニ鶴六種ノ縮小圖ヲ出セリ又實物ニ就キテ其種名ヲ探クルノ便ニ供セン爲メ左ニ索引表ヲ掲グ

- い 一、 軀幹ニ白色部多シ……………ろニ移レ
- 二、 軀幹ハ主トシテ灰白灰黒若クハ灰褐色ナリ……………ほニ移レ
- ろ 一、 頸ニ黑色部アリ……………○丹頂親(一號)
- 二、 頸ニ黑色ナク純白若クハ茶褐色ナリ……………はニ移レ
- は 一、 頭上ニ羽毛アルコ常ノ如シ頸ハ茶褐色ナリ……………○丹頂幼(一號)
- 二、 頭上ニ羽毛ナク皮膚ヲ露出ス……………にニ移レ
- に 一、 頸ノ全部純白ナリ……………○袖黒親(五號)
- 二、 頸ノ上部茶色ナリ……………○袖黒幼(五號)
- ほ 一、 頸ノ全部軀幹ト同色ナリ……………へニ移レ
- 二、 頸ニ白色部アリ……………とニ移レ
- へ 一、 額黒ク頭上ニ紅毛アリ……………○黒鶴幼(四號)
- 二、 全頸灰色ニシテ眼後ニ白色羽ノ總ヲ生ス……………○姉羽(六號)
- こ 一、 頸ノ上部全ク白シ……………○鍋鶴(三號)
- 二、 頸ノ上部ニ黑色部アリ……………ちニ移レ

- ち 一、 頭上ヨリ後頸ニ亘リテ純白ナリ……………○眞那親(二號)
- 二、 頭上ヨリ後頸ニ亘リテ純白ナラズ……………りニ移シ
- り 一、 頭上ヨリ後頸ニ亘リテ茶色ナリ……………○眞那幼(二號)
- 二、 頭上ヨリ後頸ニ亘リテ黒色ナリ……………○黒鶴親(四號)

(一) 丹頂鶴 又白鶴

たんぢやうづる 又たうづる

Grus japonicus (Müller).

Sacred Crane 又 Japanese Crane.

(第壹版、壹圖、縮小)

丹頂鶴 ハ牀ノ主部純白ナルモ頭上赤色ニ額眼先頰頰及ビ咽喉部ヨリ下頸背部ニ亘ル部分ト尾端ニ垂レタル羽トハ黒色ナリ此尾端ノ黒羽ハ翼ニ屬スルモノニシテ尾羽ニハアラズ尾羽ハ白色ナリ嘴ハ綠色ヲ帯ビ脚ハ黒色ナリ本邦ニ見ル鶴類中純白ノ軀幹ト黒色ノ咽喉ヲ具フルモノハ此種ノ外他ニ有ラサルヲ以テ容易ニ之ヲ識別シ得ベシ但シ幼鳥(所謂一年子)ニ在テハ頭ニ赤色羽ナク又頸ニ黒色部ナクシテ頸頸トモニ茶褐色ヲ呈ス自餘ノ部ハ親鳥ニ等シト雖モ軀幹ノ白羽中多少ノ茶褐色ノ羽ヲ混ズ此種ハ元來本邦ノ東北部ニノミ渡リ來リ其

敷モ亦太タ多カラザリシガ如シ而シテ北海道ニ在テハ夏季ニ留リテ營巢シタルノ例アリト云フ丹頂ナル者ハ古ヨリ多ク富豪ノ庭園ニ飼養セルモノナルガ斯ハ概テ海外ヨリノ舶載ニ係リ近時ハ朝鮮ヨリ輸入スルモノ多シ蓋シ彼ノ國ニ在テハ此鶴ハ他ノ諸種ト共ニ甚ダ多クシテ營巢スルモノモアルナラン其固有ノ蕃殖地ハ正ニ西比利亞東部ノ諸地方ニ在リテ秋期南方ニ渡リ初春再ビ生産地ニ歸ルモノナリ

(二) 眞那鶴

まなづる 又わをまなノ稱アリ古名たづハ恐クハ此種ヲ指スナラン

Grus leucauchen T.

White Naped Crane.

(第壹版、二圖、縮小)

眞那鶴 ハ全身殆ト灰蒼乃至灰黒色ニシテ只頭上ヨリ頸背ニ沿ヒ肩ニ至ルノ間及ヒ咽喉部ノ前部白色ナリ眼ノ周圍赤ク嘴ハ綠色ヲ帶ビ脚ハ暗赤ナリ幼鳥ハ眼ノ周圍ナル赤色部ヲ欠キ頭上ニ多少ノ茶色羽アルノ外ハ略ホ親鳥ニ同シ鶴類中軀幹灰色ニシテ頸背ノ肩ニ至ルマデ白キハ只此種アルノミナレバ容易ニ他種ト區別シ得ベキナリ
此種ハ本邦ニ在テハ古來最モ多ク諸國トモニ秋彼岸ノ頃ニ渡リ來リテ涉冬セリ其蕃殖地ハ丹頂ト同ジク西比利亞ノ東部地方ニ在リ昔時將軍家又ハ諸侯等ノ放鷹シテ獲タルハ蓋シ此鶴ヲ以テ最モ多シトス

(三) 鍋鶴 又黒鶴

なべづる 又くろつる

Grus monachus T.

White Headed Crane.

(第壹版、三圖、縮小)

鍋鶴 ハ前ノ二種ニ比シ稍小形ニシテ全身灰黒ナルモ頸ノ中程ヨリ頭部ハ白色其額及ビ眼先ノ部分ハ黒色ナリ頭上ニ赤羽ナク嘴ハ綠ヲ帶ビ脚ハ黒シ本邦ニ見ル鶴ノ諸種中上頸部ニ限リ其全周圍白色ナルハ本種ノ外ニハ一モ有ルナシ
往時ハ秋期群ヲナシテ渡來シ殊ニ西南地方ニ夥多ナリシト云フ近時ニ至リテモ九州某地ニ此鶴ノ地ニ下リタルヲ見タルヲアリト云ヘリ其主ナル生殖地ハ丹頂ト同ジク西比利亞ノ東部ニ在ルナリ

(四) 黒鶴 又玄鶴

くろつる 又ねづみづる まつまへづる

Grus cinerea Bechst.

Common Crane.

黒鶴 ハ全身灰黒ニシテ眼後ヨリ頸側ハ稍、白色ニ、咽喉部及ビ頭上ヨリ上頸背部ニ亘リテ
黒色ヲ呈シ、頭上ニハ赤羽ヲ混ズ、嘴ハ黃綠ニ脚ハ黒シ、幼鳥ハ額黒ク、頭上赤ク而シテ頰部ノ淡
白色ナルノ外ハ悉ク灰褐色ナリ、本邦ニ見ル鶴ニシテ体軀ノ殆ド全暗色ニシテ頭上赤キ種ハ
此他ニ有ラザルヲ以テ一見シテ之ヲ識別スルヲ得ベシ
此種ハ元來甚ダ多カラズ、其蕃殖地ハ歐洲ヨリ西比利亞南部ヲ通ジテ東塞加ニ達ス

(五) 袖黒鶴 又袖鶴、白鶴

うでぐろづる又そでづる、しろつる

Grus leucogeranus Pall.

Siberian White Crane.

(第二版、五圖、縮小)

袖黒鶴 ハ全身純白ナルモ翼ノ末端ナル大羽風切^{カサキ}ノミ黒色ヲ呈ス、是袖黒ノ名稱アル所以
ナリ、頭上及ビ眼ノ周圍ハ羽毛ヲ生ゼズシテ皮膚露出シ濃赤色ナリ、嘴及ビ脚ハ淡紅色ヲ呈ス、
幼鳥ハ頭及ビ上頸部ハ茶色ニ軀幹ノ白羽間ニ多少ノ茶色羽ヲ混ジ其他ハ略ボ親鳥ト同觀ナ
リ

此種ハ往時之ヲ稀ニ見タリ、是又其蕃殖地ハ西比利亞ニシテ冬間ハ西ノ方歐洲ニ至リ又南ノ
方本邦支那及印度北部ニ渡ル

(六) 姉羽鶴 又姉和鶴

あねはづる

Grus virgo L.

Demoiselle Crane 又 Numidian Crane.

(第二版、六圖、縮小)

姉羽鶴 ハ他ノ諸種ニ比シ最モ小形ノ鶴ニシテ全身灰黒色ナリ、唯眼ノ後方ニ純白色ノ長
羽總狀ヲナシテ生シ形貌頗フル美麗ナリ
此種ハ往時ニ在テモ本邦ニ之ヲ見ル^カ甚ダ稀ナリシガ如シ、其產地ハ中央亞細亞ニシテ冬期
歐洲大陸北亞弗利加、東亞細亞等ニ至ルマデ渡リ行ク

○燕

燕 ハ其嘴扁平且ツ小ナルモ口ハ大ニシテ尾羽ノ多少分叉セル小鳥ナリ其本邦ニ去來スル者ハ五種アリ、通常ノ燕琉球燕腰赤燕、しやうどう燕、及岩燕是レナリ、此等ノ諸種ハ皆食蟲性ニシテ夏季空中ニ飛遊スル蚊蠅等ノ有害蟲ヲ驅除スルヲ以テ有効鳥トス、之ヲ保護スルハ獨リ人體ノ衛生上ノミナラズ農林業上ノ利益ニ於テモ亦緊要ナリトス、岩燕ハ他種ト習性ヲ同ウスルモ其棲息地タル深山幽谷ニシテ且ツ地方ニ由リテハ之ヲ捕獲シテ生計ヲ立ツルモノアリ一朝遽ニ其捕獲ヲ禁止シ難キ事情ヲ具有スルヲ以テ始メ之ヲ保護鳥ノ中ニ置カサルナリ、以上五種ノ外ニ内裏燕一名雨燕又かりがねつばめ、針尾雨燕、小燕、海燕等ノ如キ名稱ヲ冠スル鳥アリト雖モ此等ハ皆燕屬ニ非ズ唯尾羽ノ分叉セルカ或ハ體貌ノ肖タルトニ因リ燕ノ名ヲ附セシニ過ギズ、左ニ本邦ニ産スル真正燕五種ノ索引表ヲ掲ク

- い 一、羽色中赤茶色ノ部アリ……………ろニ移レ
- 二、羽色中赤茶色ノ部ナシ……………にニ移レ
- る 一、腰部赤茶色ナリ……………○腰赤燕(九號)
- 二、腰部赤茶色ニ非ズ……………はニ移レ
- は 一、腹ハ白色ナリ……………○通常燕(七號)
- 二、腹ハ灰色ナリ……………○琉球燕(八號)

- に 一、腰部白色ナリ……………○岩燕 (附)
- 二、腰部ハ脊ト同シク暗褐色ナリ……………○しやうどう燕(十號)

(七) 通常燕

つばめ又つばくろ、ひ、こつばくらめ

Hirundo rustica gutturalis (Scop.)

Eastern Chimney-Swallow.

(第三版、七圖、全形ノ二分一)

通常燕

ハ額及ビ咽喉部ハ栗茶色ニシテ咽喉ト胸ノ間ニ暗色帯アリ而シテ胸部以下腹部ハ純白ナリ、棘ノ上部ハ頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ黒色ニシテ親鳥ハ青紫色幼鳥ハ綠色ノ光澤ヲ閃ス、尾羽ハ深ク二股ニ分叉シ無光澤ノ黒色ニシテ白點アリ

此種ハ世人ノ能ク知ル如ク春季四月初旬ニ南方ヨリ本邦ニ渡來シ夏季人家ニ巢ヲ營ミテ蕃殖シ九月十月ノ頃再ビ南方ニ向テ去ル、即チ冬間ハ暖國ニ移リテ食物ノ欠乏ト寒氣ヲ避クルモノナリ、支那及ビ滿洲ニモ此種ノ去來スルヲ見ル、歐洲ニ於テ普通ニ見ルモノハ東洋産ト着色上少シク異ナレリト雖モ亦別種ト爲スニ足ラサルガ如シ

(八) 琉球燕

りうきうつばめ

Hirundo javanica namiyei (Stejn.)

Namiye's Bungalow-Swallow.

(第三版、八圖、全形ノ二分一)

琉球燕 ハ沖繩諸島ニ棲息スルヲ以テ此名稱アリ、其形状羽色共ニ通常ノ燕ニ酷肖タルモ之ニ比スレハ稍々小形ナリ又其異ナル點ハ尾羽ノ分叉通常ノ燕ヨリ頗ル淺クシテ羽色ニ於テハ其上部ノ黒色ハ綠色ノ光澤ヲ帶ビ、栗茶色ノ咽喉ト胸トノ間ニ暗色帶ナク而シテ胸部以下腹部ハ灰白色ナリ
習性通常ノ燕ニ異ナラズ去來モ亦之レト共ニスルナラン、沖繩以北ニハ未タ此鳥ノ渡來スルヲ聞カズ、印度地方ニモ此種アリ但シ琉球ノモノニ比シテ軀形一層小ナリト云フ

(九) 腰赤燕

こしあかつばめ又どつくりつばめ、あなくらつばめ

Hirundo alpestris nipalensis (Hodgs.)

Japanese Mosque-Swallow.

(第三版、九圖、全形ノ二分一)

腰赤燕 ハ軀軀通常ノ燕ニ酷肖タルモ額ヨリ背部ニ互リ黒クシテ青色ノ光澤ヲ呈ス而シテ腰部ハ頭側部ト共ニ赤茶色ナリ、下面ハ頗ヨリ腹部ニ至ルマデ淡茶色ヲ帶ビ且數多ノ黒色ノ細縦條アリ、翼及ビ尾羽ハ無光澤ノ黒色ナルモ尾羽ニハ通常燕ニ於ケル如キ白點ヲ存セズ、本邦ニ在テハ此種ハ餘リ多カラズ、通常燕ト同ジク春來リテ秋ニ至リ去ルモノナリ、此鳥ヲ德利燕ト謂フハ屋壁ノ高處ニ德利形ノ土巢ヲ作り雛ヲ育スルニ因テナリ

(十) しやうごう燕

又すなむぐりつばめ

Cotyle riparia Tr.

Sand-Martin.

(第三版、十圖、全形ノ二分一)

しやうごう燕 ハ燕族中ノ小形ノモノナリ、尾羽ハ僅ニ分叉シ頭部ヨリ尾ニ至ルマデ暗褐色ナレ共背部ノ羽ノ縁邊ハ淡色ニ又胸部モ暗褐色ナルガ咽喉部及ビ腹部ハ白色ナリ、此種ハ通常燕ノ如ク普通ナラザルモ所ニ由リテハ群ヲ爲シテ飛翔シ海濱又ハ河岸等ノ砂土ニ穴ヲ穿チテ産卵ス、故ニすなむぐり燕ノ別稱アリ、他ノ燕類ト同ジク蕃殖期間ニノミ本邦ニ在リ

附 岩燕

いはつばめ 又はいさつばめ

Chelidon dasyptus Bp.

Black-chinned Martin.

(第三版、十一圖、全形ノ二分一)

岩燕 ハ現行法律ノ保護スル所ニ非ズト雖モ法文中特ニ其名ヲ出ダスヲ以テ他種ト區別
セシメ爲メ爰ニ記載センニ大サハ略ボ通常ノ燕ノ如ク尾羽ハ短ク且ツ分叉極メテ淺ク殆ド分
叉セサルガ如シ頭ヨリ背部ニ亘リ光澤アル黒色ニシテ腰部ハ白ク尾羽及ビ翼羽ハ黒色ナリ
下面ハ頤ニ於ケル黒色小點ノ外ハ總テ白色ナリ又他種ト異ナリテ脚ノ諸趾ハ爪根ニ至ルマ
デ小羽ヲ生ズ

此種ハ夏季本邦ノ深山ニ於テ無數ニ群ヲ爲シ絶壁ニ土巢ヲ懸ケテ産卵ス秋季南方ニ渡リ「ホ
ルチヲ」高ニ於テ涉冬スト云フ彼ノ日光華嚴瀧ノ邊ニ夥シク見ルハ則チ此種ナリ通常此種ノ
居ル所ニハ雨燕及ビ針尾雨燕モ棲息ス蓋シ此兩種ハ前ニモ記シタルガ如ク燕ノ名ヲ附スル
モ燕屬ニハ非ズ其外形ハ眞正燕ニ酷肖スト雖モ軀軀著シク大ナルガ故ニ識別スルヲ容易ナ
リ

○から類

狩獵法施行細則第十四條ニ謂フ所ノ小雀、日雀、四十雀、五十雀、柄長、及ビ鷓鴣ハ動物學上同一部
類ニ總括スベキモノニシテ爰ニ之ヲ「から類」ト稱ス尙ホ右ノ諸種ノ外ニモ「から類」ニ屬スベキ
モノ數多アリ其主ナルモノヲ舉グレバ山雀、をうすどん、から、花鶏、木走、等はレナリ皆小鳥ニシ
テ小形ノ圓錐狀嘴ヲ有シ其鼻孔ハ嘴根ヨリ前方ニ向ヒ生スル羽毛ノ爲メニ多少隠蔽セラレ、
此類ニ隸屬スル鳥ハ悉ク皆草木ノ繁茂ヲ妨害スル小蟲ヲ啄ミ害ヲ致サルガ故ニ農林
業上極メテ有益ナルモノナリ現行法律ノ其一部分ヲ保護シ他ノ一部分ヲ保護外ニ措キタル
ハ其施行上ヲ斟酌シテ然ルノミ左ニ保護ノ有無ニ拘ラズ本邦ニ産スルから類ノ主要ナル諸
種ノ名稱索引表ヲ掲出ス

- い 一、喉黒ク或ハ灰黒ナリ……………ろニ移レ
- 二、喉黒カラズ……………へニ移レ
- る 一、腹側ハ栗茶色ナリ……………はニ移レ
- 二、腹側ハ栗茶色ニ非ズシテ白色乃至擬白色ナリ……………にニ移レ
- は 一、額及ビ頬ハ腹側ノ如ク栗茶色ニ非ズシテ淡茶色ナリ……………○山雀 (附)
- 二、額及ビ頬ハ腹側ト同シク栗茶色ナリ……………○ラウストン雀 (附)
- に 一、後頸ニ白色部アリ……………○日雀 (十二號)
- 二、後頸ニ白色部ナシ……………はニ移レ

- ほ 一、背ハ綠色ヲ帶ブ……………○四十雀(十三號)
- 二、背ハ灰褐色ナリ……………○小雀(十一號)
- 三、喉ハ全身ト共ニ黒茶褐色ナリ……………○鶺鴒(十七號)
- へ 一、喉ハ白色或ハ擬白色ニシテ背ト色ヲ異ニス……………○トニ移レ
- 二、頭上白シ……………○チニ移レ
- こ 一、頭上白カラズ……………○リニ移レ
- ち 一、眼上部黒シ……………○尋常柄長(十五號)
- 二、全頭白シ……………○島柄長(十六號)
- り 一、頭上ニ黄色羽ヲ生ズ……………○花鷄(附)
- 二、頭上ニ黄色羽ナシ……………○五十雀(十四號)
- ぬ 一、頭上ハ全背ト共ニ灰青色ナリ……………○木走(附)
- 二、頭上ハ背ト共ニ焦茶色ニシテ白點アリ……………○木走(附)

(十一) 小雀 又十二雀

こがら又ぶらにから

Parus palustris japonicus Seeb.

Japanese Marsh-Tit.

(第四版、十二圖、全形ノ二分一)

小雀 *ハ雀* ヨリモ小形ニシテ四十雀ニ能ク似タリ、羽色ハ全頭上ヨリ後頸ニ互リ無光澤ノ黒色ナリ、頰及ビ咽喉ハ灰黒、頰ヨリ頸側ハ白色、背ハ灰褐色、腹ハ擬白色ヲ呈ス、翼及ビ尾ハ主トシテ黒色乃至黒褐色ナリ

此鳥ハ四時本邦ニ棲息シ夏季ハ多ク山地ニ在リテ營巢ス、秋ニ至レバ餌食ヲ逐フテ平原ニ下リテ渉冬ス、所謂漂鳥ニシテ候鳥ニハ非ズ、或ハ小群ヲ爲シテ飛翔シ或ハ他ノから類ト群ヲ俱ニスルコアリ

(十二) 日雀

ひがら

Parus ater pekinensis Seeb.

Eastern Cole-Tit.

(第四版、十五圖、全形ノ二分一)

日雀 *ハ體容小雀ニ彷彿タルモ之ニ比シテ羽色稍華美ナリ、頭上ハ青キ光澤アル黒色ニシテ其ノ羽毛ハ生活ノキ直立シテ冠狀ヲ爲ス、咽喉ハ眞黒ニ、頰ヨリ頸側ニ互リ純白ナリ、又後頸ニ黒色ニテ圍ミタル白色部アリ、背ハ灰蒼色ニシテ腰部ニ至リ少シク綠色ヲ帶ビ、胸部以下腹*

ハ擬白色ニシテ微ニ淡茶色ヲ帶ブ、尾羽及ビ風切羽ハ黒褐色ニシテ其縁邊ハ灰蒼又ハ擬白色ナリ、兩翼ノ小羽ヲ生ズル處ニ二條ノ白色帶ノ横斷スルアリ
此鳥ハ歐洲、西比利亞及ビ支那ニモ之レ有リ、本邦ニ在テハ小雀ト同ジク漂鳥ニシテ習性モ又同ジ平原ノ低地ニテハ只冬間ニノミ群ヲ爲シテ飛翔スルヲ見ル

(十三) 四十雀 又雀

しごうから

Parnus aticeps minor (T. & S.)

Manchurian Great-Tit.

(第四版、十三圖、全形ノ二分一)

四十雀 ハ前出二種ニ酷肖タリト雖モ牀軀稍大ナリ而シテ頭上ハ青色ノ光澤アル黒色ニシテ冠ハ之レ無シ、咽喉モ亦濃黒ニシテ頬ハ純白ナリ、脊上肩ノ邊ハ黄綠色ナルモ後方ニ至ルニ隨ヒ漸々ト灰蒼色ニ移ル、腹ハ擬白色ナルモ中央ニ不規則ナル黒條ヲ通ズ、尾羽ハ黒色ニシテ多少灰蒼色ヲ帶ビ、翼ノ諸羽モ亦黒色ナレドモ擬白色若クハ灰青色ノ縁邊ヲ有シ、翼ヲ横斷スル一條ノ白色帶アリ

此種及ビ前出二種ハ共ニ黒頭白頬ニシテ甚ダ種別ニ紛ラシキモノナルガ四十雀ハ肩ノ邊黄緑ナルヲ、日雀ハ後頸ニ白斑アルヲ、又小雀ハ背面ニ右ノ如キ着色部ナキヲ注意セバ三種ヲ區

別スルヲ難カラサルベシ、四十雀ハ羽色華麗ニ舉動快活ニ嘯聲愛スベキヲ以テ籠中ニ飼養セラル、モノナリ、本邦到ル處ニ四時共ニ見ル普通ノ鳥ナリ、春季ヨリ初夏ニ至ルノ頃樹木ノ空洞中ニ巢ヲ作り白色ノ小卵ヲ産シ、秋季ヨリ冬間ハ群ヲ爲シ其餌食タル小蟲ヲ逐フテ彷徨ス、此鳥ハ滿洲及ビ北支那ニモ産セリ

(十四) 五十雀

ごじうから又さめぐり、さまはり、さかほこ、さねずみ

Sitta caesia Wolf.

Nuthatch.

(第四版、十四圖、全形ノ二分一)

五十雀 ハ大サ四十雀ニ比シテ少シク大ニ嘴モ稍長大ニシテ略ホ山雀ニ等シ、額ヨリ以下背部一跡ニ灰蒼色ニシテ口角ヨリ眼部ヲ通ジテ黒條アリ、下面願ヨリ胸部ニ亘リ白色ニ腹ハ淡茶色ヲ帶ビ、腹側及ビ尾根ニ至リテ焦赤色ヲ加フ、翼羽ハ黒色ニシテ灰蒼ヲ交ヘ、尾羽ハ中央ノモノ二枚ハ全ク灰蒼此レヨリ左右ニ次グ二枚ハ純黒ニシテ末端ノミ灰蒼ナリ而シテ最外ノ二枚ハ末端淡黒ニ中間白ク根部純黒ナリ

以上ハ本邦内地ニ見ル所ノ五十雀ニ就キ記述シタルモノナルガ北海道ニハ腹部淡茶色ヲ帶ビズシテ純白ナル(其他ノ羽色ハ同ジ)モノヲ産ス、北西比利亞ニ見ル所ノ五十雀之ニ同ジ又東

寒加ニハ額部ノ白色ナルモノヲ産シ我が千島ニモ亦之ヲ見ルト云フ、以上述ブル如ク五十雀ノ羽色上少シク變化アリト雖モ未ダ以テ別種ト爲スニ足ラズ
五十雀ハ四時共ニ我邦ニ在リ、夏季ハ多ク山地ニ在リテ營巢シ秋季群ヲ爲シテ平原ニ下リ食ヲ求ム、其習性他ノから類ト一般ニシテ能ク歩シテ樹幹ノ周圍ヲ回旋シツ、上下ス、故ニさめぐり又さまわりノ名アル所以ナリ

(十五) 尋常柄長

ゑなが 又ゑびしやくまつさがり

Acedula trivirgata (T. & S.)

Japanese Long-tailed Tit.

(第四版、十六圖、全形ノ二分一)

本邦ニ産スル柄長ニ二種アリ、通常ノ柄長及ビ島柄長是レナリ、通常柄長ハ我邦ニ棲息スル極小鳥ノ一ナルガ尾ハ本軀軀ノ一倍以上ノ長サアリ、額ヨリ頭上ハ純白ニシテ其兩側則チ眼上ヨリ後方ニ伸延シテ黒色部アリ、背ハ黒ト淡紫赤ヲ雜ヘ、願以下々面ハ一体ニ白色ナルモ腹部ニ至リ淡白ナル紫赤色ヲ帶ブ、翼羽ニハ全羽黒色ノモノト一部分白色ノモノトアリ、尾羽ハ中央ノ四枚ハ全黒ナルモ外側ノ三枚ニハ多少白色部アリ且ツ其長サハ外側ニ至ルニ隨ヒ漸ク短シ

此鳥ハ多數ノから類ト同ジク夏季山地ニ於テ蕃殖シ秋季群ヲ爲シテ平原ニ下リ涉冬ス、時ニ四十雀若クハ花鷄ノ群ニ混ジテ之ヲ見ルコトアリ、朝鮮ニハ此種アリト雖モ我が北海道ニハ未ダ産スルヲ聞カズ但シ該道ニハ別種ナル島柄長アリテ之ヲ代表ス

(十六) 島柄長

ゑまゑなが

Acedula caudata (L.)

Continental Long-tailed Tit.

(第四版、十七圖、全形ノ二分一)

島柄長 ハ形状羽色共ニ前出通常柄長ニ同ジ、唯ダ其通常柄長ト異ナルハ全頭純白ニシテ黒色部ヲ雜ヘザルニアルノミ
此鳥ハ四時北海道ニ在リテ其中稀レニ冬季中津輕海峽ヲ横過シテ内地東北部ニ彷徨スルモノ之レアリ、但シ我が北海道ニ限り産スルニ非ズシテ廣ク西比利亞及ビ歐洲ニモ亦産ス

(十七) 鷓鴣

みろつぐい 又さやい、さいき、みそぬすみ、みそく、り、みそつく、みそつどり

Troglodytes funigatus T.

Japanese Wren.

鶉 鶉ハ極メテ小形ノ鳥ナリ、羽色華美ナラザルモ、舉動輕快ニシテ、鳴聲甚ダ愛スベシ、全身
焦茶色ニシテ、腰翼尾及腹ノ各羽ニハ細少ノ黒キ横條所謂應文アリ、尾羽ハ短ク生活ノ其
末端ヲ少シク上方ニ向ハシム、千島ニ産スル鶉ハ其嘴内地産ノモノニ比シ少ク長大ナル
ヲ常トス

此種モ四時本邦ニ在リ、多クハ山地ニ於テ蕃殖シ、冬間平原ニ出ヅ、其巢ハ壘狀ニシテ一端ニ小
口ヲ開キ苔蘚羽毛等ヲ以テ巧ミニ作り、樹木ノ空洞家屋ノ隙等ノ中ニ在リ、餌食ハ總テ他ノ
から類ト一般ニ蜘蛛及ビ其他小蟲ニアリ、亞細亞大陸及ビ歐洲ニ見ル所ノ鶉ハ本邦産ト種
ヲ異ニセリ

(附)

爰ニ現行法ノ保護ニ漏レタルから類諸種ニ就キ其性狀羽色等ヲ略記センニ

- 山雀 (Parus varius E. & S.) ハ性伶俐ニシテ人ニ馴レ易キヲ以テ普通ノ籠鳥トス、額ヨリ頰
ニ亘リテ淡茶色、後頸ニモ同色部アリ、其他頭上及ビ咽喉ハ黒色ニ肩ハ栗茶色、自餘ノ上面部
ハ灰青色ナリ、胸腹ノ側部ハ栗茶色ナルモ中央部ハ淡色ナリ
- きうすとん雀 (Parus ovstoni H.) ハ伊豆七島ニ産スル山雀ナリ、其前記ノ山雀ト異ナル
ハ額頰後頸及ビ全胸腹トモニ皆栗茶色ニシテ淡茶色ノ部ナキニアリ、其他ハ大略通常ノ山
雀ニ等シ、籠鳥家ノ所謂相山雀ナルモノ或ハ是レナラン乎

○花鶉 (Regulus cristatus orientalis Seeb.) ハ本邦産極小鳥ノ一ナリ、頭上ニ美麗ナル黄色羽ヨ
リ成ル冠アリテ其狀菊花ニ似タリ故ニさくいたゞきノ名アリ、其他上面ハ灰綠色ヲ帯ビ、翼
ニ白點アリ又下面ハ一体ニ擬白ナリ

○木走 (Certhia familiaris L.) ハ四十雀ヨリモ稍小ナル鳥ニシテ嘴細ク少シク彎曲シ、尾ノ末
端ハ二尖頭ニ分レリ、上面一体ニ焦茶色ニシテ白点ヲ雜ヘ、下面ハ全ク白色ニシテ絹ノ光澤
アリ

以上四種ハ皆餌食ノ點ニ於テモ又棲息地ノ點ニ於テモから類ニ通有ノ習性ヲ有シ、有効無
害ノ鳥ナルカ故ニ人々宜シク其濫殺ヲ慎ムベキナリ

○杜鵑類

杜鵑類 ニシテ本邦ニ産スルモノ四種アリ、ほとゝぎす、くわつこう、つゝどり、及じらいち、是レナリ、皆鳩ヨリモ稍々小形ノ鳥ニシテ樹木ノ綠葉ヲ食害スル毛蟲類ヲ食餌トナスガ故ニ有益ノ鳥ナリトス、諸種トモニ甚ダ相似タル形状、羽色ニシテ上面ハ灰黒ニ或ハ赤茶色ニシテ黒キ横條ヲ雜ヘ、下面ハ概テ白色若クハ擬白色ニシテ黒横條鷹文^{カガア}アリ、其着色上或鷹類ニ似タル所アルモ猛禽ニハ非ズ、嘴ハ中大ニシテ少シク彎曲シ末端尖銳ナリ、其根部黄色ニ末端ノ方ニ擬黒色トナル、足ハ全部黄色ニシテ恰モ啄木鳥ニ於ケルガ如ク二趾ハ前方ニ二趾ハ後方ニ向ヘリ、尾ハ中大ニシテ形状ハ所謂角尾ナリ、此類ノ諸種ハ自カラ巢ヲ作ル^{ナク}、黄道雀^{キ、ツバ}等ノ如キ他鳥ノ巢中ニ産卵シ其鳥ニ孵育セシムルノ奇性ヲ有ス、目下保護シアルハ杜鵑及ビ郭公ノ二種ノミナルガ他ノ二種モ亦保護スルノ價值アリ、但シ天蠶業^{ヤ、ヒ}ニ取リテハ總テ杜鵑屬ハ有害ナリト云ハザルヲ得ズ、如何トナレバ毛蟲、いもむし等ヲ啄ムト同時ニ天蠶兒^{ヤ、シカヒコ}ヲモ食スルカ故ナリ、斯ル場合ニハ狩獵規則中特ニ示定シアル手續ヲ踏ミテ驅除セサルベカラズ、左ニ本邦産杜鵑類ノ索引ヲ掲ゲ

- い 一、胸腹部ハ白色ニ近クシテ黒キ横條數多アリ……………ろニ移レ
- 二、胸腹部ニ黒キ横條ナシ……………ヘニ移レ
- る 一、背部ハ灰黒ナリ……………はニ移レ
- 二、背部焦赤茶ニシテ黒條アリ……………はニ移レ

- は 一、翼長五寸六分以下……………○杜 鵑(十八號)
- 二、翼長五寸六分以上……………にニ移レ
- に 一、翼長六寸六分以上……………○郭公親(十九號)
- 二、翼長六寸六分以下……………○筒親親附
- ほ 一、腰部ハ無地ノ焦赤茶ナリ……………○郭公幼(十九號)
- 二、腰部モ背ト同様ニ黒條アリ……………○筒鳥幼附
- へ 一、胸ハ淡赤茶色ヲ帶ブ……………○玄ういち親附
- 二、胸白ク擬黒色ノ縦條アリ……………○玄ういち幼附

(十八) 杜鵑

ほとゝぎす又どきはどり、いもせどり

Cuculus poliocephalus Lath.

Little Cuckoo.

(第五版、二十二圖、全形ノ凡三分一)

杜鵑 ハ夜陰空中ニ鳴キ渡リ人々能ク其聲ヲ知り殊ニ歌人等之ヲ愛賞スルモ其鉢容ヲ識ル人甚ダ尠シ、此鳥ハ頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ全背部ハ灰黒色ナルガ願類及ビ咽喉ノ全部ハ灰

蒼色ナリ、胸及ビ腹ハ白ク數多ノ横行黒條アリ、此黒條ノ幅ハ一分ニ達セズト雖モ半分ヨリハ廣シ(郭公にては其幅凡チ半分ナリ)尾下ノ羽下尾筒ト曰フハ白色又ハ擬白色ニシテ黒條アリ或ハ之レ無シ、翼羽ハ黒褐色又ハ擬黑色ニシテ風切羽ハ其内側ニ多少ノ白色部ヲ有ス、尾羽ハ黑色ニシテ其中央ナル者ハ正中僅ニ小白點ヲ列シ又其外側ナル者ハ白色部ヲ具有シ、鷹ノ羽ノ觀ヲ呈ス、眼臉及ビ脚ハ黄色ナリ又嘴ハ根部黄色ニ末端ノ方ニ至テ擬黑色トナル、此種ハ杜鵑屬中ノ最小ナルモノニシテ大サハ較々ヒナギ鴉ニ等シク而シテ翼長(翼角即チ翼ヲ折りタ、ミタル片)胸側邊ニ於テ前方ニ向ヒタル角ヨリ風切羽ノ末端ニ至ルマデノ長ハ五寸二分乃至五寸五分ノ間ニアリ

羽色上郭公若クハ筒鳥ニ酷肖タルモ鳴聲ハ著シク異ナレリ、地方ニヨリぶっかいかけたか或ハはんざんかけたか或ハはりんかけたか等ノ俗稱アルハ其鳴聲ニ擬シタルナリ
此鳥ハ晚春ニ本邦諸州ニ渡リ來リ夏月中他鳥ノ巢ニ産卵シ初秋南方ニ向テ去ル、支那印度等ニモ亦此鳥アリ

(十九) 郭公

くわくこう 又かばう、かこく、さんごどり、たねまきごり

Cuculus canorus L.

Common Cuckoo.

(第五版、二十圖甲、凡ソ全形ノ三分ノ一)

羽色完成シタル郭公ハ羽色上ニ於テ前出杜鵑ト區別スルヲ殆ド難シ、唯鳥躰ノ彼レニ比シ稍、大ニシテ翼角ヨリ翼端ニ至ルマデノ長サ六寸七分乃至七寸六分ナルヲ及ビ胸腹ノ横行黒條ノ甚ダ細クシテ其幅凡ソ半分ナルヲニ於テ差別シ得ルノミ
幼鳥ハ老鳥ト著シク羽色ヲ異ニス、則チ上部ハ頭ヨリ尾ニ至ルマデ一昧ニ焦赤茶色ニシテ許多ノ横行黒條アリ但シ腰部ハ此黒條ヲ欠キ無地ノ焦赤茶ナリ而シテ下部ハ願ヨリ尾根ニ至ルマデ淡黄ヲ帯ビタル白色ニシテ老鳥ニ見ル所ト同ジキ横行黒條アリ、其觀第十九圖丙ニ示シタル筒鳥ノ幼鳥ト彷彿タリ

郭公ハ本邦ニ在テハ他ノ同類ト共ニ春來リ秋去ル所ノ候鳥タリ、夏月殊ニ山地ニ多ク此鳥ヲ見ル、其鳴聲ハ「カッウ」ト聞ユ、是レ其名アル所以ナリ、西比利亞ヲ通ジ歐洲ニモ亦此種ヲ産ス

附

○筒鳥 (*Cuculus intermedius*, Vahl.) ハ又ばんごどり、をほむしくひ、たねまきごり等ノ名稱アリ今之ヲ第廿一圖甲乙ニ示セリ、親鳥ハ羽色杜鵑若クハ郭公ニ彷彿タルモ胸腹ノ横行黒條ハ最モ幅廣ク充分一分ニ達ス又翼角ヨリ翼端ニ至ル長サハ、杜鵑ト郭公ノ中間ニ在リテ五寸七分乃至六寸五分ナリトス
幼鳥ハ一圖乙ハ郭公ノ幼鳥ニ酷似タルモ腰部ハ背部ト一般ニ黒キ横條ヲ有ス、此鳥又春來リ秋去ルノ候鳥ナリ、鳴聲ボン〜、ボン〜ト聞ユ、恰モ竹筒ヲ吹キテ發スル音ノ如シ

○じういち (Hierococcyx hyperythrus, (Ged.) ハ其鳴聲ジウイチイ聞エルヲ以テ名ヅク又ますはかり、玄、んてう等ノ別稱アリ、玄、んてうハ慈悲心鳥ノ轉訛ナルベシ、慈悲心鳥ハ俗ニ日光山ノ特産ナルガ如シニ傳フル所ナルガ日光ニテ慈悲心鳥ナリト云ヘルハ普通ノ玄、いちニ外ナラザリキ、大サ及ビ形狀ハ郭公ニ同シク上部ハ全ク灰黑色ナリ、頤及ビ頬モ亦同シ、咽喉胸及ビ腹ハ淡赤茶ヲ帯ビ、下尾筒ハ白ク、尾羽ハ灰褐色ニシテ數條ノ黒帶アリ而シテ末端ハ赤茶色ナリ、此鳥モ亦他ノ同類ト一般ニ夏季産卵ノ爲メ我邦ニ來ル候鳥ナリ

○三光鳥

三光鳥ハ只一種アルノミ後出ノ鶯類(四五頁ヲ觀ヨ)ニ屬スルモノナルガ狩獵法施行細則第十四條中列記ノ順序ヲ逐フテ此所ニ記述ス

(廿) 三光鳥

さんくわうてう又さん玄やく

Terpsiphone princeps T.

Japanese Paradise Flycatcher.

(第五版、十九圖乙^甲ハ雌全形ノ二分一)

三光鳥ハ其軀軀鶴鶴ヨリモ稍大ニシテ其雄雌ハ羽色ト尾羽ノ長短ヲ異ニス、先ヅ其兩性ニ通有ナル點ヨリ記センニ嘴ハ中大ニシテ其根元ニ於テ橫幅廣ク尖端ハ鈎曲セリ、嘴根ニハ僅數ノ毛ヲ列生シ其狀髭ニ似タリ、頭上ノ羽ハ長クシテ多少著明ナル羽冠ヲ形成ス、尾羽ハ中央ノ二枚最モ長ク兩側ノ方ニ至ルニ隨ヒ漸々短小トナル腹ハ雌雄共ニ純白ニシテ嘴脚及ビ眼ノ周圍ナル裸出部ハ青色ナリ、其他雄ニ在テハ全頭及ビ咽喉ハ眞黒ニシテ少シク紺青色^{紺青}ノ光澤ヲ帯ビ背部ハ一体ニ光澤アル紫黑色ヲ呈ス、翼羽ハ尾羽ト共ニ黑色ナリ而シテ尾羽中々央ノ二枚ハ甚ダ長クシテ尺許ニ達ス、其羽色ノ鮮麗ナルト共ニ鳥体モ亦甚ダ優雅ナリ

之ニ比シ雌ハ華美ナラズ其頭上及ビ後頸ハ纒ニ光澤アル黒色ニシテ頤及ビ咽喉ハ灰黒色ナリ背ハ全部赫色ヲ呈シ翼羽及ビ尾羽ハ主トシテ暗茶色ナリ而シテ尾羽ハ雄ニ於ケルガ如ク著シク長カラズ

三光鳥ハ食蟲性ニシテ樹木ノ害蟲ヲ除クノ効アリ春季本邦ニ渡來シ地方ニヨリ多ク之ヲ見ル殊ニ山林ニ多ク夏月中樹梢ニ樹皮枯草蕨苔蛛絲等ヲ以テ巢ヲ營ミ産卵ス俗説ニ此鳥ノ鳴聲月星日ト聞ユルガ故ニ三光ノ名アリト云フ秋季ニ至リ本邦ヲ去リ支那ノ沿岸ヲ通過シ馬來半島ニ達シテ涉冬ス

(第一部) 季節ヲ限り保護スベキ鳥類

○雉

雉ハ鷄ニ近キ禽屬ニシテ形狀習性ニ於テ畧ボ相似タリ本邦ニ産スルハ尋常雉子カウライ高麗雉子コウライ尋常鶺鴒ヤマトトリ及ビ赤鶺鴒アカヤマトトリノ四種ナリ皆雌雄ニヨリ羽色ヲ異ニシ雄ハ華美ニシテ顔部赤ク足ニ距シヅメヲ有シ雌ハ華美ナラズシテ距ヲ欠ク尾羽ハ至テ長ク末端尖レリ翼ハ肥大ノ軀軀ニ比シテ短小ナルヲ以テ飛力強カラズト雖モ足ハ頗ル疾走ニ適ス專ハラ地上ニ棲ミ穀類嫩葉蟲類等ヲ食トナシ春季三月初旬ノ頃ヨリ華尾ヲ始メ其レヨリ夏季ニ至リテ地上雜草ノ間ニ巢ヲ營ミ産卵ス而シテ秋季十月ニ至ルモ尙ホ雛鳥ヲ見ルヲ往々之レ有リ雉子ハ耕地ニ在リテハ農産物ヲ食害スルヲ以テ害鳥タルヲ免レズト雖モ亦獵鳥トシテハ最も貴重ナルモノニシテ且ツ其性廣ク漂流セズ即チ外邦ニ渡リテ蕃殖スルヲナキガ故ニ之ヲ保護セザルハ忽チ捕獲シ盡シ其類ヲ滅スルノ虞アリ此故ニ其蕃殖期中ハ捕獲ヲ禁止スルハ當ヲ得タリトス況ヤ其害甚キハハ縱令ヒ保護期中ト雖モ之ヲ驅除シ得ル規定ノ設ケアルニ於テヤ左ニ本邦産雉類ノ索引ヲ掲グ

- 一、距ハ良ク發達セリ(雄).....ろニ移レ
- 二、距ナシ或ハ之レ有モ只痕跡ニ留マル(雌).....はニ移レ

- 一、頸ノ上部ハ光澤アル紺色乃至綠色ナリ……………ハニ移レ
- 二、頸ノ全部銅赤色ナリ……………ニニ移レ
- 一、胸腹ハ主トシテ黒ク綠色ノ光澤アリ……………○尋常雉子雄廿一號
- 二、胸腹ハ主トシテ銅赤色頸ニ判然タル白色ノ環アリ……………○高麗雉子雄廿二號
- 三、肩腰及ビ尾羽ニ白色斑ヲ雜ユ……………○尋常鶴雉雄廿三號
- 一、總身ニ白色斑ナシ或ハ之レ有ルモ甚ダ少シ……………○赤鶴雉雄廿四號
- 二、尾羽ノ末端白カラズ……………ハニ移レ
- 三、多數ノ尾羽ハ末端白シ……………○鶴雉雄 (廿三號 廿四號)
- 一、胸腹ニ大形ノ黒斑アルノミニシテ小紋ナシ……………○尋常雉子雌(廿一號)
- 二、胸腹ニ微細ナル暗色ノ小紋多シ……………○高麗雉子雌(廿二號)

(廿一) 尋常雉子

きじ 又ちさじきんす

Phasianus versicolor Vieill.

Japanese Green Pheasant.

(第六版、二十三圖、雌雄全形ノ五分一)

尋常雉子 ハ人ノ能ク知ル所ノ鳥ニシテ雄ニ在テハ兩眼ノ周圍ニ大ナル赤色部アリ、頸ノ

全部並ニ胸腹ハ黒色ニシテ紺色乃至綠色ノ燦爛タル光澤アリ、後頭部ノ左右二箇所ニ羽毛耳狀ノ總ヲ爲シテ起立ス、肩ハ純黒黃茶銅赤等ノ複雜ナル色彩ヲ呈シ、腰ハ灰蒼ヲ帶ビ尾ノ方ニ至テ黃綠トナル、尾羽ハ長ク上面灰綠色ニシテ純黒ノ横紋ヲ列シ下面ハ黒色ヲ呈ス

雌ハ上面一体ニ茶色ニシテ黒色、赤褐色等ノ斑紋アリテ少シク紫色乃至綠色ノ光澤ヲ帶グ、下面ハ淡茶色ニシテ唯黒色ノ斑點アルノミ、尾羽ハ暗赤褐色ニシテ黒色ノ横斑許多ヲ列ス

此種ハ本邦ノミ産ス、大陸ニ見ル所ノ雉ハ皆別種ナリ、本邦ト雖モ北海道ニハ元來絶エテ雉類ノ在ルナシ、其習性ハ人ノ能ク知ル所ニシテ獵鳥トシテ最モ貴重セラル、近時ハ歐洲及ビ北米ニモ移殖シ人爲保護ノ下ニ在テ大ニ繁殖スルノ狀況アリト云フ

(廿二) 高麗雉子

かうらいきじ

Phasianus torquatus Gm.

Chinese Ring-necked Pheasant.

(第六版、廿四圖、雌雄全形ノ五分一)

高麗雉子 ハ形狀通常雉子ニ異ナラズ大サモ亦略ボ同シ但シ通常ノ雉子ニ比シテ羽色一層華美ナリ

雄ニ在テハ頭ノ全部通常雉子ニ同シク唯頭上青茶色ヲ呈シ擬白色ノ眉アリ、頸ノ周圍ニ純白

ノ輪アリテ甚ダ著明ナリ、胸腹ハ頗ル光澤アル銅赤色ニシテ腹ノ中央ハ黒シ、肩ハ黄色ニシテ黒斑點ヲ雜ヘ、脊ハ銅赤色ニシテ且ツ白斑アリ、尾ハ甚ダ長ク下面暗黒色ナレ共上面ヨリ見ルトキハ毎羽焦茶色ノ幅廣キ縁ヲ有ス、其他羽色ハ通常雉子ト略ボ同シ
雌ハ通常雉子ノ雌ニ形狀羽色共ニ酷肖ス、唯胸腹部ニ大形ノ黒斑點少クシテ一面ニ暗色ノ微細ナル小紋アルヲ見ル

此種ハ北支那及ビ朝鮮ニ普通ナル雉子ニシテ本邦中唯對馬島ニノミ棲息ス、但シ昔時朝鮮ヨリノ移殖ニ係ルトノ説アリ、習性ハ内地産ノモノト異ナル所ナシ

(廿三) 鶴雉

やまどり

Phasianus scintillans Gil.

Hondo Copper Pheasant.

(第七版、廿五圖(雄)、廿六圖(雌)、全形ノ五分一)

鶴雉 ハ雉子ト屬ヲ同ウス、雄ハ顔ニ赤色部アルモ頭上ニ毛耳ナシ、總身光澤アル銅赤色ニシテ黒斑ヲ雜ヘ背部ハ金光ヲ放ツ、肩部腰部及ビ腹部ニ白斑點アリ、尾羽ハ甚ダ長ク約三尺ニ達スルモノアリ而シテ黒色、栗色、茶色及ビ白色ノ横條交互ニ存在シ一見節狀ヲ爲ス
雌ハ暗色ニシテ光澤ナク一般ニ雌雉子ニ似タル色彩ナルガ尾ハ比較的ニ短ク中央ノ二枚ヲ

除ク外ハ毎羽主トシテ焦茶色ニシテ次ニ黒色部アリ而シテ末端ハ白色ナリ
右ニ記載シタルハ本邦津輕海峡以南ニ産スル通常ノ鶴雉ナリ、北海道ニハ此種ナシ彼地ニテ俗ニやまどりと稱スルハ松鷄ナリ、外邦ニモ本種ト同一ノ者ヲ産セズ其習性雉子ニ似タレドモ之レニ比スレバ稍、深山ニ棲息スルヲ以テ耕地ニ害ヲ爲スコト少ナシ

(廿四) 赤鶴雉

あかやまどり

Phasianus semmeringi Fr.

Copper Pheasant.

(第八版、廿七圖(雄)、全形ノ五分一)

形狀大小共ニ通常ノ鶴雉ニ同シト雖モ雄ハ其羽色一層濃赤色ニシテ極メテ美麗ナリ而シテ背部若クハ腹部ニ白斑點ヲ雜ヘズ又尾羽ハ通常種ニ於ケルヨリモ稍幅廣ク且ツ淡色部少クシテ一層赤色ヲ呈ス、時ニ脊上ニ多少ノ白斑ヲ有シ尾ノ色稍、通常ニ近似スルモノアリ、斯ハ兩種ノ間ニ生ジタル雜種ト看做シテ可ナランカ
雌ハ通常鶴雉ノ雌ト羽色上識別シ難シト云フ

本種モ本邦ニノミ見ル所ニシテ通常種ト習性ヲ同ウシ棲息較々稀ナリ、九州及ビ伊豆ニ此種ヲ産スルヲ知ル、尙ホ他ニモ産地アルナルベシ

○鵲鴿

鵲鴿 ハにはたゞさいしたゞかかわらすゞめはますゞめいもせどり等ノ別名アリ、雀ヨリモ瘦形ノ小鳥ニシテ普通ニ見ル所ナリ、其嘴細ク、尾ハ比較的ニ長ク之ヲ動搖スルノ性アリ、此類ノ一部分ハ本邦内地ニ於テ營巢シ他ノ一部分ハ北海道以北ノ地ニ在テ蕃殖シ秋季其以南ノ地ニ群ヲ爲シテ渡リ涉冬ノ後再ビ北ニ去ル、食餌ハ蟲類ヲ以テ主トナスモ亦小魚ヲ食スルコトモアリ、本邦ニ見ル鵲鴿類ニ六種アリ、左ニ其索引ヲ出ダス

- い 一、腹部純白ニシテ黄色ヲ帯ビズ……………ハニ移レ
- 二、腹部或ハ腹側ハ多少黄色ヲ帯ブ……………ハニ移レ
- ろ 一、頬眼ノ下黒色ナリ、眼ノ前後モ同シ……………○脊黒鵲鴿廿六號
- 二、頬部白色ナリ……………ハニ移レ
- は 一、眼ノ前後ニ黒條アリ……………○白鵲鴿廿五號
- 二、眼ノ前後、頬ト共ニ白シ……………○頬白鵲鴿廿八號
- に 一、後趾ノ爪ハ尋常ノ長サナリ……………ハニ移レ
- 二、後趾ノ爪長キヲ雲雀ノ如シ……………○爪長鵲鴿廿九號
- ほ 一、頤及ビ喉ハ黒シ或ハ此邊ニ黒色部全クナシ……………○黄鵲鴿廿七號
- 二、喉ニ黒色ノ横條アリ而シテ其前後ハ白シ……………○岩見鵲鴿卅號

(廿五) 白鵲鴿

はくせきれい又うすゞみせきれい

Motacilla lugens Kitl.

Kamtschatkan Wagtail.

(第八版、廿八圖、全形ノ二分一)

白鵲鴿 ハ額眉、頤、上喉及ビ胸腹共皆白色ナリ、近似ノ種類ナル脊黒鵲鴿ニ在テハ頤部必ズ黒色ナルヲ以テ容易ニ識別スルヲ得、尙ホ本種ハ兩翼ニ年齢ニ依リ多少ノ白色部アリ而シテ尾羽ノ兩外側ナル二枚モ亦純白ニシテ自餘ノ尾羽ハ黒色ナリ、眼部ヲ通シテ黒條ヲ呈シ下喉ニ黒色部アルヲ常トス、頭上ヨリ尾根ニ至ル諸部ハ或ハ全ク灰黒或ハ多少ノ純黒ヲ混ス、是レ季節、年齢、雌雄等ニヨリ異ナルナリ

此種ハ北海道、千島、東塞加等ニ於テ蕃殖シ、秋季群ヲ爲シテ南方ニ渡リ、冬間ハ本邦ニ留レリ

(廿六) 脊黒鵲鴿

せぐろせきれい

Motacilla japonica Swinh.

Japanese Wagtail.

(第八版、廿九圖、全形ノ二分一)

脊黑鶺鴒 ハ前種ニ酷肖タリト雖モ純白ナル額眉及ビ頰ヲ除ク外ハ全頭黑色ナリ、咽喉ハ胸ニ至ルマデ黒ク頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ亦同シ但シ幼鳥ニ在テハ此等諸部ハ寧ロ灰黒色ト云フベシ然レドモ頰部ノ白色ナルヲ決シテ之レ無シ、胸腹純白ニ尾羽ハ白鶺鴒ニ同シ兩翼ノ白色部モ亦彼種ト一般ニ老鳥トナルニ隨ヒ益々大ナリ
此種ハ四時本邦ニ在リ、河邊ノ石垣等ノ間隙ニ巢ヲ營ミテ蕃殖ス、朝鮮滿洲及ビ支那ニモ亦産スト云フ

(廿七) 黃鶺鴒

ホセキレイ

Motacilla boarula melanope (Pall.)

Eastern Grey Wagtail.

(第九版三十圖(冬羽)及ビ三十一圖(夏羽)全形ノ二分一)

黃鶺鴒 ハ頭上ヨリ背部一跡ニ灰黒色ニシテ尾根ニ至リ少シク綠色ヲ帶ブ、眼上ニ擬白色ノ眉アリ、咽喉ハ冬間ハ擬白色(三十圖)ナルモ夏季ハ黒色(三十一圖)ナリ、下面胸部ヨリ尾根ニ至ルマデハ鮮明ナル黄色ナリ、翼ハ黒色ナレトモ中翼羽ノミ纒ニ白色縁ヲ有ス、尾羽ハ中央ノ四枚

黒ク兩外側ニ於ケル三枚ニハ白色多シ

此種ハ本邦至ル所ニ在リテ稍、普通ニ屬ス、夏季中ハ山地ニ在リテ蕃殖シ、秋季平原ニ下リテ渉冬ス、歐洲及ビ西比利亞ニモ黃鶺鴒アリ、之ヲ本邦産ニ比スレバ尾少シク長シト雖モ別種ト爲スニ足ラズ

(廿八) 頰白鶺鴒

ほろごろせきれい

Motacilla leucopsis Gld.

White-cheeked Wagtail.

(第九版、三十四圖、全形ノ二分一)

羽色ハ脊黑鶺鴒ニ彷彿タレドモ眉以下顔部全ク白ク眼條ナシ、下喉ニ黒色部アリ、其他ハ脊黑鶺鴒ト同一ナリ

此鳥ハ朝鮮及ヒ支那ニ産スルモノニシテ本邦ニテハ只之ヲ對州ニ見タルヲアルノミ或ハ他州ニモ在ルナランカ、未タ確説ナシ

(廿九) 爪長鶺鴒

つめながせきれい

Motacilla flava leucostriata (Horn.)

Blue-headed Wagtail.

(第九版、三十三圖(幼鳥)、全形ノ二分一)

本種ハ形狀羽色共ニ黃鶺鴒ニ近似スルモ後趾ノ爪長ク三分餘ニ達スルヲ以テ容易ニ識別スルヲ得ベシ今第九版三十三圖ニ示シタルハ幼鳥ナリ其羽色ハ頭上ヨリ尾根ニ及ブマデ黒褐色ニシテ脊ニ至リ灰蒼色ヲ帯ビ上尾筒ハ黒色ナリ眼上ニ白色ノ眉アリ下面ハ願ヨリ尾根マデ白色乃至擬白色ニシテ胸部ニ於テ少シク灰黒ヲ雜ヘ腹部ニ於テハ微ニ淡黄ヲ帯ブ翼ノ諸羽ハ黒色ニ近ク多クハ擬白色ヲ以テ縁取ラレタリ尾羽ハ最外側ノモノニ枚ハ白色ニ富ムモ其他ハ全ク黒色ナリ

親鳥ハ頭上橄欖色ヲ呈シ胸腹部ハ一樣ニ黄色ナリト云フ

此種ハ東塞加地方ニ産ス而シテ本邦ニハ稀ニ渡リ來ルモノナルガ如シ

(卅) 岩見鶺鴒

いわみせきれい 又よこふりせきれい みやませきれい しませきれい

Limondromus indicus Gm.

Indian Wagtail.

(第九版、三十二圖、全形ノ二分一)

頭上以下尾ニ至ルマデ一體ニ綠色ヲ帯ビタル茶褐色ニシテ尾根ニ少シク黒ヲ雜ユ下面ハ一體ニ白色ニシテ腹ハ少シク黄ヲ帯ブ而シテ咽喉ニ黒色ノ横帯アリ之ニ次テ尙ホ一帯アレド是ハ正中ニテ中絶セリ翼ノ各羽ハ黒色多ク擬白乃至淡黄ノ縁ヲ有ス尾羽ハ中央ノ二枚ハ背ト同色ナレドモ之ニ次クモノ黒シ最外ノ二枚ハ白色ニ富メリ

此種ハ元來印度地方ニ多ク棲息スルモノナルカ稀ニ我邦ニ渡來スルハ古來籠鳥家ノ知ル所ナリシガ如シ他ノ鶺鴒類ハ皆尾ヲ上下ニ動搖スルモノナルガ此種ハ左右ニ動搖スルノ性アリ故ニよこふりせきれいの名アリ岩見鶺鴒ノ名アルハ多シ石見國ヨリ出ヅルガ故ナリト云フ果シテ該洲ニ多キヤ否信シ難シ

(附)

田鶺鴒 及ビびんずい ノ二種共ニ鶺鴒族ニ屬シ習性相似タル鳥類ナリトス

○田鶺鴒 (*Anthus japonicus* (T. & S.)) ハシぬひばり又うまひばりトモ云フ羽色雲雀ニ酷肖タルモ異ナレリ上面頭ヨリ尾ニ至ルマデ暗褐色ニシテ少シク茶色ヲ帯ビ不判然タル黒斑點アリ

下面ハ一體ニ淡茶ニシテ胸部ニ黒斑點アリ後趾ノ爪著シク長シ雲雀ニ比シテハ小形ナリ此種ハ千島東西比利亞等ニ於テ蕃殖シ秋季本邦ニ渡來シ冬間小群ヲ爲シテ田圃ニ棲息ス

○びんずい (*Anthus maculatus* Holgs.) ハ木鶺鴒トモ云フ形狀羽色共ニ前種ニ彷彿タレトモ上

面ハ綠色ヲ帶ヒ腹部ハ純白ナリ而シテ上面及ビ胸部ニ見ル黒斑點ハ田鵲ニ於ケルヨリモ大且ツ判然タリ此種ハ歐洲ヨリ西比利亞ヲ經テ本邦ニ至ルマテ之レアリ本邦ニ在リテハ夏季山地ニ於テ蕃殖シ冬季ハ多ク平原ノ森林ニ棲息ス

○椋鳥

椋鳥類ハ軀軀中大或ハ中大ヨリモ小ナリ嘴直ニシテ圓錐狀ヲ爲シ尾ハ比較的ニ短ク脚ハ強壯ニシテ地上ニ行クキハ歩ム樹實アル所ハ之ヲ食スト雖モ其他ハ樹木蔬菜ニ有害ナル蟲類ヲ食餌トナスヲ以テ有効鳥ニ屬ス本邦ニ見ル所ノ椋鳥ニ三種アリ左ニ索引表ヲ掲グ

- い 一、頭上ハ脊ト色ヲ異ニス……………ろニ移レ
- 二、頭上ハ脊ト色ヲ全フス……………はニ移レ
- る 一、頭ハ黒色ニシテ少シク白ヲ雜ユ足ハ黄色ナリ……………○通常椋鳥(親卅一號)
- 二、頭ハ擬白色足ハ黒青色ナリ……………○小椋鳥(雌卅二號)
- は 一、頭上ハ茶色ヲ帶ビタル暗褐色ナリ……………にニ移レ
- 二、頭上灰黒ナリ……………はニ移レ
- に 一、嘴及ビ足ハ黄色ナリ……………○通常椋鳥(幼卅一號)
- 二、嘴及ビ足ハ黒青色ナリ……………○小椋鳥(雌卅二號)
- ほ 一、翼ノ白色部中大ニシテ前縁マデ達セズ……………○唐椋鳥(雌卅三號)
- 二、翼ノ白色部大ニシテ前縁マデ達ス……………○唐椋鳥(雄卅三號)

(卅一) 通常椋鳥 又噪林鳥(吉弔)

むくどり

Sturnus cineraceus T.

Grey Starling.

(第十版、三十五圖、全形ノ三分一)

此鳥ハ凡ソ鶉大ノ軀軀ナルガ尾ハ稍短シ、全頭並ニ願ヨリ胸ニ至ル間ハ黑色ニシテ額及ビ頭側ニ白羽ヲ混ズ、脊翼尾ハ共ニ茶色ヲ帯ビタル黒褐色ニシテ尾根ハ白ク腹ハ灰黑色ナリ、但共中央部ハ尾下ト共ニ白色ナリ、嘴ハ黄色ニシテ末端ノ方ニ黑色トナル、脚ハ黄色ナリ、雌雄羽色ヲ異ニセズ、幼鳥ニ在テハ全頭及ビ胸ハ脊ト一般ニ茶色ヲ帯ビタル暗褐色ト稱スベク腹モ又老鳥ノ如ク黒カラズ

椋鳥ハ四時本邦ニ在リ多ク原野ニ群棲シ時々地上ニ下リテ食ヲ求ム、其鳴聲甚ダ噪シ、春季樹木ノ空洞中ニ巢ヲ營ミテ産卵スルヲ常トス、滿洲及ビ北支那ニモ此種ヲ産ス

(卅二) 小椋鳥

あむくさり又あまむくどり

Sturnia pythagorae (T. & S.)

Red-cheeked Starling.

(第十版、三十六圖、上ナルハ雌、下ナルハ雄、全形ノ三分一)

小椋鳥ハ前種ヨリモ小形ナリ、雄ニ在テハ全頭上及ビ願ハ少シク茶色ヲ帯ビタル白色ニシテ頬部ハ栗赤色ヲ呈ス、肩並ニ脊ハ光澤アル紫黑色、尾根白色ニ尾ハ黒ク綠光澤アリ、下喉部ヨリ腹側ニ互リ灰黒ナルガ胸腹ノ中央部ハ尾下ニ至ルマデ白色ナリ、翼ハ主トシテ綠色ノ光澤アル黒羽ヨリ成ルモ亦著大ノ白色帶ヲ有ス

雌ハ雄ト異リ頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ茶褐色ニシテ尾根ニハ白色部ナシ、下面ハ一体ニ淡茶褐色ナルモ胸腹ノ中央部ハ擬白色ニシテ下尾筒ハ淡茶色ヲ帯ブ、雄ハ頭部ニ栗赤色羽アレトモ雌ニハ之レナシ、翼及尾ハ概シテ黒褐色ニシテ纒ニ綠色ノ光澤ヲ帯ビ、翼ニ純白帶ナシ、雌雄共ニ嘴及ビ脚ハ黒青色ナリ

此種ハ夏季即チ蕃殖期中本邦中至ル所ニ在リト雖モ未ダ何レノ地ニ於テ營巢スルヤヲ審ニセズ、八月頃往々大群ヲ爲シテ飛翔シ鳴聲通常椋鳥ニ異ナラズ、冬ハ渡リテ「フヒリピン」群鳥ボルテテ、セレベス等ニ至ルヲ知ルト雖モ未ダ曾テ亞細亞大陸ニ發見シタルヲ聞カズ

(卅三) 唐椋鳥

からむくさり

Sturnia sinensis (Gm.)

Chinese Starling.

(第十版、三十七圖、上ナルハ雌、下ナルハ雄、全形ノ三分一)

唐椋鳥 ハ前種ノ大ニシテ雌雄共ニ頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ灰黒色ナリ、但シ尾根ハ稍白シ、下面ハ願以下一体ニ灰白色ニシテ腹部ニ至リ白色ニ移ル、尾羽ハ中央ノ二枚ト其他ノ尾羽ノ根部ハ無光澤又ハ綠光澤ノ黒色ニシテ其外ハ擬白色ナリ、翼ノ大羽ハ多少綠色ノ光澤ヲ帯ベル、黒色ニシテ雄ニ於テ其光澤最モ明ナリ、尙ホ翼ノ前部ニ當リ白色部アリテ此部雄ニ在テハ甚ダ大ナルモ雌ニ在テハ小ナリ

本種ハ元來多シ支那ニ産ス本邦ニテハ往々之ヲ小椋鳥ノ群ニ混シ見ルコトアリ

○鴉

爰ニ鴉類ト稱スルハ邦名ニヒタキノ稱ヲ附スル諸種ヲ一括シタルモノニテ其相互ノ類縁甚ダ近ク保護規則ニ謂フ所ノ「鴉」トハ此等諸種ヲ指シタルナリ、皆小禽ニシテ翼ノ外側即チ第一ノ風切羽ハ第二ノモノニ比シ甚ダ小形ニ脚ノ脛部ハ前後兩面共ニ鱗狀ヲ呈セズシテ平骨ナリ、嘴ハ或ハ細クシテ直、或ハ根部幅廣ク末端彎曲セリ、口角邊ニ僅少ノ髭狀毛ヲ列生スルヲ常トス、雌雄概テ羽色ヲ異ニシ雄ハ能ク鳴嚙シ甚ダ愛スベシ、皆有害ノ小蟲ヲ以テ餌食トスルガ故ニ充分之ヲ保護セサル可カラズ、今左ニハ此類トシテ六種ヲ掲グト雖モ前ニ出シタル三光鳥廿號並ニ大瑠璃オホルリ小燕ノ二種モ亦此類ナリトス、但シ此最後ノ二種ハ保護鳥ニハ屬セズ

- い 一、 尾ハ主トシテ黒色乃至黒褐色ニシテ他色ヲ帶ビス……………ろニ移レ
- 二、 尾ハ主トシテ焦茶色或ハ暗色ニシテ青又ハ茶色ヲ帶ブ……………ヘニ移レ
- る 一、 翼ニ大形ノ純白色部アリ……………ハニ移レ
- 二、 翼ニ大形ノ純白色部ナシ……………にニ移レ
- は 一、 喉胸共ニ濃黄色ナリ……………○黄鴉雄 (二十六號)
- 二、 喉ハ黒色或ハ擬白色ニシテ胸ハ茶色ナリ……………○野鴉夏羽(二十七號)
- 三、 腰ハ茶色上面一体ニ茶色ニ富ム……………○野鴉冬羽(二十七號)
- に 一、 上面一体ニ黒褐色茶色ナシ……………はニ移レ

- 一、翼長二寸七分以上……………○サメヒタキ 鮫鷄 (三十八號)
- 二、翼長二寸四分以下……………○コサメヒタキ 小鮫鷄 (三十九號)
- 一、腰尾根ハ青色尾モ青色ヲ帶ブ……………○ニ移レ 移レ
- 二、腰部ハ焦茶或ハ綠色ナリ……………○ニ移レ 移レ
- 一、頭ヨリ脊ニ互リ青色ヲ帶ブ……………○ルリヒタキ 瑠璃鷄 (三十五號)
- 二、頭ヨリ脊ニ互リ黃綠色ヲ帶ブ……………○ルリヒタキ 瑠璃鷄雌 (三十五號)
- 一、腰部綠色脊モ同色ヲ帶ブ……………○キヒタキ 黃鷄雌 (三十六號)
- 二、上面ニ綠色アリ腰部ハ焦茶色ナリ……………○ニ移レ 移レ
- 一、咽喉黑色ナリ……………○シヤウヒタキ 上鷄雄 (三十四號)
- 二、咽喉黑色ニ非ズ……………○シヤウヒタキ 上鷄雌 (三十四號)

(卅四) 上鷄

シヤウヒタキ又てりびたき、ちやびたき、ばかびたき

Rutililla aurea (Gm.)

Daurian Redstart.

(第十一版三十八圖前ナルハ雄全形ノ二分一)

此鳥ハ形狀駒鳥ニ似タリ、雄ハ頭上灰蒼色咽喉黒ク、脊及ビ翼ハ主トシテ黑色ヲ呈シ、翼ニ純白ノ大形紋アリ、腰部及尾羽ノ多數ハ胸腹部ト共ニ焦茶色ナリ、上鷄及ビ照鷄オウリヒタキノ稱ハ元ト此雄ニ

當テタル名ナリ

雌ハ俗ニ茶鷄或ハ馬鹿鷄ト稱ス、總身茶褐色ニシテ下面ハ淡ク、腰以下尾根ハ焦茶色ニ、尾ハ雄ト同ジ、但シ兩翼ニ呈セル白紋ハ雄ヨリモ小ナリ

此種ハ四時我邦ニ在リテ夏季ハ山地ニ於テ營巢蕃殖シ、秋季ヨリ低地ニ下リテ涉冬シ、山中ナラザルモ普通ニ見ル所ナリ、其性樹枝ニ止マリテ尾ヲ上下シ且ツカチカチト聞ユル音ヲ發シ、恰モ燧石ヲ打ツニ似タリ、ひたきノ名此レヨリ出ヅト云フ、東西比利亞、滿洲及ビ北支那ニモ亦此種アリ

(卅五) 瑠璃鷄

るりびたき

Tarsiger cyaneus (Pall.)

Siberian Blue-tail.

(第十一版三十九圖上ナルハ雄全形ノ二分一)

形狀ハ前種ニ似タリ、雄ハ頭ヨリ上面一体ニ灰青色、尾根ニ至リテ鮮明ナル青色トナル、尾ハ黑色ニシテ多少青色ヲ帶ベリ、眼上ニ白色ノ短キ眉アリ、頤及ビ咽喉ノ正中ハ擬白色、胸ハ淡ク茶褐色ヲ帶ビ、腹ハ白色ナリ、而シテ胸腹ノ兩側部ハ赤茶色ヲ呈ス

雌ハ上面一体ニ橄欖色綠ヲ帶ビタル茶褐色ナルガ尾根ニ至リ灰青色トナル、其他尾及ビ下面ハ略ホ雄ト同ジ、但シ眼上ニ白色ノ眉ヲ缺ク、雌ノ羽色ハ黃鷄若クハ大瑠璃ノ雌ニ彷彿タルモ

上面尾根ノ青色ナルト腹側ノ茶色ナルハ本種ニ限ルヲ以テ直ニ區別スルヲ得ベシ
此種ハ前種ト同シク四時本邦ニ在リ夏ハ山地ニテ蕃殖シ冬季平原ニ出ヅ尙ホ此種ハ西比利
亞ニモ産シ秋季南方ニ渡リ支那台灣等ニ於テ涉冬スルナルベシ

(卅六) 黃鶉

きびたき雌ヲめだいびたきト云フ

Xanthopygia narcssina (P.)

Narccissus Flycatcher.

(第十一版四十圖上ナルハ雌全形ノ二分一)

黃鶉 トハ元ト此種ノ雄鳥ノ名稱ナリ其羽色ハ下面願ヨリ胸及ビ腹側ニ互リ美麗ナル黄色
ニシテ腹ノ正中部ハ白色ナリ黄色ノ眉ヲ有シ腰部モ黄色ナリ其他ハ翼ニ大ナル純白紋アル
ノ外黑色ナリ
雌ハ眼大鷓ト稱ス蓋シ眼ノ大キク見ユルガ故ナリ又往々上鷓ノ雌茶鷓或ハ馬鹿鷓ト同稱ス
ルヲアリ色ハ上面頭上ヨリ脊ニ至リ一体ニ橄欖色ニシテ腰ニ至リ黄緑ヲ帯ビ尾羽ハ茶色ヲ
帯ヒタル黒褐色ナリ翼ニ白紋ナク諸羽黒褐色ニシテ縁邊茶色ナリ下面ハ一体ニ多少灰茶ヲ
帯ビ腹及ビ下尾筒ノ方ニ白色トナル羽色大体ニ於テ上鷓若クハ大瑠璃ノ雌ニ酷肖タルモ腰
部ノ綠色ヲ帯ビタルニ依リ一目シテ區別スルヲ得ルナリ
本種ハ夏季本邦山地ノ森林ニ多ク該地ニ在テ蕃殖シ秋季ヨリ平原ニ下リテ涉冬ス支那ニモ

此種アリ該邦ニハ又別ニ一種アリテ其雄ハ唯眉ノ白色ナル點ニ於テ通常黃鶉ト異ナレリ此
種本邦ニモアルベケレドモ未ダ審ナラズ

(卅七) 野鶉

のびたき又こわがり

Prantincola maura (Pall.)

Siberian Stonechat.

(第十一版四十一圖後ナルハ夏羽全形ノ二分一)

野鶉 ハ雌雄共ニ略ボ同色ナルガ如シト雖モ冬季ト夏季ニヨリ著シク羽色ヲ異ニス是レ冬
季ニ在テハ諸羽ノ末端部完備スルモ夏月ニ至レバ摩毛シ去リテ根部ヲ露出スルニ由ル先ヅ
冬羽ヨリシテ記サンニ頭上ヨリ脊ニ至ル部ノ各羽ハ末端鏽赤ニ根部黒色ナリ腰ニ在テハ每
羽末端鏽赤ナルモ根部ハ白色ナリ故ニ上面ハ一体ニ鏽赤色ニ富メリ下面上喉ハ淡茶色ナル
ガ每羽ノ根部ハ黒色ナリ下喉ヨリ胸腹ニ互リ赤茶ニシテ尾下ニ至リテ淡シ翼ニ中大ノ白紋
アリ其他翼羽及ビ尾ハ黒色ナルモ多少茶色ヲ以テ縁取ルアリ
夏季ハ上面ニ於ケル鏽赤部ハ摩毛シテ腰ハ白色ニ其他ハ一体ニ黒色ニ變ス又下面ニ在テハ
願及ビ上喉ハ多少黒色ヲ露出シ下喉ハ茶色ヲ存スルモ腹ノ方ニ至テ漸々淡茶色トナル以上
夏羽ハ晩夏ノ候ニ至リ毳ヲ經ルトキハ又冬羽ニ變スルモノナリ
此種亦他ノ鶉類ト同シク夏月山地ニ於テ蕃殖シ秋ヨリ平原ニ下リテ棲息ス歐洲東部及ビ西

此利亞ニモ之ヲ産シ冬間南方ニ移ル

(卅八) 鮫鷄

さめびたき

Muscicapa sibirica Gm.

Siberian Flycatcher.

(第十一版四十二圖全形ノ二分一)

此鳥ハ上面總ベテ黒褐色唯翼羽ノ數羽ハ擬白色ニテ縁取リアルノミ下面ハ一体ニ擬白色ニシテ黒褐色ノ斑點アリ但シ尾下ニハ之ヲ欠ク翼長ハ二寸七分乃至八分雌雄同色ナリ
四時本邦ニ留リ夏季ハ山地ニ冬季平原ニ在リ秋他ノ鷄類ト共ニ村里ノ人家近クニ來ル亞細亞大陸ニモ此種ヲ産シ印度「ビルマ」馬來半島等ニ於テ亦冬ス

(卅九) 小鮫鷄

こさめびたき

Muscicapa latirostris Pallus.

Brown Flycatcher.

(第十一版四十三圖全形ノ二分一)

前種ニ酷肖タルモ稍々小形ニシテ翼長ハ二寸三分内外ニ過ギズ上面ハ總ベテ灰色ヲ帶ヘル

黒褐色下面ハ總ベテ擬白色ナルモ胸邊ニ於テ灰色ヲ帶ヒ斑點ナシ雌雄色ヲ異ニセズ
習性他ノ鷄類ト同シ其亞細亞大陸ニ於ケル分布ハ略ボ前種ト同一ナリ

(附)

左ノ二種ハ動物學上ヨリ言ヘバ鷄類中ニ編入スベキモノナルガ鷄ノ稱ナキ故今ハ附記スルニ止ム

○大瑠璃 (Nilava cyanochelana (F.)) ハ竹林鳥トモ云フ他ノ鷄類ニ比シテ稍大形ナリ翼長三寸内外雄ハ上面一体ニ瑠璃色ヲ呈シ甚ダ美麗ナリ咽喉ハ黒ク腹白シ雌ハ羽色黃鷄若クハ瑠璃

此種ハ夏季本邦ノ山地ニ多ク見ル世ニ小瑠璃 (Etiliacus cyanus (Pall.)) ト名ヅクル一種アリ是ハ鷄類殊ニ上鷄ニ近キモノナルモ籠鳥トシテ人ノ能ク知ルコト多クわかひげのこましまこま等ト共ニ駒鳥屬ニ屬スルモノナリ

○小燕 (Siphia Intecola (Pall.)) ハ凡ソ小鮫鷄ノ大サニシテ雄ハ上面一体ニ灰黒色雌ハ橄欖色ナリ雄ニハ白色眉アルモ雌ニハ之ナシ兩性共ニ尾羽ハ黒褐色ニシテ根部白ク翼モ同色ナルガ

其前部ニ多少判然タル白斑點アリ又其數羽ハ擬白色ヲ以テ縁取レリ下面ハ願ヨリ以下光澤アル茶色ニシテ腹ニ至リ淡ク尾下ニ及ビテ白色トナル此鳥ハ大陸ヨリシテ夏季稀ニ本邦ニ渡リ來ルモノナリ

○雲雀

雲雀ハ鶯又ハ告天子トモ書ス其羽色躡貌及ビ習姓ニ於テ自ラ一類ヲナス、主トシテ平原ニ栖息シ又高ク空中ニ飛翔ス、春季叢中又ハ圃畝ニ巢ヲ營ミ其鳴聲可憐ニシテ春時郊遊ノ人ヲシテ聽テ樂シマシメ大ニ愛賞セラレ、穀類ヲ食スルモ大害ヲ爲スニ至ラズ多ク小蟲草實等ヲ以テ食餌トナスガ故ニ効益アリトス本邦ノ雲雀ニ三種アリ左ニ索引ヲ掲シ

- い 一、頭上左右ニ耳狀ヲ爲シテ起立スル羽アリ……………○濱雲雀 (四十二號)
- 二、頭上ニ耳狀羽起立セズ……………○ニ移レ
- る 一、大ナリ、翼長三寸五分五厘乃至四寸……………○大雲雀 (四十一號)
- 二、較小ナリ、翼長三寸乃至三寸四分……………○通常雲雀 (四十號)

(四十) 通常雲雀

ひばり

Alauda japonia F. & S.

Small Japanese Sky-lark.

(第十二版四十四圖、全形ノ二分一)

雲雀 ハ上面総ヘテ茶色ニシテ數多ノ黒斑點アリ、夏季ハ茶色部多ク摩耗シテ黒色部大ニ現

ハル下面ハ淡茶色ニシテ喉及ビ胸ニ小形ノ黒點アリ而シテ腹部ニ至リ白色ニ移ル、後趾ノ爪ハ五六分ノ長キニ達ス

此鳥ハ多ク原野及ビ耕地ニアリ、春四月頃ヨリ營巢ヲ始メ四時共ニ我國ニ留マル

(四十一) 大雲雀

おほひばり

Alauda blakistoni Stejn.

Large Japanese Sky-lark.

形狀羽色ニ於テハ毫モ通常雀ト異ナラズ故ニ其圖ヲ略セリ、唯鳥体ノ一層大ナルニ於テ異ナルノミ(前種トノ翼長ニ於ケル差異ハ索引表ニ就キテ觀ルベシ)
此種ハ千島及ビ東塞加ニ産シ冬間ハ北海道ニモ在ルガ如シ、津輕海峽以南ニハ渡ラザルニ似タリ

(四十二) 濱雲雀

はまひばり

Otocorys alpestris (L.)

Shore-lark.

(第十二版四十五圖、全形ノ二分一)

此種ハ稍々小形ニシテ羽色ノ大概ハ通常雲雀ニ似ルモ額頰及ビ上胸部ノ黑色ナルニヨリ識別スルヲ得ベシ頭上左右ニ耳狀ヲ爲シテ起立スル羽總アルヲ雄雉ノ如シ今第四十五圖ニ示スハ幼鳥ニシテ曾テ本邦ニテ獲タル一標品ヲ畫キタルナリ親鳥ニ於ケル黑色部ハ未ダ發達セズシテ羽色上通常雲雀ニ酷肖タリ
此種ハ歐洲亞細亞及ビ北米ノ北部ニ普ク産スル所ナルガ本邦ニハ極メテ稀ナルガ如シ

○ 鶇

鶇ハ凡ソ鶇大ノ鳥ニシテ普通人ノ能ク知ル所ナリ食餌ハ主トシテ樹實花蜜等ニシテ害ヲ致サズ近時銃獵者ノ爲メニ濫殺セラル、ノ故アルヲ以テ其蕃殖期間之ヲ保護セサルヲ得サルニ至レリ此鳥ノ本邦ニ棲息スルモノ三種アリ左ニ索引ヲ出ダス

- い 一、 焦茶ハ頰及ビ喉ニ限ル……………○通常鶇鳥 (四十三號)
- 二、 焦茶色ハ頰及ビ喉ニ限ラズ胸部ニ及ブ……………○ろニ移レ
- る 一、 小笠原島ニ限リ産ス……………○小笠原鶇鳥(四十四號)
- 二、 沖繩島ニ限リ産ス……………○琉球鶇鳥(四十五號)

(四十三) 通常鶇鳥

ひよろり

Hypsipetes amaurotis (T.)
Brown-eared Bulbul

(第十二版四十六圖全形ノ三分一)

雌雄共ニ頭上ニ生ズル羽ハ末端尖リ灰蒼色ナリ背ニ至リ灰蒼ヲ帯ベル黒褐色トナリ翼及ビ尾ハ純粹ノ黒褐色ナリ下面ハ灰褐色ニシテ白斑點ヲ有シ腹側ハ少シク茶色ヲ帯ブ頭側頰部

ハ焦茶色ナリ、尙ホ同色部ハ狭キ帯ヲ爲シテ咽喉ニ横フ、翼長ハ四寸乃至四寸四分五厘ナリトス。此鳥ハ夏季、北海道及ビ内地ノ山地ニ於テ蕃殖ス、冬期ハ北海道ヨリ多ク内地ニ渡リ又内地ニ在テハ山地ヨリ平原村落ニ出デ涉冬シ或ハ朝鮮及ビ沖繩諸島ニ渡ルモノモアリ好ンデ樹實山茶花ノ蜜液等ヲ食シ鳴聲喧噪ナリ其巢ヲ營ムハ叢林中ニ於テシ小枝草根苔蘚等ヲ以テ之ヲ作ル卵ハ淡紅色ヲ帯ビ綠色ニテ縁取リタル赤褐色ノ斑點アリ

(四十四) 小笠原鴨

をがらばらひよどり

Hypsipetes squamiceps (Kittl)

Bonin-Island Bulbul.

(圖ヲ出サズ)

此種ノ内地産通常鴨鳥ト異ナルハ只喉部ノ焦茶色部廣クシテ胸ニ及ブノ一點ニアリ鳥体ノ大サモ又同シ(翼長四寸乃至四寸六分)其産地ハ小笠原諸島ニ限り他ニ産スルヲ聞カズ

(四十五) 琉球鴨鳥

りうきうひよどり

Hypsipetes pryeri Stejn.

Loo-choo Bulbul.

(圖ヲ出サズ)

羽色ニ於テハ小笠原鴨鳥ト毫モ異ナル所ナシ故ニ同種ト看做ス人モアリ但シ体軀較小ニシテ翼長三寸七分五厘乃至四寸一分ナリトス、鳴聲ハ通常鴨ト異リ喧噪ナラズシテ稍聴クニ堪ヘタリ、此種ハ沖繩諸島ニノミ産シ他ニ之ヲ見ズ冬間ハ該地方ニモ内地産ノ通常鴨鳥ノ渡リ行クモノアルヲ以テ混同スベカラズ

○ 鴟

鴟 ハ通例鴨ヨリモ小ナリ頭大ニ、嘴強壯ニシテ特異ノ形狀ノミナラズ各地ニ之レアルガ故ニ人ノ能ク知ル所ナリ、食餌ハ蝗、毛虫及ビ其他昆蟲類ヲ以テ主トナスモ性質猛鷲ニシテ蛙、小鳥等ヲモ捕ヘ食スルコトアリ、近時狩獵者之ヲ濫獲スルノ傾向アルヲ以テ今ニシテ幾分カ之カ保護ヲ加ヘザルベカラズ、本邦ニ於ケル鴟ハ五種アルヲ知ル左ニ索引表ヲ出ダス

- い 一、頭上灰色ナリ……………ろニ移レ
- 二、頭上灰色ニ非ス……………はニ移レ
- ろ 一、脊モ又灰色ナリ……………はニ移レ
- 二、脊ハ灰色ニ非ズ……………にニ移レ
- は 一、腰モ又灰色ナリ……………○大唐鴟(附)
- 二、腰ハ白色ナリ……………○大 鴟(五十號)
- に 一、腰部ニ至リ赤茶色トナル……………○琉球鴟雄(四十九號)
- 二、脊腰共ニ黒ト赤茶ノ虎文ナリ……………○兒 鴟親(四十八號)
- ほ 一、頭上ハ黒ト黒茶ノ虎文ナリ……………○兒 鴟幼(四十八號)
- 二、頭上虎文ヲ示サヌ一様ニ赤茶乃至茶褐色ナリ……………へニ移レ
- へ 一、額部白若クハ灰白……………どニ移レ
- 二、額部白ヲ帯ビズ……………○通常鴟(四十六號)

- と 一、頭上茶褐色……………○琉球鴟雌(四十九號)
- 二、頭上赤茶色……………○赤 鴟(四十七號)

(四十六) 通常鴟

もす

Lanius bucephalus T. & S.

Bull-headed Shrike.

(第十三版四十七圖上ナルハ雌 全形ノ二分一)

雄ハ頭上赤色ニシテ脊ニ至リテ灰褐色ナリ、尾ハ主トシテ黒褐色ニ翼モ亦同ジ、但シ翼ニハ小形ノ白色點アリテ其中數羽ハ茶色ニテ縁取ラル、眼ノ前後及ビ下部ハ黒クシテ白色ノ眉アリ、願ハ白ク胸ノ方ニ至リ漸々淡茶色ヲ呈シ胸腹ノ兩側部ハ赤茶色ナリ、下面ニ少許ノ横行細條ヲ見ル

雌ハ雄ニ似タルモ脊及ビ尾ノ大ニ赤茶ヲ帯ブルコト、眼ノ近傍黒カラザルコト、下面ニ許多ノ鱗形ヲ爲セル細條ノ存スルコト翼ニ白點ナキ等ノ諸點ニ於テ異ナレリ

此鳥ハ四時共ニ本邦ニ留リテ夏季ハ山地ニ多ク冬ハ平原ニ多シ、營巢ハ概テ山地ナレ共平原ニ於テモ營巢スルモノ無キニ非ス、春四月ノ頃雛鳥ヲ出ス、秋十月初旬ヨリシテ山地ニ於テ涉夏シタルモノ多ク平原ニ下リ喧嘩ナル鳴聲ヲ放チ寒氣加ハルニ及ビテ又其聲ヲ聞カズ此鳥ハ滿洲、支那等ニモアリ

(四十七) 赤鵟

あかもず

Lanius superciliosus Lath.

Japanese Red-tailed Shrike.

(第十三版四十八圖雄全形ノ二分一)

雄ハ眼ノ前後黒ク、額部ハ白ク同色ノ眉ト連続ス、頭上ヨリ尾根ニ至ルマデ一体ニ赤茶色ニシテ尾ハ少シク暗黒ヲ帯ビタル赤茶色ナリ、翼ニ白點ナシ、其他ハ通常鵟ト同シ
雌ハ大体ニ於テ雄ト同色ナリ、但シ雄ノ如ク鮮明ナラザルノミ、兩性共ニ額白クシテ上部ノ尾ニ至ルマテ赤茶色ナルハ此種ノミナルガ故ニ識別スルコト易カルベシ
此種ハ春南方ヨリ來リ夏月本邦ニ於テ蕃殖シ秋季再ビ南方ニ渡リ馬刺加半島ニ達ス而シテ冬季中本邦ニ留マルモノ有ルヤ否未ダ審ナラズ

(四十八) 兒鵟

ちごもず

Lanius magnirostris Less.

Thick-billed Shrike.

(第十三版四十九圖雄全形ノ二分一)

雄ハ頭上ヨリ後頸ニ互リ灰蒼色ナリ、眼ノ前後黒ク眉ナシ、脊ハ一体ニ焦赤茶色ニシテ横行ノ

黒條ヲ有シ所謂虎文狀ヲ呈ス、尾ハ翼ト共ニ黒赤色ナリ、下面ハ額ヨリ尾下ニ至ルマデ白シ、雌ハ雄ト略ボ同色ナリ

幼鳥ハ頭上ニ灰蒼色ナク額ヨリ尾根ニ至ルマデ焦茶及ビ黒ノ虎文ナリ而シテ下面兩側部ニモ黒色ノ横條多シ

此種ハ本邦ニ甚ダ少シ、其蕃殖地ハ亞細亞大陸ノ日本海沿岸ニ在リ秋南方ニ渡リ冬ハ馬刺加半島ニマデ達ス

(四十九) 琉球鵟

りうきうもず

Lanius lucionensis L.

Chinese Red-tailed Shrike.

(標品缺乏ノ爲メ圖ヲ出サズ)

頭上ヨリ後頸ニ互リ老鳥ニ在テハ灰色、幼鳥ニ在テハ暗褐色ヲ呈シ、此色ハ後方ニ至ルニ隨ヒ漸次茶色ヲ加ヘ腰及ビ尾ニ至リテハ赤茶色トナル、翼ニ白點ナク、額ハ灰白、眼ノ前後ハ雄ニ在テハ黒ク雌ニ在テハ茶褐色ナリ、額ヨリ喉ニ互リ白ク、其レヨリ以後尾下ニ至ルマデ多少茶色ヲ帯ブ

此種ハ元來北支那ニ産スル鵟ナルガ冬季我が沖繩諸島ニ渡ルモノナリ、或ハ四時該島ニ留マル者ナキヲ期セズ、内地ニハ此種ヲ見ルコト無キガ如シ

(五十) 大鴟

れほもす

Lanius major Pall.

Pallas' Grey Shrike.

(第十四版、五十圖、雄全形ノ二分一)

是ハ以上ノ諸種ヨリモ大形ナリ、翼長三寸七分許、頭上ヨリ脊ニ互リ灰色ニシテ額白ク、眉アリ、眼ノ前後ハ黒シ、兩肩及ビ腰部ハ白色ニ、尾羽ハ多少黒色部ヲ有シ其末端白シ、翼ハ主トシテ黒ク一ノ白斑點ヲ具フ、下面ハ總ベテ白ク唯腹側部ニ於テ少シク灰色ヲ帶ブルノミ、雌ハ雄ニ同シ但シ、胸部ニ於テ灰色ノ細キ横條ヲ散布ス、此種ノ本產地ハ西比利亞ノ南部ニシテ本邦ニ於テモ極メテ稀レニ之ヲ見ルコトアリ

(附)

○大^{オホ}唐^{カラ}鴟^{モス}

(*Lanius sphenocercus* Cab.) ハ前出大鴟ヨリモ一層大ニシテ翼長ハ四寸尾羽ハ四寸

七分ノ長キニ達ス、羽色大鴟ニ酷肖タルモ腰部白カラズシテ脊ト一般ニ灰色ナリ而シテ翼ニ白色部甚ダ多シ、元來南支那ノ産ナルガ本邦ニ於テモ其一標品ヲ購ヒタルコトアリ、是レ果シテ本邦ニテ獵獲セラレタル鳥ナルヤ否疑ナキヲ得ズ

○啄木鳥

啄木鳥類ハ嘴直シ且堅硬ニシテ嘴根ニ剛毛ヲ生ジ鼻孔ハ額ニ密接シテ位ス、四趾中二趾ハ前ニ二趾ハ後方ニ向フ、尾羽硬直ニシテ樹幹ヲ攀ヅルニ當リ軀軀ヲ支持スルニ用アリ、此類ハ樹上ニ生活スル蟲類ヲ啄ミ或ハ嘴ニテ樹幹ヲ敲キ中ニ木^{キツヒムシ}蠹^{ムシ}ノ在ルヲ察シテ孔ヲ穿テ舌ヲ以テ之ヲ鉤出ス、森林ニ棲息シテ樹洞ノ中ニ産卵ス、皆漂鳥ナリ、大形ノ種類ハ害蟲ヲ除クノ効アリト雖モ亦樹木ヲ傷ツルノ害ナキニアラズ、小形種ハ此患ナキガ故ニ純粹ノ益鳥トスベシ、本邦ニ産スル啄木鳥ニ凡ソ十種アリ、其中最小形ナル小啄木ト名ヅクル一種ニ限り保護セラ

(五十一) 小啄木

こげら

Yungipicus kizuki (T.)

Pigmy Woodpecker.

(第十四版、五十一圖、雄全形ノ二分一)

小啄木ハ大凡雀大ノ小鳥ナリ、翼長二寸六分乃至九分ニシテ頭上及ビ頭側ハ茶褐色、眼後ニ形小ノ白色部アリ又頸側ニハ大ナル白色部アリ、背部及ビ翼ハ黒色ト白色ノ横斑ヲ呈ス、咽喉部ハ白ク胸腹部ニ至リ許多ノ茶褐色縦斑アリ、尾ノ中央ノ羽ハ黒色ナルモ外側ノモノハ黑白

ニテ鷹文ヲナス、雌雄同色ナルモ唯雄ニハ後頭ノ左右ニ朱色ノ小點アリテ雌ニハ之レ無シ
 此種ハ本邦諸洲ニ産シ殊ニ山地ニ多シ或ハ小群ヲ爲シ或ハから類ノ群ニ混シ樹木ヨリ樹木
 ニ飛翔シ樹幹ヲ攀ヅル狀五十雀ニ似タリ、鳴聲「チー、チー」ト聞ユ、夏季山地ニ於ケル樹洞中ニ産
 卵ス朝鮮及ビ滿洲ニモ亦此種アリ、
 廣ク本邦各地方ニ産スル小啄木ヲ檢スルニ北海道及ビ本土ノモノハ比較的ニ白色部多ク、九
 洲ノモノハ較暗黒部ニ富ミ、琉球産ノモノハ羽色最モ暗黒ナリ、此等ノ差違ハ以テ別種トナス
 ニ足ラザルガ如シ、尙ホ後來ノ調査ヲ要ス

附

爾餘ノ啄木鳥ハ皆小啄木ヨリモ大形ナリ○熊啄木ハ頗ル大ニシテ全身黒ク頭ハ雌雄ニヨリ多
 少ノ赤色アリ、北海道ニ産ス○きた、き、ハ形狀略ホ前種ト同シ、黒色ナルモ腹及腰ハ白シ、雄ハ頭
 上赤色ナリ、對島ニ産ス、方言あまのじやくト云フ○綠啄木ハ形チ中大ナリ、綠色ニシテ頭ハ灰
 色ナリ本土ニ産ス○山啄木ハ前種ニ酷肖タルモ異ナレリ、北海道ニ産ス○大赤啄木ハ黒色ニ
 富ミ、腰ハ白シ尾下ヨリ赤色ヲ呈シテ腹部ニ及ブ○赤啄木ハ最モ普通ノ種ナリ、前種ニ似テ稍
 小形、腰黒ク尾下ノ赤色ハ腹ニ達セズ○小赤啄木ハ小啄木ヨリ稍大ナリ、額部白ク背ハ一様ニ
 黒シ、北海道ニ産ス○波江啄木ハ大赤啄木ニ似ルモ脊ニ少シシ白色アルノミ、腰ハ黒シ、大和ニ
 産ス○野口啄木ハ上面黒ク下面ハ赤褐色ニシテ白色點ハ僅ニ翼ノ風切ニ見ルノミ、沖繩島ニ
 産ス

○松鷄類

松鷄及ビ雷鳥ヲ併稱シテ松鷄類トナス其体ハ鳩ヨリモ稍大ニシテ形狀ハ鶉若クハ雉ニ近シ
 習性モ亦相似タリ、實際鶉鷄類ト目ヲ同ウス然レドモ尾ハ所謂角尾ニシテ尖ラズ雄ニ距ナシ、
 兩眼ノ上ニ小形ノ肉冠アリ、専ラ地上ニ棲息シ巢モ地上ニ營メリ、本邦ニハ只タ二種ヲ産スル
 ノミ、左ニ識別表ヲ掲ク

- 一、足ハ趾端ノ爪根ニ至ルマデ羽毛ヲ生ズ、翼ハ常ニ白色ナリ……………雷鳥(五十三號)
- 二、脛ハ羽毛ヲ被ルモ諸趾ハ之ヲ生ゼズ、翼ハ茶褐色ナリ……………松鷄(五十二號)

(五十二) 松鷄

急ぞやまどり又ゑがらいてら

Tetrao bonasia L.

Hazel-grouse.

(第十四版五十二圖雄、全形ノ四分一)

大サ雉鳩ヨリモ稍大ニ嘴ハ雉子ノ如シ、上面ハ復雜ナル斑紋ヲ呈シ純白、灰白、焦茶、茶褐、黒等ノ
 諸色ヲ混ス、尾羽ノ中央ニ二枚ハ全ク鷹文狀ナルモ其他ハ末端白ク次テ黒帶アリ、翼ノ風切ハ茶
 褐色ニシテ其外縁ハ白茶色ナリ、下面ハ擬白ニシテ數多ノ黒色ト黒茶色ノ斑點ヲ有ス、雄ニ在

テハ頰部黒色ナルガ雌ニ在テハ此黒色部ナシ、脛ハ其下端ニ至ルマデ白色ノ羽毛ヲ被ルモ諸趾ハ裸出セリ、眼上ノ肉冠ハ雌ニ在テハ甚ダ小形ナリ

此鳥ハ廣ク西比利亞及ビ歐洲ニ産スルモ本邦ニテハ只北海道ニ之ヲ見ル而シテ津輕海峽以南ニハ絶テアルコナシ、之レト反對ニ雉子及ビ鶺鴒ハ該海峽以北ニナシ、北海道ニテ俗ニ此鳥ヲやまどりト稱スルハ習性ノ鶺鴒ニ似タル所アルガ故ノミ、蓋シ該地ニ於ケル好獵鳥ノ一ナリ

(五十三) 雷鳥

らいてう

Lagopus mutus, (Montin.)

Parraigian.

(第十五版、五十三圖 右ナルハ雄 左ナルハ雌 五十四圖 雄ノ全形ノ四分一)

前種ト同大ニシテ形狀モ亦同シ但シ、脚ハ趾頭ニ至ルマデ白色ノ羽毛ヲ生ズ、雌雄少シク色彩ニ異ニス而シテ夏季ノ羽色ト冬季ノ羽色ハ大ニ異ナレリ、先ヅ夏季ノ羽色五十三圖ヨリシテ記載センニ、翼ノ風切ハ雌雄共ニ純白而シテ尾ハ中央ノ二枚ヲ除キ黒色ナルガ其他ハ雄ニ在テハ全頭頸及ビ咽喉ノ諸部並ニ背面一体ニ黒色ニシテ茶色ノ細カナル小紋數多アリ、腹ハ白色ナリ、雌ハ雄ニ比スレバ茶色ニ富ミ頭頸咽喉、全背及ビ腹側ハ黒ト黄茶ノ横斑ナリ、其他ハ雄ニ同シ、秋季ニ至リ一旦 ヒヤ 経ルハ雌雄共ニ總身純白トナル(五十四圖但シ尾ノ外側羽ハ黒色ヲ存シ又雄ニ限リ眼前ノ處 メカキ 黒色ナリ、之レヲ此鳥ノ冬羽トス、是レ大ニ意味アルコトニテ冬間周圍ノ積雪ト色ヲ同ウスルハ敵ノ襲撃ヲ避クルニ便益アルヤ言ヲ待タズ、是レ所謂保護色ノ一例ナリトス

此鳥ハ歐洲及ビ亞細亞大陸ニモアリ、本邦中千島ニテハ平原ニ棲息スルモ本土ニ在テハ高山ニノミ産ス即チ飛彈信濃ノ境ナル乗鞍嶽槍ヶ嶽又木曾ノ御嶽等ノ如キ高山ノ雪線ニ接近シタル地ニ棲息ス御嶽講ノ信徒ハ頗ル此鳥ヲ崇重スト云フ、其本邦内産地ノ區域甚ダ狹隘ニ且ツ性質魯鈍ナルヲ以テ捕獲シ易ク其類ヲ絶滅スルノ虞アリ

Pine Rock-pigeon.

(第十六版五十五圖全形ノ四分一)

河原鳩ハ諸鳩中トバニ最モ近キ一種ニシテ脊ノ中央部ノ白色又ハ灰白色ナルノ外ハ一体ニ暗黒ノ羽色ナリ但シ腹部ハ他ニ比シテ淡ク頸及ビ胸ハ綠色乃至紫色ノ光澤ヲ有ス今第五十五圖ニ寫シタル原標品ハ幼鳥ナルヤ此光澤ヲ欠キ其代リニ暗茶色ヲ雜ユトバ中ニモ右ニ記スル所ト同様ノ羽色ナルモノヲ見ルヲ往々之レアリテ區別シ難キヲアリト雖モ棲息ノ狀況ヲ知ルトキハ又容易ニ區別シ得ベシ則チ河原鳩ハ主トシテ海岸ノ巖窟ニ群棲スルモノニシテトバノ如ク人家ノ近傍ニ棲息スルモノニ非ズ
往年相模國江ノ島ノ岩窟ニ多ク棲息セシガ今ハ其跡ヲ絶テリ然レモ他地方ノ沿岸ニハ尙ホ往々ニシテ其群ヲ見ルヲアリ此鳥ハ「ベルシヤ」ヨリ本邦ニ至ルマデノ亞細亞沿岸ニ産セリ

(五十五) 雉鳩

きじばと 又やまばとよこらじばと

Turtur orientalis (Luth.)

Eastern Thrill-dove.

(第十六版五十六圖全形ノ四分一)

是ハ頭頸及ビ胸部ノ諸部葡萄鼠色ニシテ頸側ニ黒色ト灰青色ヨリ成ル鱗狀ノ斑點アリ肩及ビ背ハ赤茶色ト黒色トヲ雜ユ腰部ハ灰黒色ニ風切及ビ尾羽ハ黒褐色ニ尾羽ノ末端ハ白シ胸

ハ淡白ナル赤茶色ヲ帯ヒ腹部ノ方ニ至テ淡シ

此種ハ本邦ニ最モ多ク且ツ廣ク棲息スル鳩ニシテ四時本邦ヲ去ラス夏季間ハ殊ニ山地ニ多ク晩秋ヨリシテ平原ニ下ル但シ平原ト雖モ夏季中留リテ林藪中ニ營巢スルモノ尠カラズ此種ハ廣ク亞細亞ノ南部及ビ東部ニ分布スト云フ

(五十六) 斑鳩

あらこばと 又じゆずかけばと

Turtur risorius (T.)

Indian Dove.

(第十七版五十七圖全形ノ四分一)

此種ハ前種ニ比シテ稍小ニシテ全身ノ羽色淡白ナリ頭頸及ビ下面ハ一体ニ灰白色ニシテ少シク赤味ヲ帯ビ脊ハ尾ニ至ルマデ灰褐色ニ類似ノ色ヲ呈ス風切ハ黒褐色ニ外側ノ尾羽ハ根本黒ク末端白シ後頸ニ黒色ノ半輪環アリ念珠掛シユズガクノ名アル所以ナリ

斑鳩ハ土耳其印度支那等ニアリ本邦ニハ蕃殖期中ニ在リテ冬季ハ去リテ在ラサルガ如シ但シ本邦ニモ北海道ニテハ未ダ曾テ此種ヲ見ス

(五十七) 紅鳩

くまばと

Turtur humilis (T.)

Chinese Red-Dove.

(標品缺乏ノ爲メ圖ヲ出サズ)

紅鳩 ハ小形ノ鳩ニシテ雌雄色ヲ異ニス、雄ニ在テハ背及ビ胸ハ一種ノ赤色ナリ、頭上及ビ腰ハ灰色ヲ呈ス、頤部ハ白ク、後頸ニ暗黒ノ環アリ、腹部ハ擬灰色ニシテ、尾下ニ至リテ白色トナル。雌ハ雄ノ如ク美麗ナラズ、一体ニ淡白ナル茶褐色ヲ爲シ、胸邊ハ淡紫ヲ帯ビタル灰色ナリ、雄ト同シシ頸環ヲ有シ、其前縁ハ灰白色ニテ縁取ラル。

此種ハ元來南支那、臺灣、比律賓等ノ産ニシテ、本邦ニテ獲タルコトアルモ、果シテ本邦ノ鳥類トシテ看做スベキモノナルヤ疑ナキ能ハズ、羽色美麗ナルヲ以テ時々籠中ニ飼養スルヲ見ルモ、皆輸入ニ係ルモノナリ。

(五十八) 金鳩

きんばと

Chalcophaps indica (L.)

Green-winged Dove.

第十七版五十八圖雄全形ノ四分一

金鳩 モ亦他種ニ比シテ小形ナリ、雄ハ額白ク、頭上灰青色ニシテ、白色ノ眉アリ、頸環ハナシ、頤ヨリ胸ニ亘リ一種ノ赤色ニシテ、腹部ノ方ニ至テ漸ク淡シ、背部ハ金綠色ヲ呈シ、甚ダ美麗ナリ。雌ハ額灰白ニシテ、頸及ビ脊ハ茶褐色ニ、下部ハ赤褐色ナリ、其他ハ略ホ雄ニ同シ。

此種ハ廣ク亞細亞ノ熱帶地ニ産シ、我邦ニテハ曾テ之ヲ沖繩縣下八重山島及ビ其附近ノ島嶼ニ發見セリ、前種ト同シク羽色華美ナルニヨリ往々籠島トシテ本邦ニ輸入セリ。

(五十九) 綠鳩

あをばと 又まやくはちばと やまばと

Treron sieboldi (T.)

Japanese Green Pigeon.

(第十七版五十九圖前ナルハ雌全形ノ四分一)

綠鳩 ハ前種ニ比シ、稍大形ナリ、上面殆ド一体ニ濃綠色ナルモ、頭上及ビ下面ハ黃綠色ニシテ、腹ニ白色部アリ、風切及ビ尾ノ外側羽ハ黒シ、雄ハ翼上ニ大ナル暗赤部アルモ、雌ニハ之レ無し。此種ハ本邦何レノ地ニモ棲息シ、殊ニ南方地方ニ多シ、北海道ニハ唯夏期ノミ在リ、四時本邦内ニ留リテ蕃殖ヲ爲ス、其鳴聲ハ恰モ尺八ヲ吹奏スルニ類スルヲ以テ尺八鳩ノ別稱アリ、又地方ニ由リ之ヲ山鳩ト云フ。

(六十) 琉球綠鳩

りうきうあをばと

Treron permagna Stejn.

Loo-Choo Green Pigeon.

(圖ヲ出サズ)

琉球綠鳩 ハ前種ニ比シ少シク大形ニシテ羽色ハ粗々同一ナリ唯頭上及ビ下面ノ黃綠ニ非ズシテ殆ド一樣ニ暗綠色ナルノ點ニ於テ異ナルノミ
此種ハ沖繩諸島ニ棲息ス其他該島ト九州ノ間ナル諸島ニモアルナラン此他ノ地方ニハ産セザルモノ、如シ

(六十一) 鴉鳩

からすばと又うまばと

Carpophaga janthina (L.)

Japanese Fruit-pigeon.

(第十八版六十圖全形ノ四分一)

雅鳩 ハ形大ニシテ全身黒色ナリ故ニ此名アリ頭頸背胸等ノ諸部ハ綠色ト紫色ノ金屬的光澤ヲ有ス

此種ハ廣ク本邦ノ海濱又ハ沿岸ノ島嶼ニ産ス所ニヨリテハ甚ダ多ク見ルコアリ

(六十二) 小笠原鴉鳩

さがしはらからすばと

Carpophaga versicolor (Kittl.)

Bonin Fruit-pigeon.

(標品ナキガ爲メ圖ヲ出サズ)

前種ヨリモ稍大形ニシテ全身灰黒ナリ下面ハ上面ヨリモ淡白ニシテ風切及ビ尾ハ暗黒ナリ頭上ヨリ脊ニ互リ美麗ナル主トシテ金屬色ノ光澤ヲ帶ビ胸邊ノ各羽ハ綠色ニシテ紫色ノ光澤アル縁邊ヲ有ス、

此種ハ小笠原群島ニ限り産ス但シ稀レニ見ル所ノモノナリ

(六十三) 赤頭鴉鳩

あかぶしらからすばと

Carpophaga nitens (Strjn.)

Stejneger's Fruit-pigeon.

(第十八版六十一圖全形ノ四分一)

赤頭鴉鳩 ハ羽色形状共ニ内地産ノ鴉鳩(六十一號)ニ酷肖タルモ頭ノ全部赤褐色ヲ帶ブルヲ以テ異レリトス

此種又小笠原群島ニ限り産ス但シ前種ノ如ク稀レナルモノニアラズ

(六十四) 琉球鴉鳩

りうきうからすばと

Carpophaga jouyi, (Stejn.)

Loo-Choo Fruit-pigeon.

(第十八版、六十二圖、全形ノ四分之一)

琉球鴉鳩 亦羽色形狀內地産ノ鴉鳩ニ彷彿タリ唯肩土ニ三日月形ノ白色部アルヲ以テ異

レリトス 是ハ從來沖繩諸島ニ於テノミ見ル所ニシテ此他九州近傍ノ諸島ニモアランカナレドモ未ダ之ヲ詳ニセズ

保護鳥圖譜終

○保護鳥獸ニ關スル諸規定

○法律第二十號狩獵法 (明治二十八年三月廿日公布) 拔萃

第三章 鳥獸保護

第十七條 保護ヲ必要トスル鳥獸ヲ捕獲シ又ハ之ヲ販賣スルコトヲ禁ス但シ捕獲ノ禁止又ハ停止以前ニ於テ捕獲シタル鳥獸ハ其禁止又ハ停止ノ日ヨリ二週間以内ニ於テ販賣スルハ此限ニ在ラス
飼養ニ係ル保護鳥獸ハ前項期日後ト雖モ農商務大臣定ムル所ノ規則ニ依リ販賣スルコトヲ得

捕獲ヲ禁止シ又ハ停止スベキ保護鳥獸ノ種類及期限ハ農商務大臣之ヲ定ム
第十八條 捕獲ヲ禁スル鳥類ノ卵又ハ雛ヲ取り若クハ之ヲ販賣スルコトヲ禁ス
第十九條 捕獲ヲ禁スル鳥獸ト雖學術研究其他特別ノ理由ニ因リ捕獲ヲ要スルトキハ地方長官ハ特ニ其許可ヲ與フルコトヲ得
有害鳥獸ヲ驅除スル爲メ必要ト認ムル場合ニ於テモ亦同シ

第四章 罰則

第二十二條 第十七條第一項第十八條ニ違背シタルモノハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス.....

狩獵法施行細則

○農商務省令第四號 (明治二十八年三月二十七日) 拔萃

第十四條 左ニ掲クル鳥類ハ捕獲スルコトヲ禁止ス

一 鶺鴒ヒメドリ 一 燕ヒメドリ 一 小雀ヒメドリ 一 日雀ヒメドリ 一 四十雀ヒメドリ 一 五十雀ヒメドリ 一 柄長ヒメドリ

一 鶺鴒ヒメドリ 一 杜鵑ヒメドリ 一 郭公ヒメドリ 一 三光鳥ヒメドリ

第十五條 左ニ掲グル鳥類ハ三月十六日ヨリ十月十四日マデ捕獲スルコトヲ停止ス

一 雉ヒメドリ 一 鸚雉ヒメドリ

第十六條 左ニ掲グル鳥類ハ四月十六日ヨリ八月十四日マデ捕獲スルコトヲ停止ス

一 鶺鴒ヒメドリ 一 椋鳥ヒメドリ 一 鶺鴒ヒメドリ 一 雲雀ヒメドリ 一 鶺鴒ヒメドリ 一 小啄木ヒメドリ

一 雷鳥ヒメドリ 一 松鷄ヒメドリ 一 鳩ヒメドリ

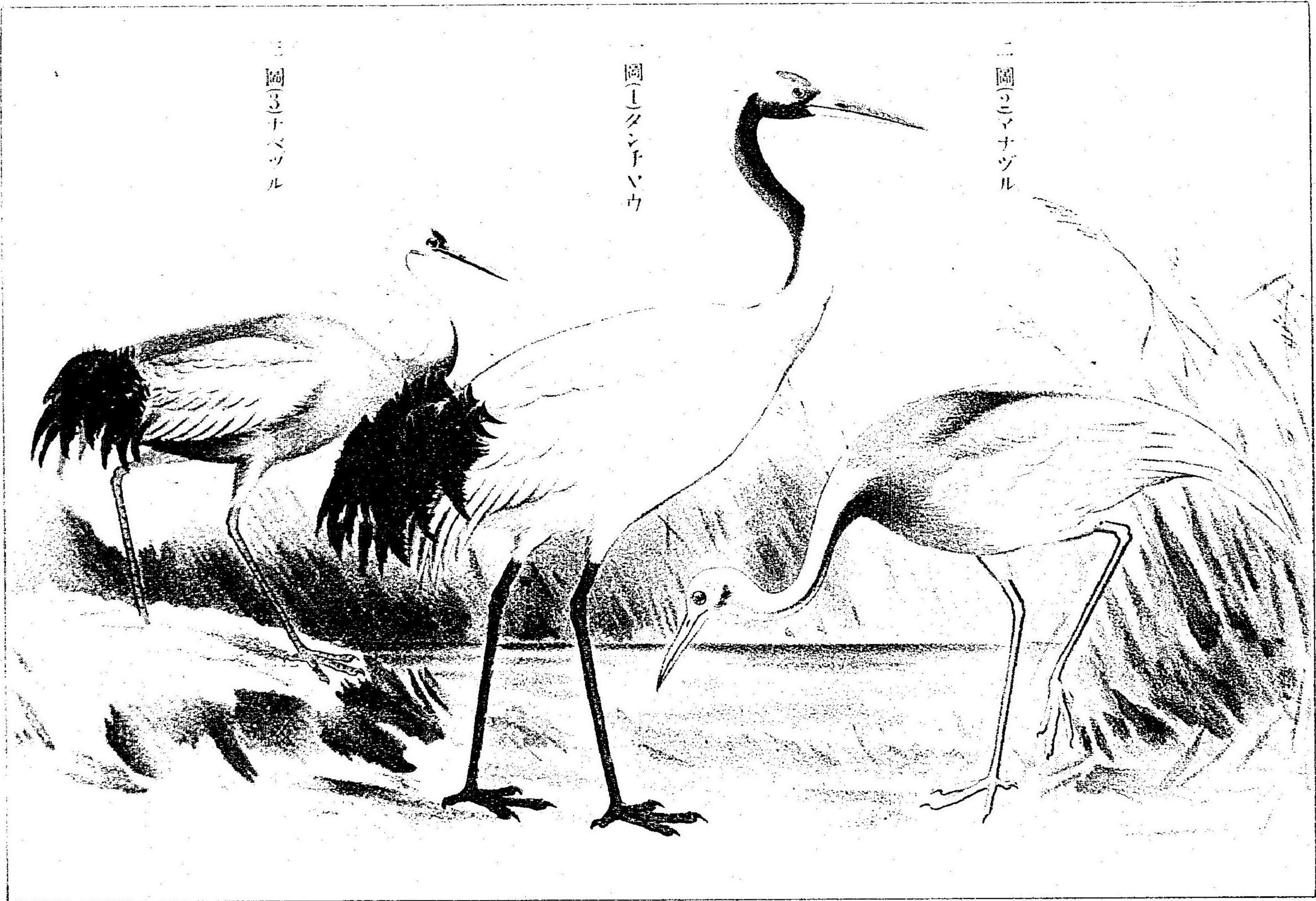
第十七條 牝鹿ハ十月一日ヨリ七月十五日マデ牡鹿ハ十月一日ヨリ十一月三十日マデ捕獲スルコトヲ停止ス

第十八條 北海道ニ於テハ第十七條ノ保護期外ナリトモ鹿ノ捕獲ヲ停止ス

第十九條 營業ノ爲メ保護鳥獸ヲ飼養スル者ハ捕獲禁止又ハ停止ノ日ヨリ二週日ヲ經過シタル翌日現在ノ名稱及ビ員數ヲ三十日以内ニ所轄警察官署ニ届出ベシ

第二十條 保護鳥獸ヲ販賣シタルトキハ其買受人ノ住所氏名年月日及鳥獸ノ名稱員數ヲ三十日以内ニ所轄警察官署ニ届出ベシ

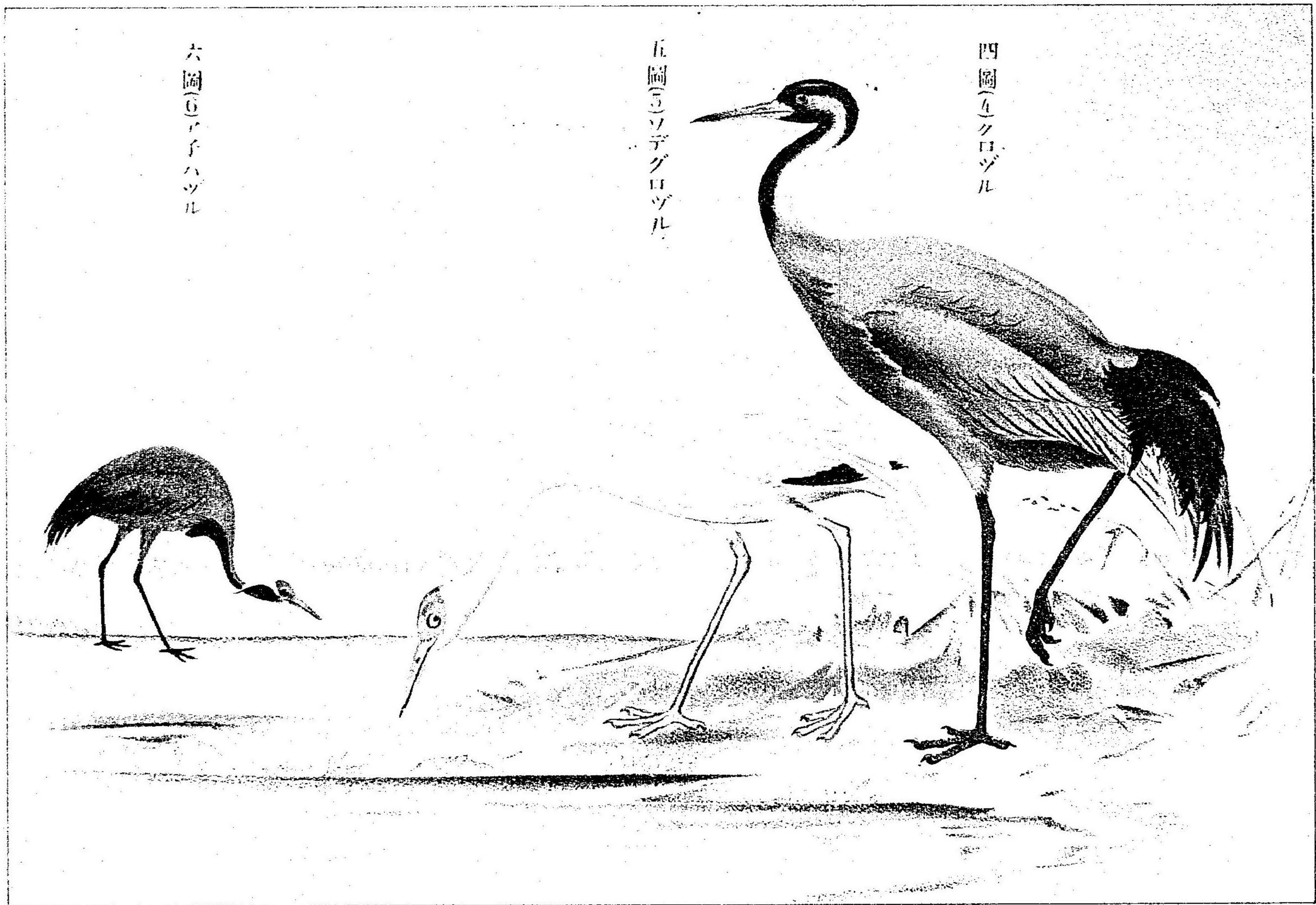
第二十一條 保護鳥獸ヲ販賣シタルトキハ其買受人ノ住所氏名年月日及鳥獸ノ名稱員數ヲ三十日以内ニ所轄警察官署ニ届出ベシ



3. WHITE - HEADED CRANE.

1. SACRED CRANE.

2. WHITE - NAPED CRANE.



四圖(4)クロヅル

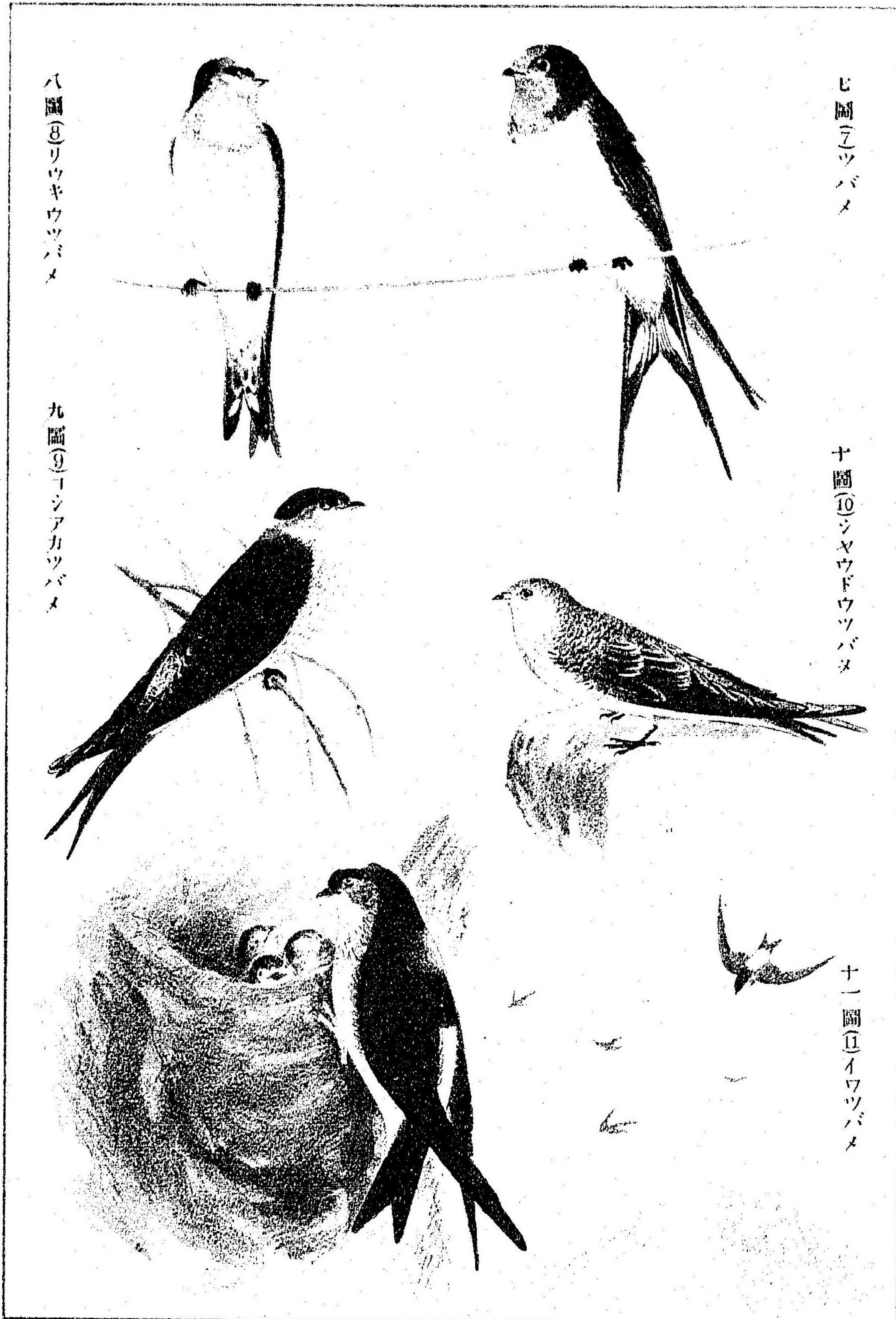
五圖(5)ソデグロヅル

六圖(6)ア子ハヅル

6. DEMOISELLE CRANE.

5. SIBERIAN WHITE CRANE.

4. COMMON CRANE.



八圖(8)リウキウツバメ

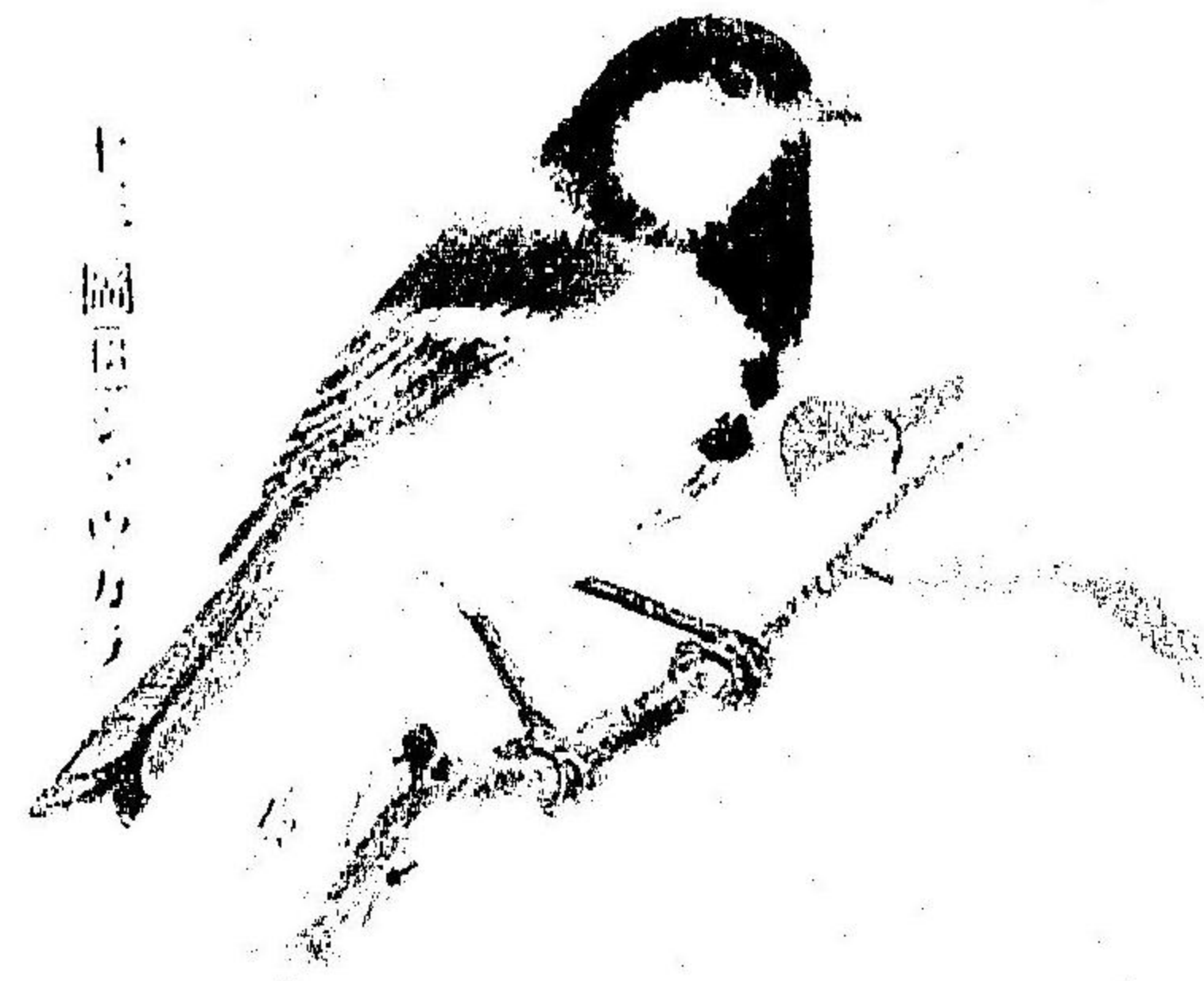
九圖(9)シアカツバメ

七圖(7)ツバメ

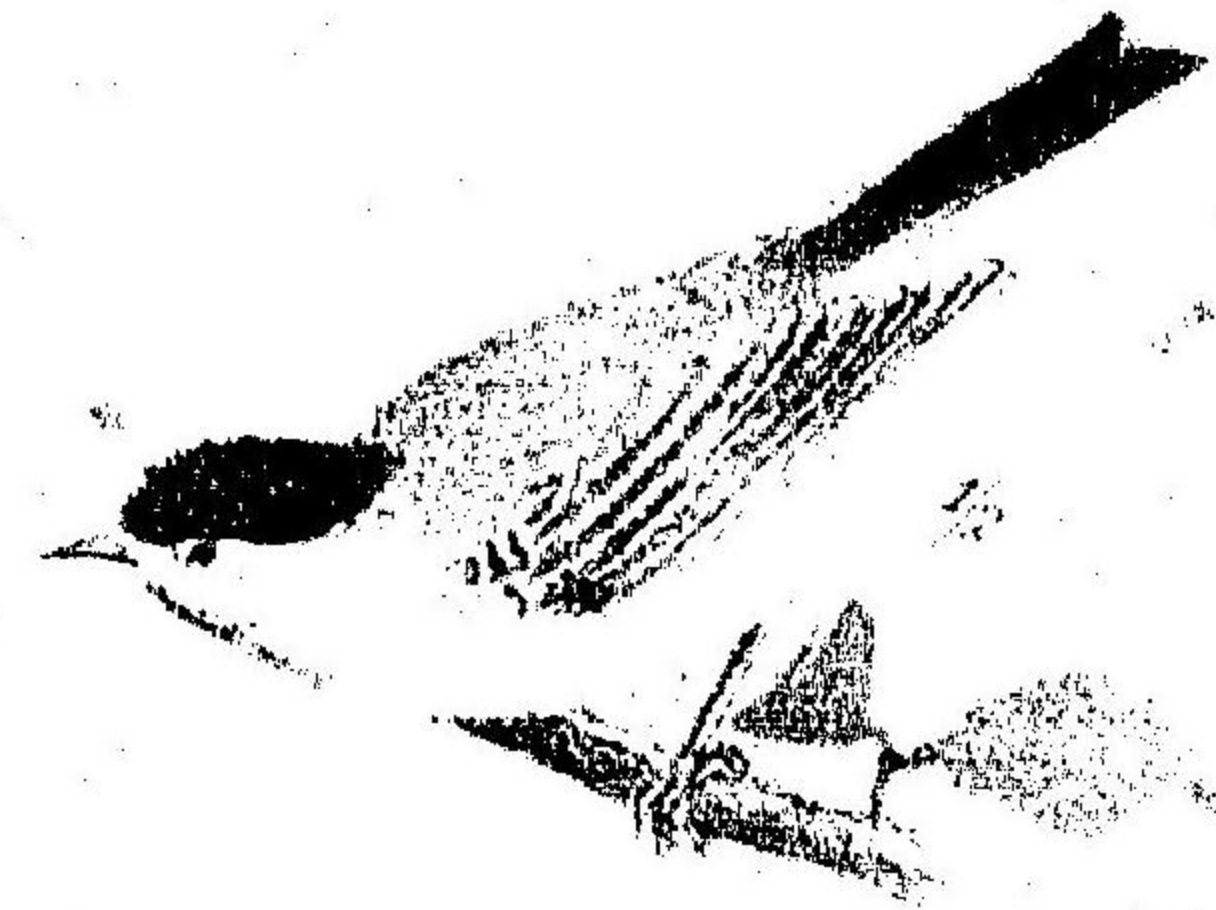
十圖(10)シヤウドウツバメ

十一圖(11)イワツバメ

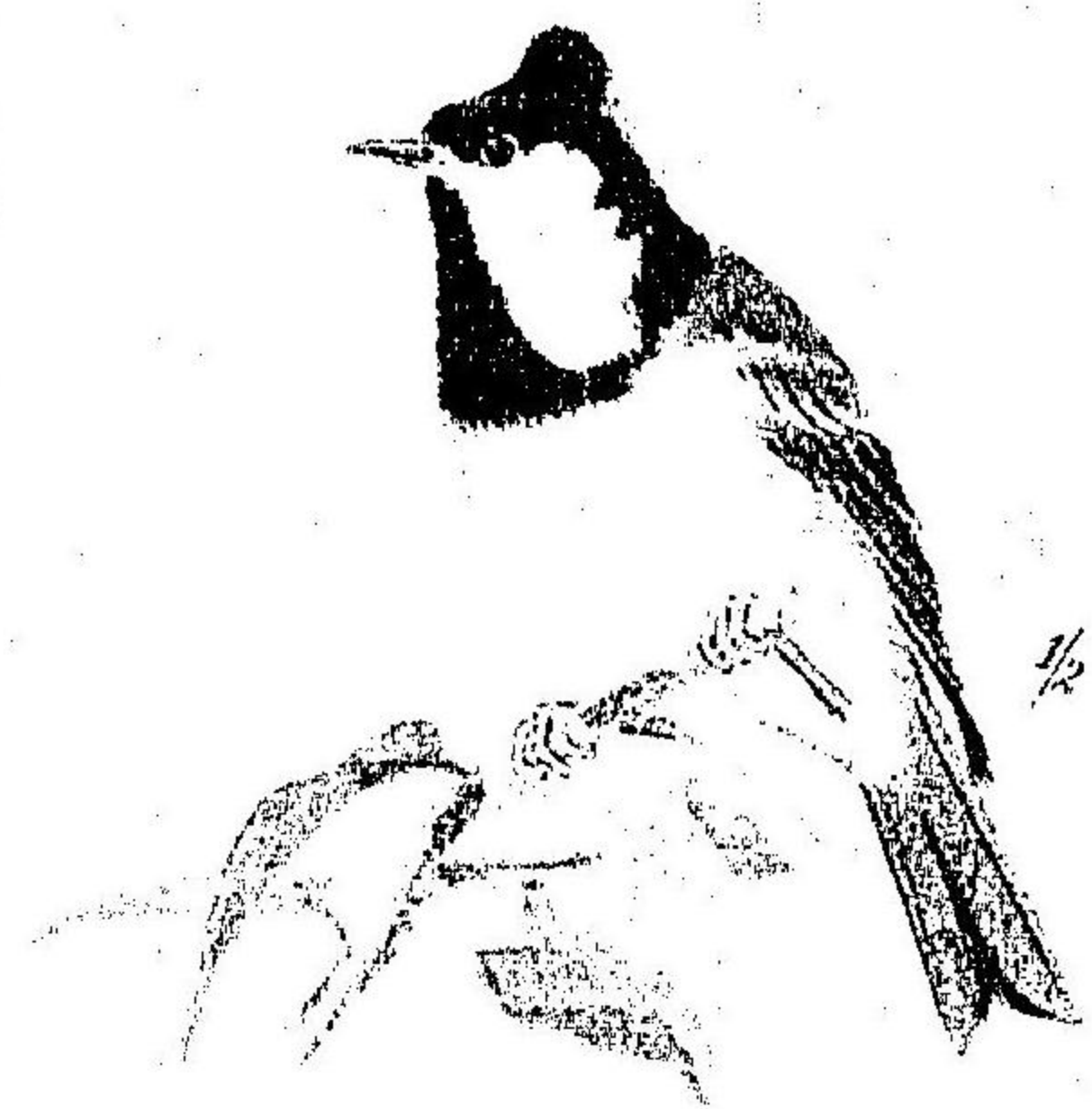
10 SAND-MARTIN 9 NEPALESE MOSQUE-SWALLOW 7 EASTERN CHIMNEY-SWALLOW
 11 BLACK-GHINNED MARTIN 8 LOOCHOD BUNGALOW-SWALLOW



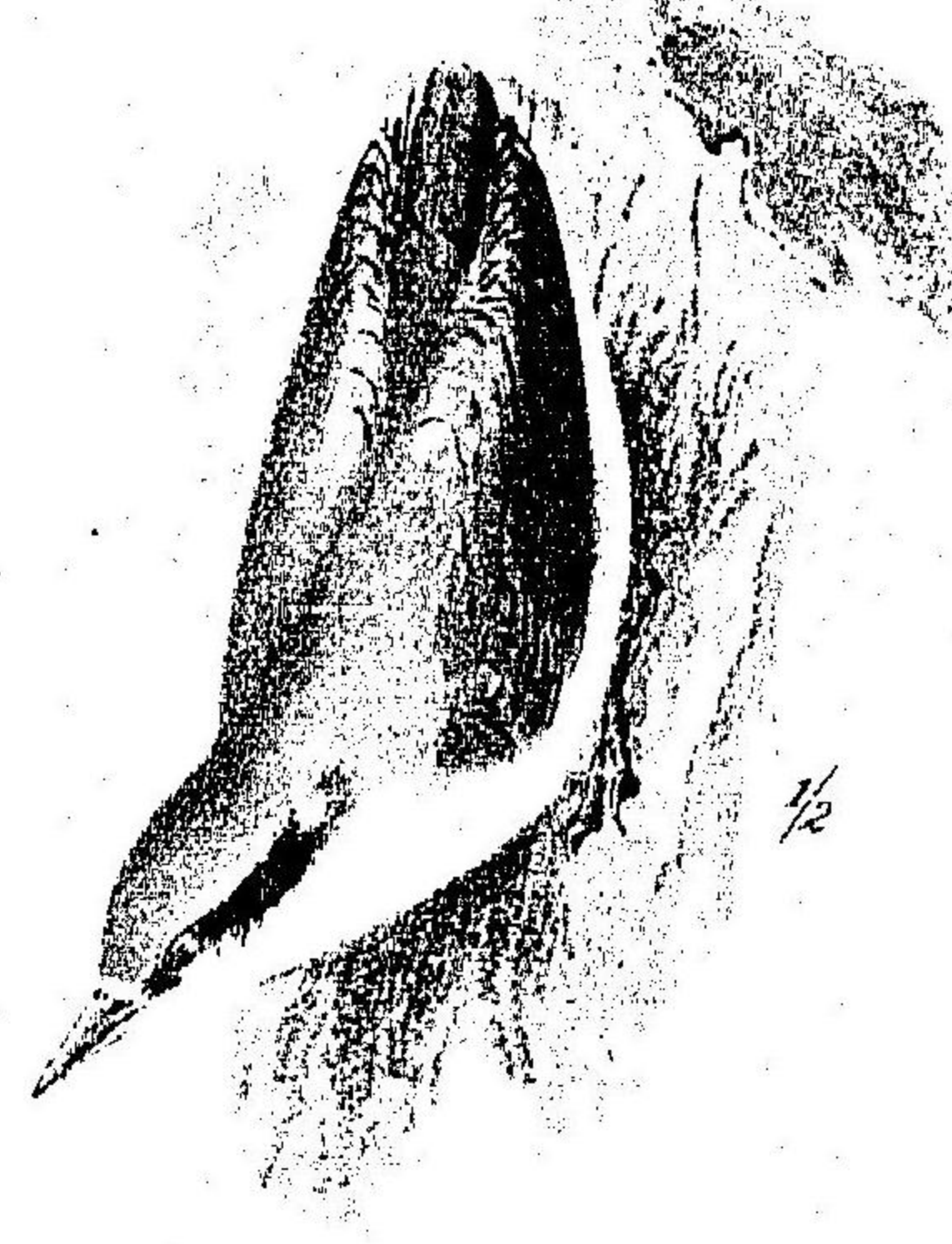
十四圖(十四)ウツカ



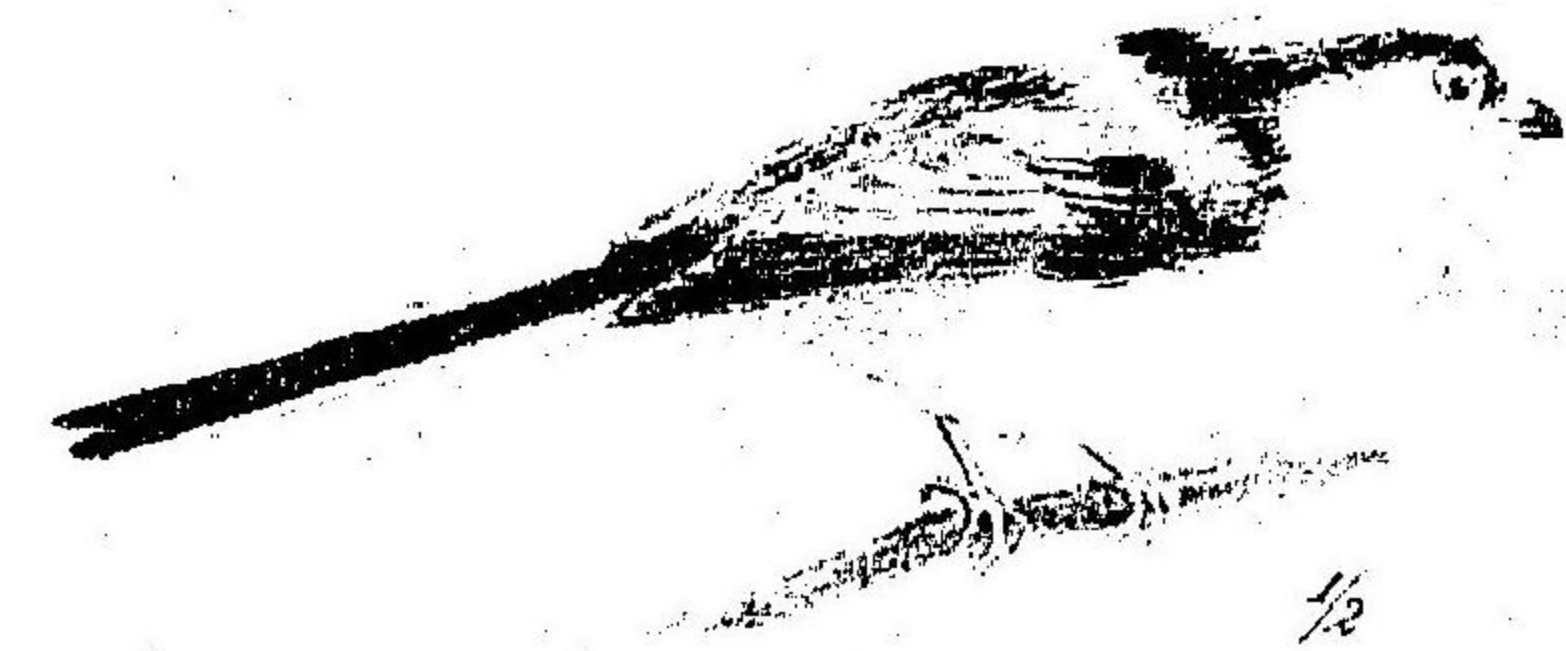
十二圖(十二)ウツカ



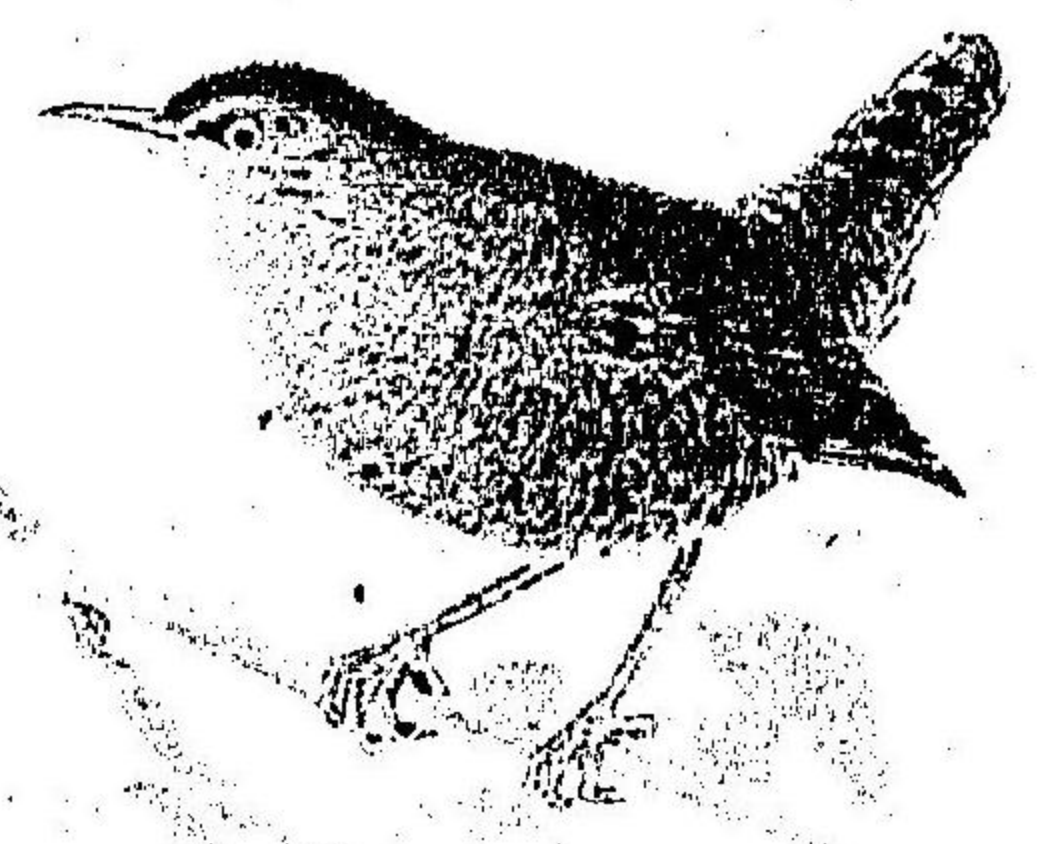
十五圖(十五)ヒガラ



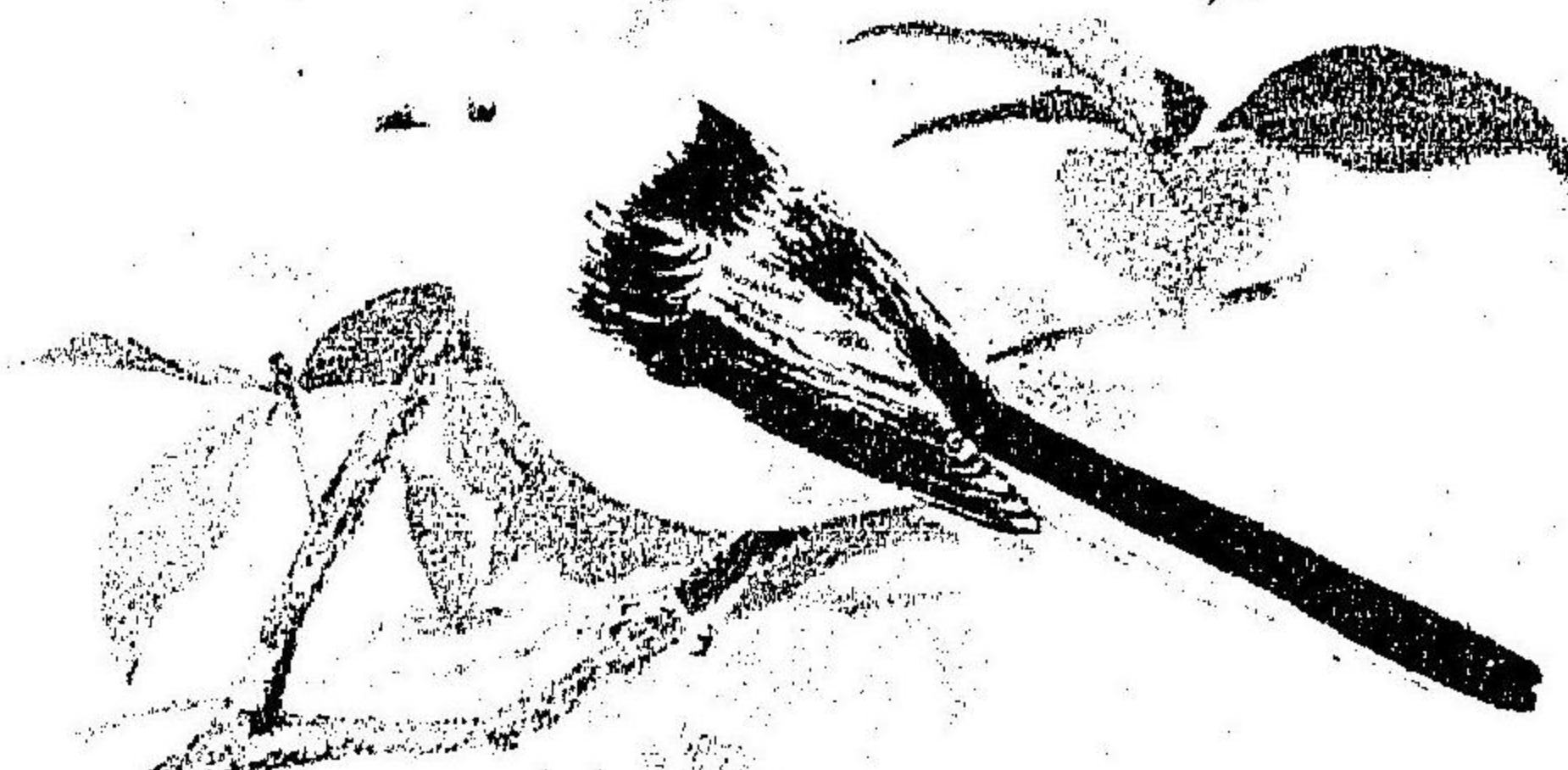
十三圖(十三)ゴジウカ



十六圖(十六)エナガ



十八圖(十八)ミンサザイ



十七圖(十七)シマエナガ

14 NUTHATCH
15 EASTERN COLE-TIT

12 JAPANESE MARSH-TIT
13 MANCHURIAN GREAT-TIT

16 JAPANESE LONG-TAILED TIT
17 CONTINENTAL LONG-TAILED TIT
18 JAPANESE WREN





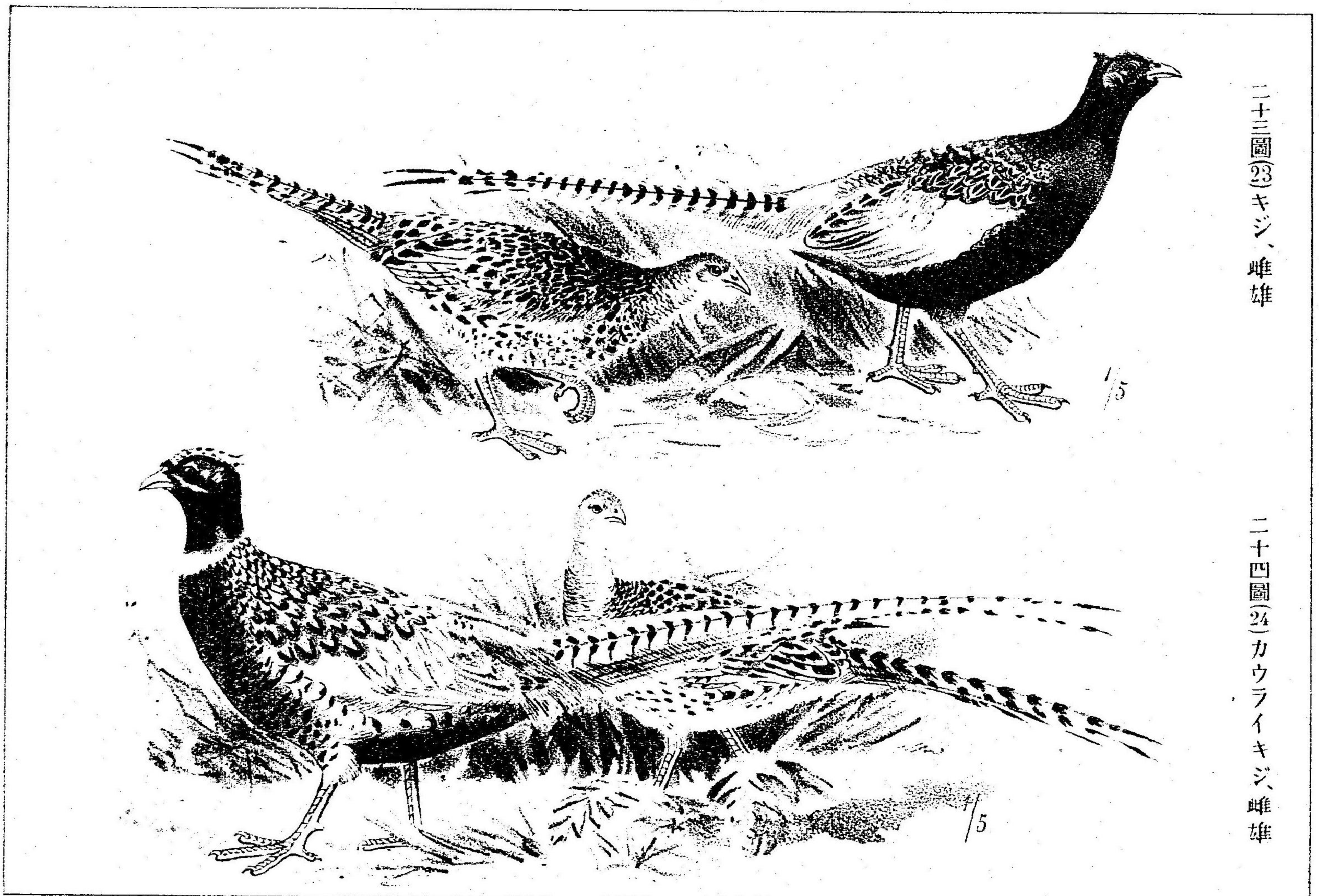
十九圖(19)サンクワウヂウ

二十圖(20)甲乙ツドリ

二十一圖(21)クワクコウ

二十二圖(22)ホトギス

19. JAPANESE PARADISE FLYCATCHER, ♂ & ♀.
20. COMMON CUCKOO.
21. HIMALAYAN CUCKOO.
22. LITTLE CUCKOO.



二十三圖(23)キジ、雌雄

二十四圖(24)カウライキジ、雌雄

23. JAPANESE GREEN PHEASANT.
24. CHINESE RING-NECKED PHEASANT.



一十五回ヤマドリ雄

一十六回ヤマドリ雌

COPPER PHEASANT. ♂ & ♀



27. KYUSHYU COPPER PHEASANT.
28. KAMTSCHATKAN WAGTAIL.
29. JAPANESE WAGTAIL.



三十圖(30)キセキレイ冬羽

三十二圖(32)ソミセキレイ

三十四圖(34)ホシロセキレイ

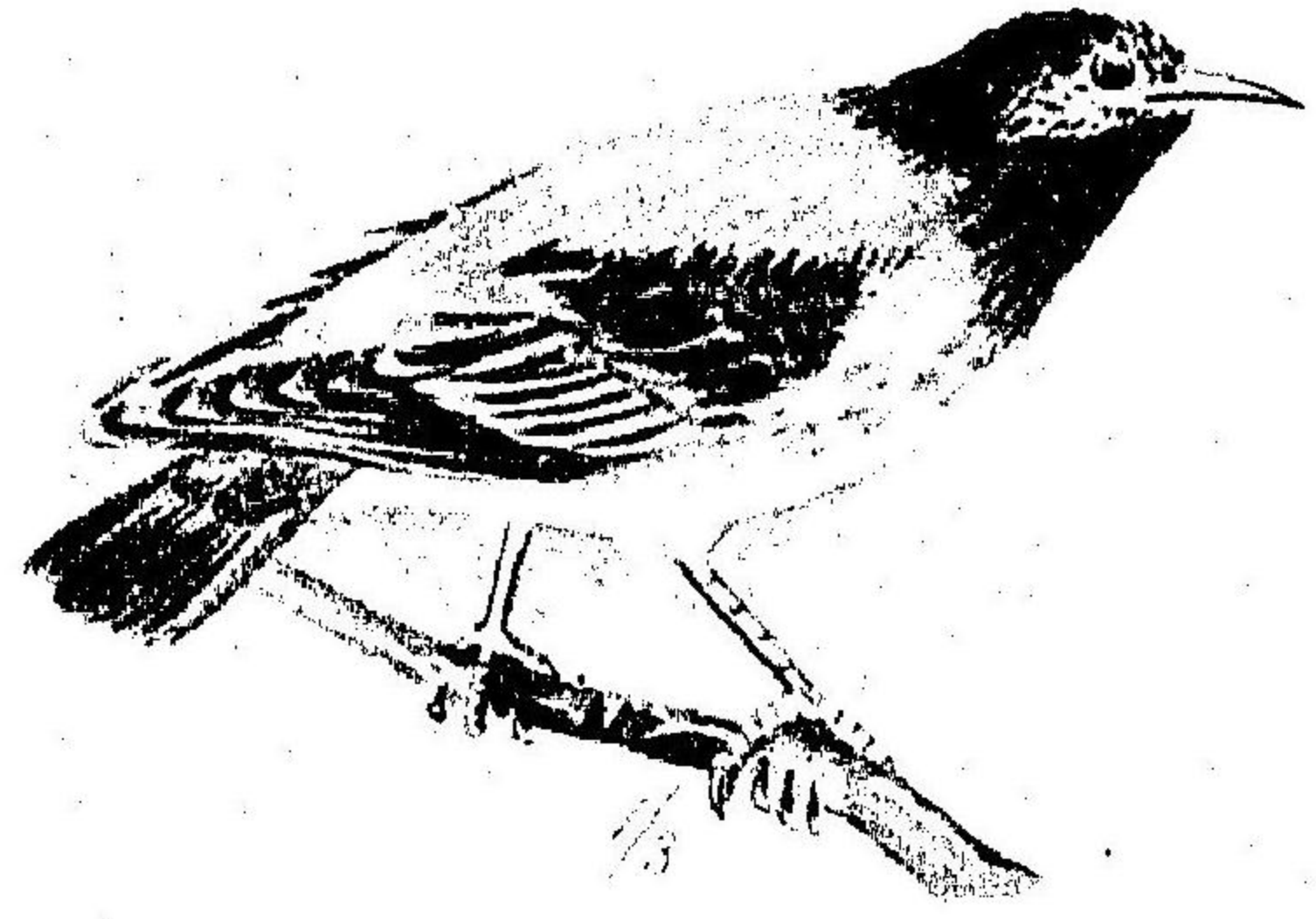
三十一圖(31)キセキレイ夏羽

三十三圖(33)ソミセキレイ

33 BLUE-HEADED WAGTAIL
34 BLUE-HEADED WAGTAIL

32 INDIAN WAGTAIL

30 EASTERN GREY WAGTAIL
31 DITTO IN SUMMER PLUMAGE



三十五圖(35)ムクドリ



三十六圖(36)ムクドリ、雌雄



三十七圖(37)カラムドリ、雄雌

- 35. GREY STARLING.
- 36. RED-CHEEKED STARLING.
- 37. CHINESE STARLING.



三十九圖(38) ムシビタキ、雄雌

四十一圖(41) ノビタキ、雄雌

四十三圖(43) コサメビタキ

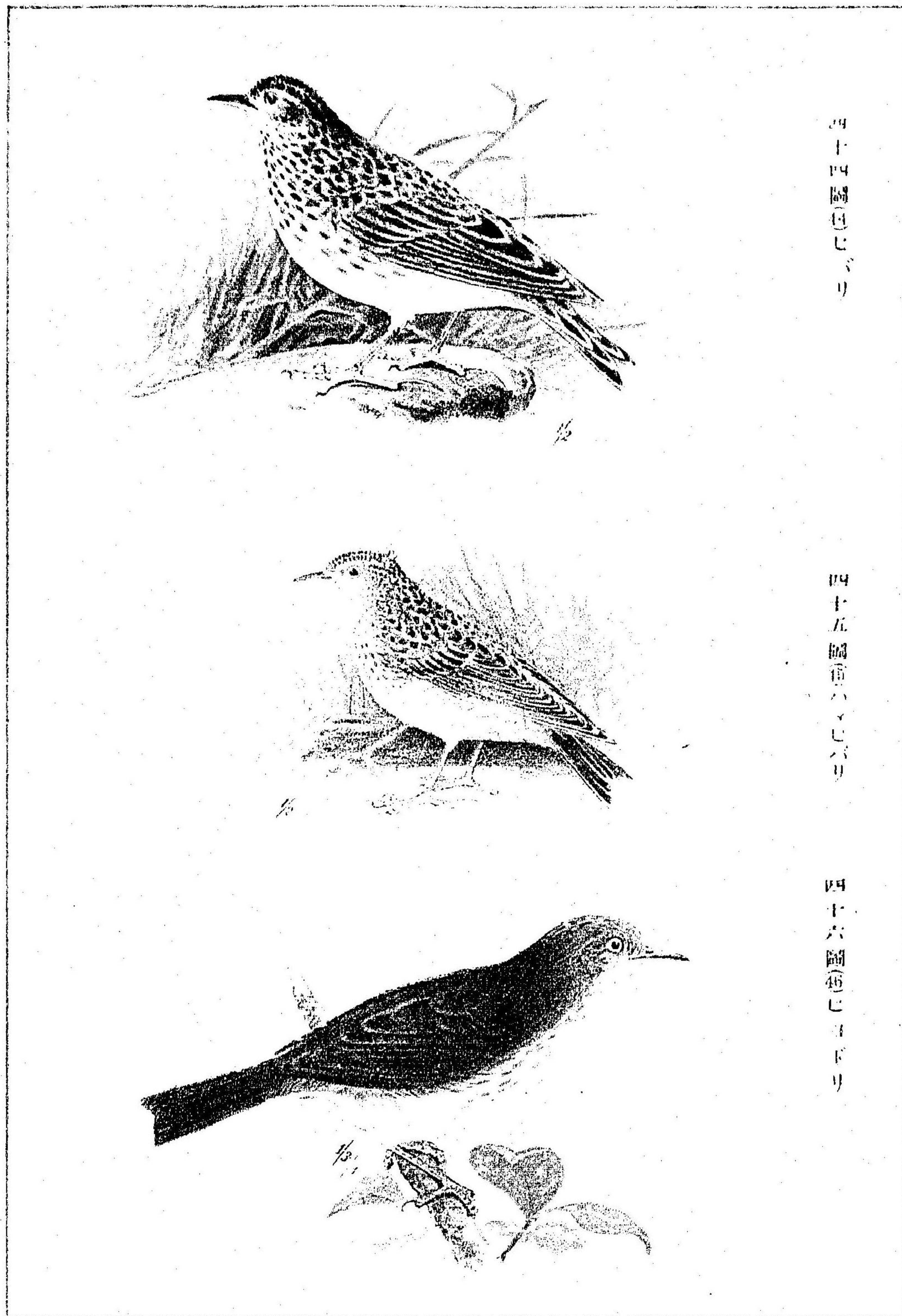
三十八圖(38) ショウビタキ、雄雌

四十圖(40) キビタキ、雄雌

四十二圖(42) サメビタキ

38. DAURIAN REDSTART, ♂ & ♀.
39. SIBERIAN BLUE-TAIL, ♂ & ♀.
40. NARCISSUS FLYCATCHER, ♀ & ♂.

41. SIBERIAN STONECHAT, ♂ & ♀.
42. SIBERIAN ELYCATCHER.
43. BROWN FLYCATCHER.



四十四圖(包)ヒバリ

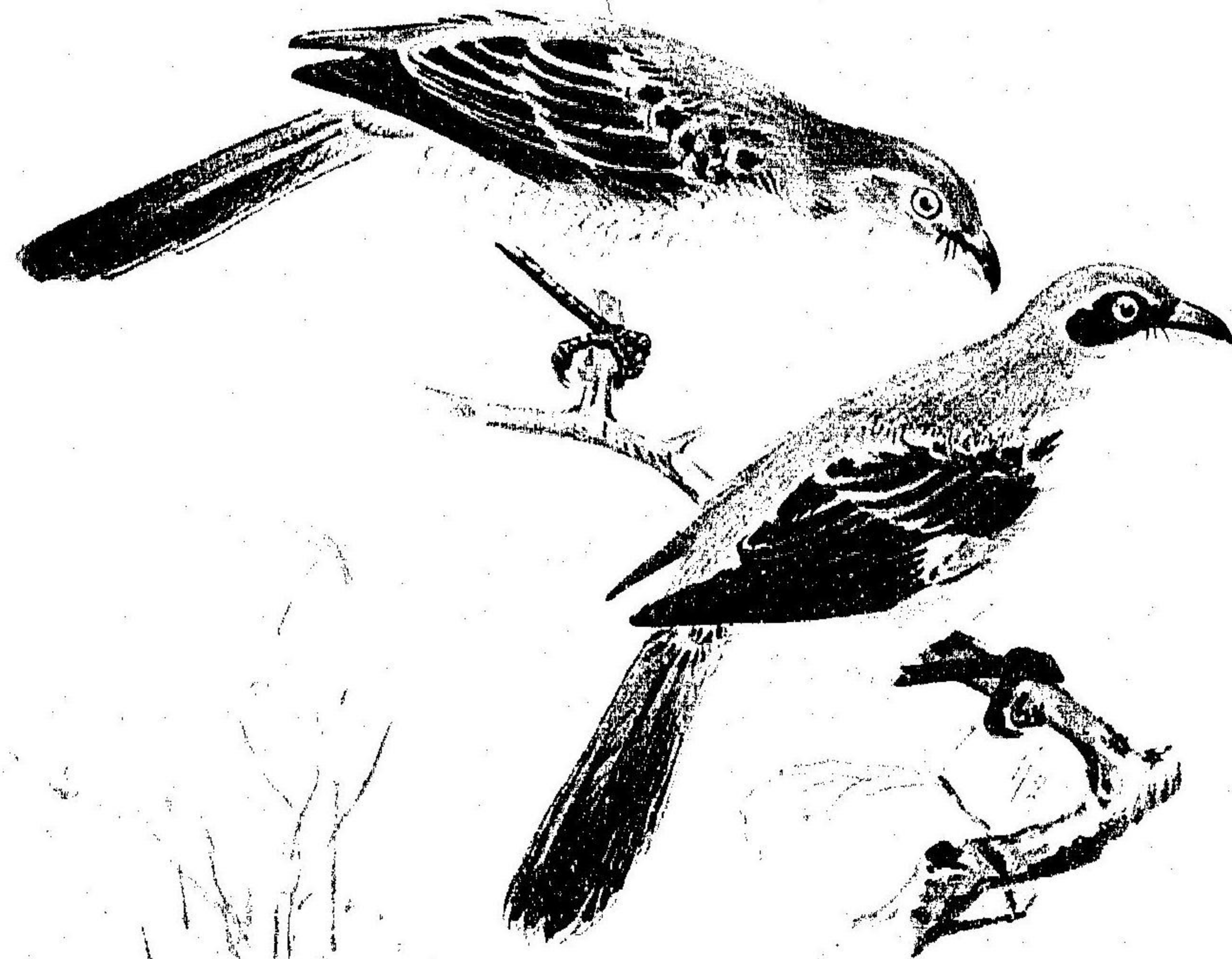
四十五圖(包)ハマヒバリ

四十六圖(包)ヒヨドリ

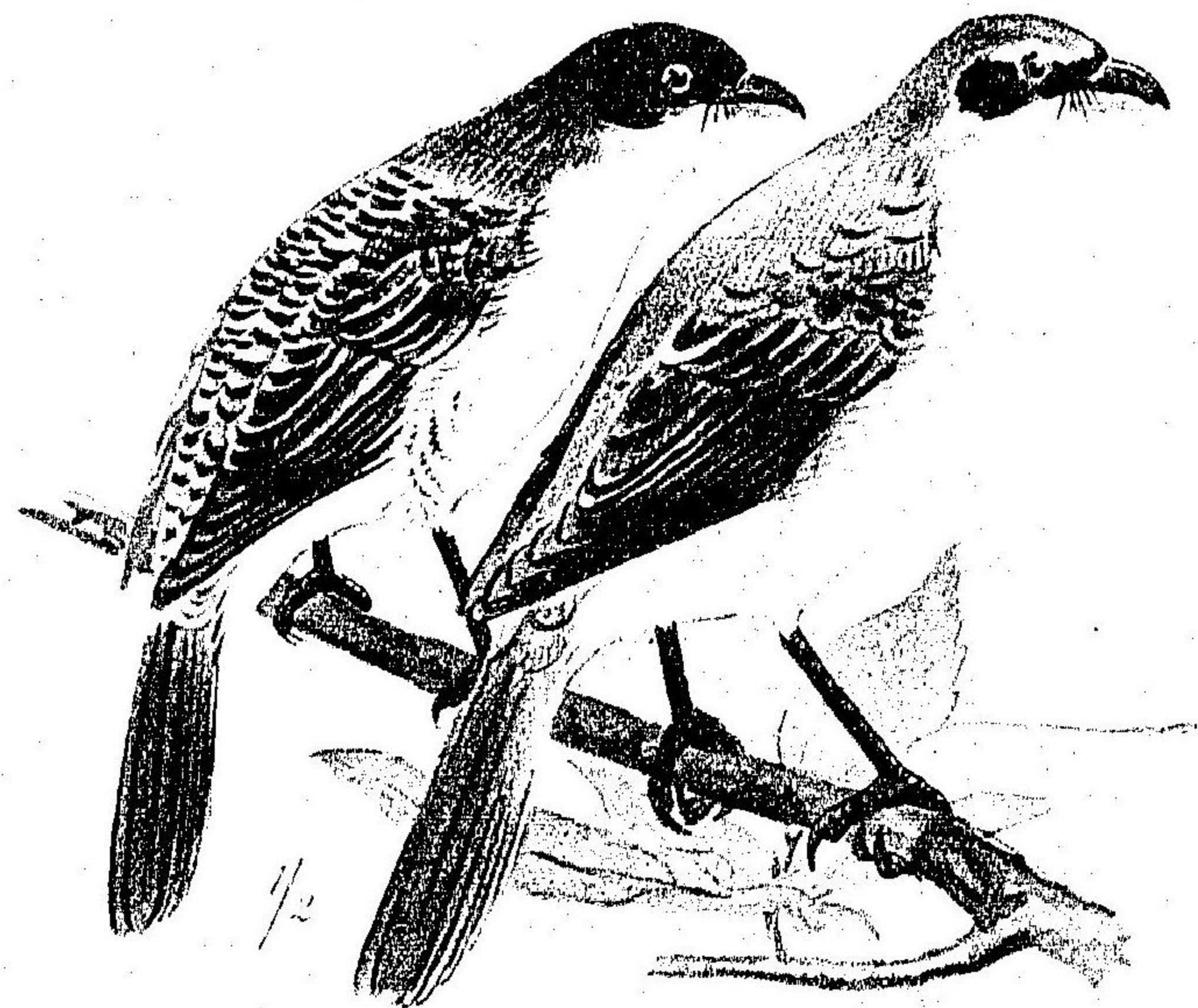
44 JAPANESE SKY-LARK

45 SHORE-LARK

46 BROWN-EARED BULBUL



四十七圖(百)ヒメ雌雄



四十八圖(百)アカモズ

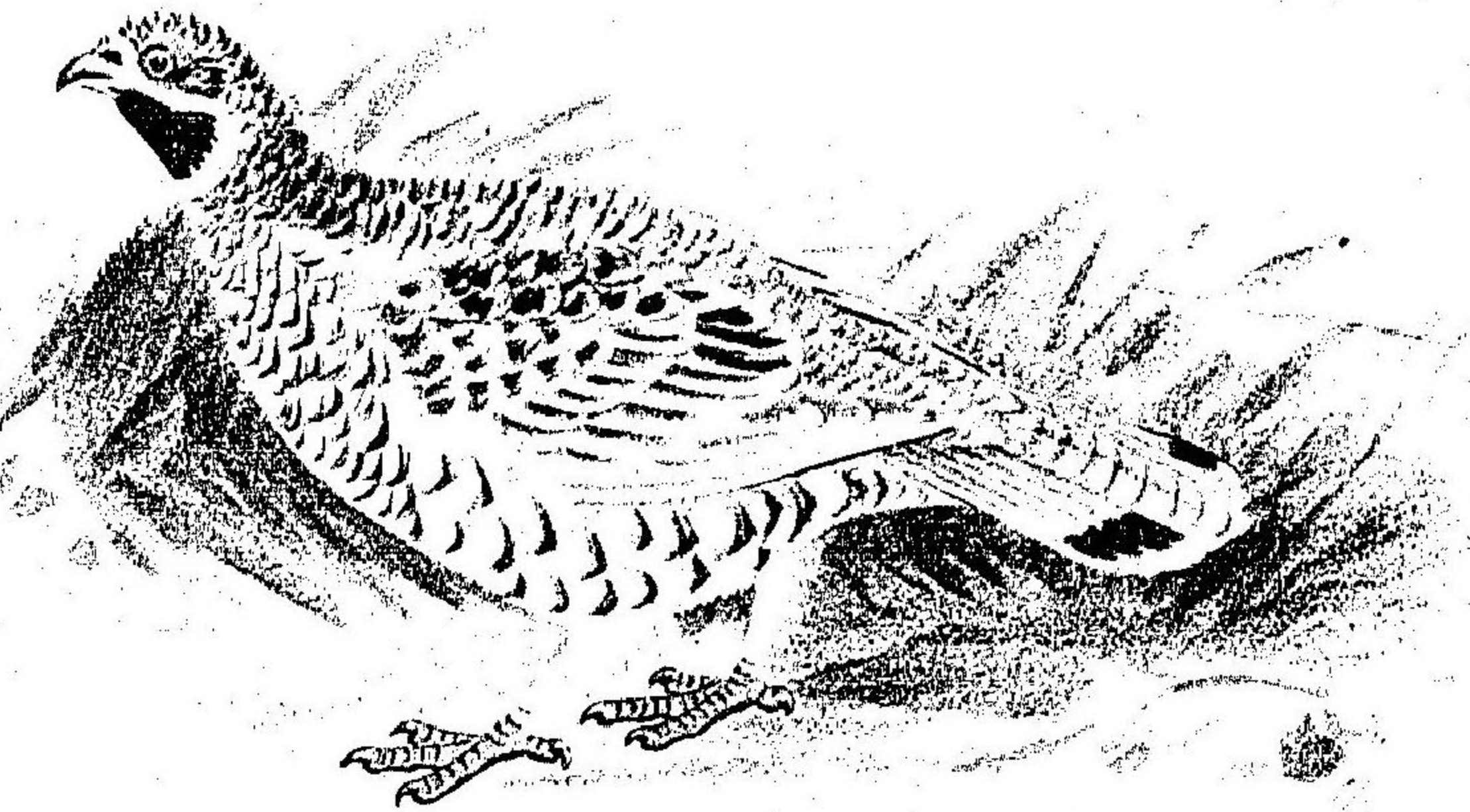
四十九圖(百)チビモズ

- 47. BULL-HEADED SHRIKE. ♀ & ♂.
- 48. JAPANESE RED-TAILED SHRIKE.
- 49. THICK-BILLED SHRIKE.

五十一圖(51)クマドリ雄

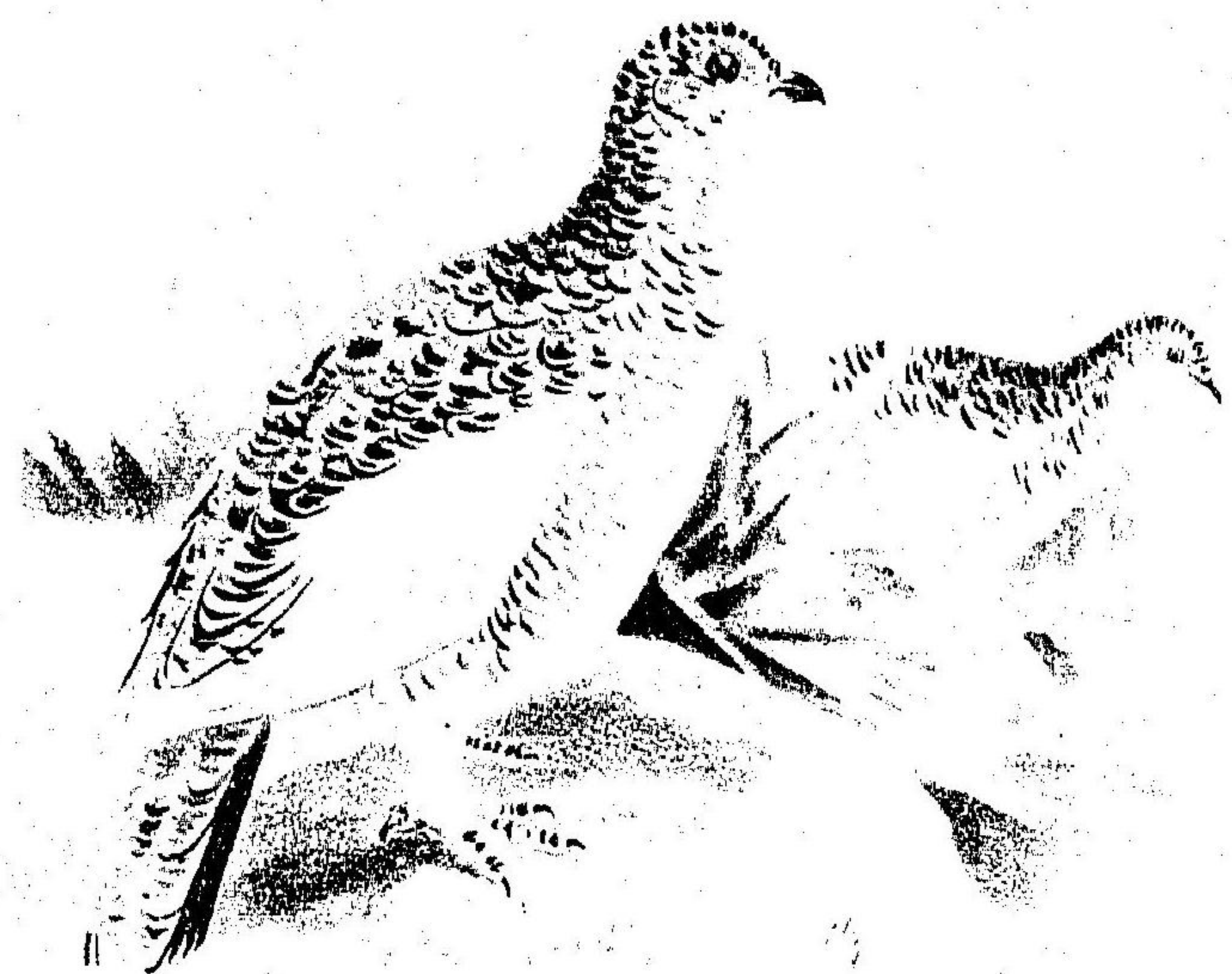


五十二圖(52)エゾヤマドリ雄



五十二圖(52)エゾヤマドリ雄

50. PALLAS' GREY SHRIKE.
51. PIGMY WOODPECKER.
52. HAZEL GROUSE.



五十三圖(五)ノイテウ、夏羽



五十四圖(五)ノイテウ、冬羽

53. PTARMIGAN IN SUMMER-PLUMAGE.

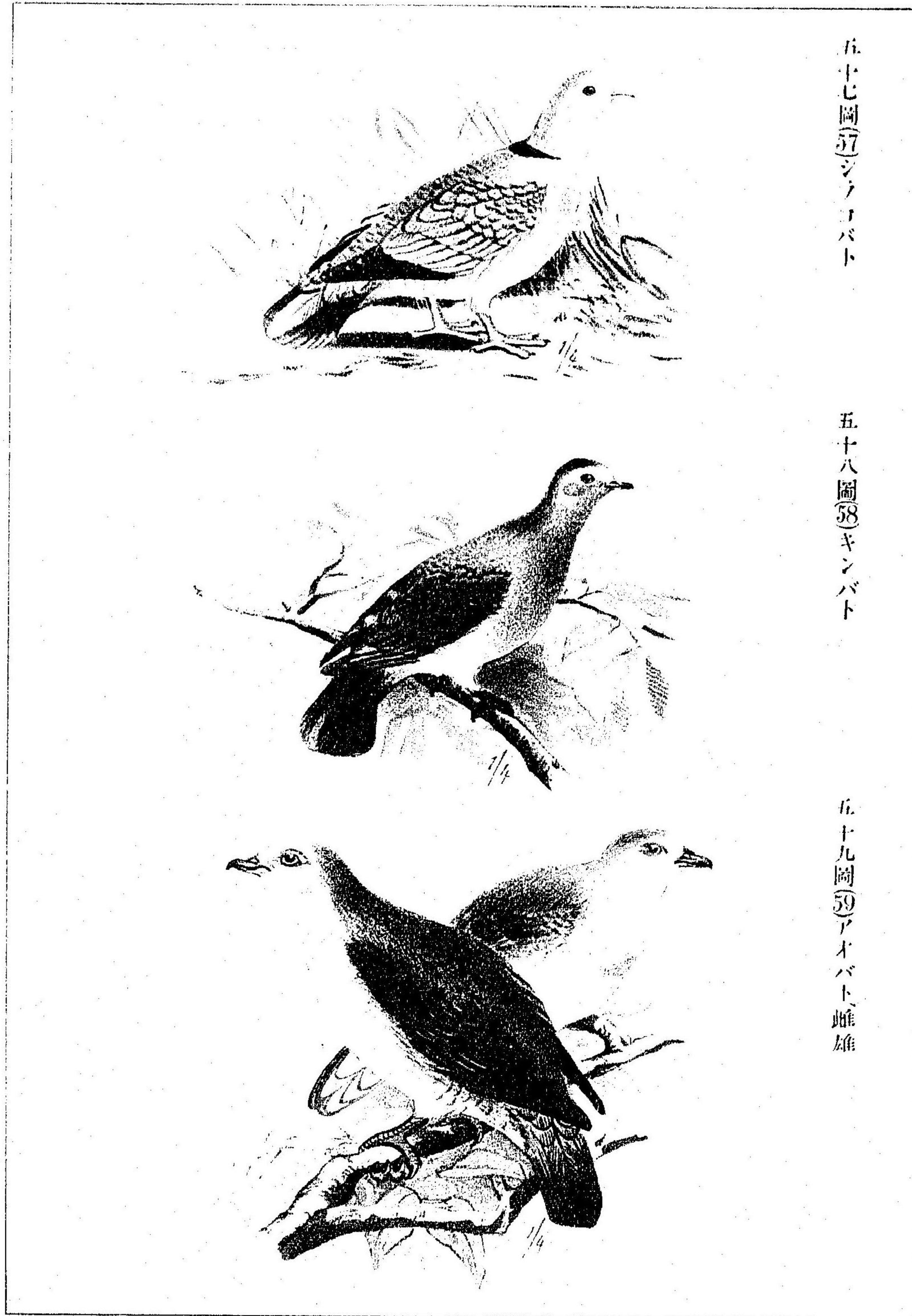
54. PTARMIGAN IN WINTER-PLUMAGE.



五十五圖 55 方ハラバト

五十六圖 56 キジバト

55. BLUE ROCK-PIGEON.
56. EASTERN TURTLE-DOVE.



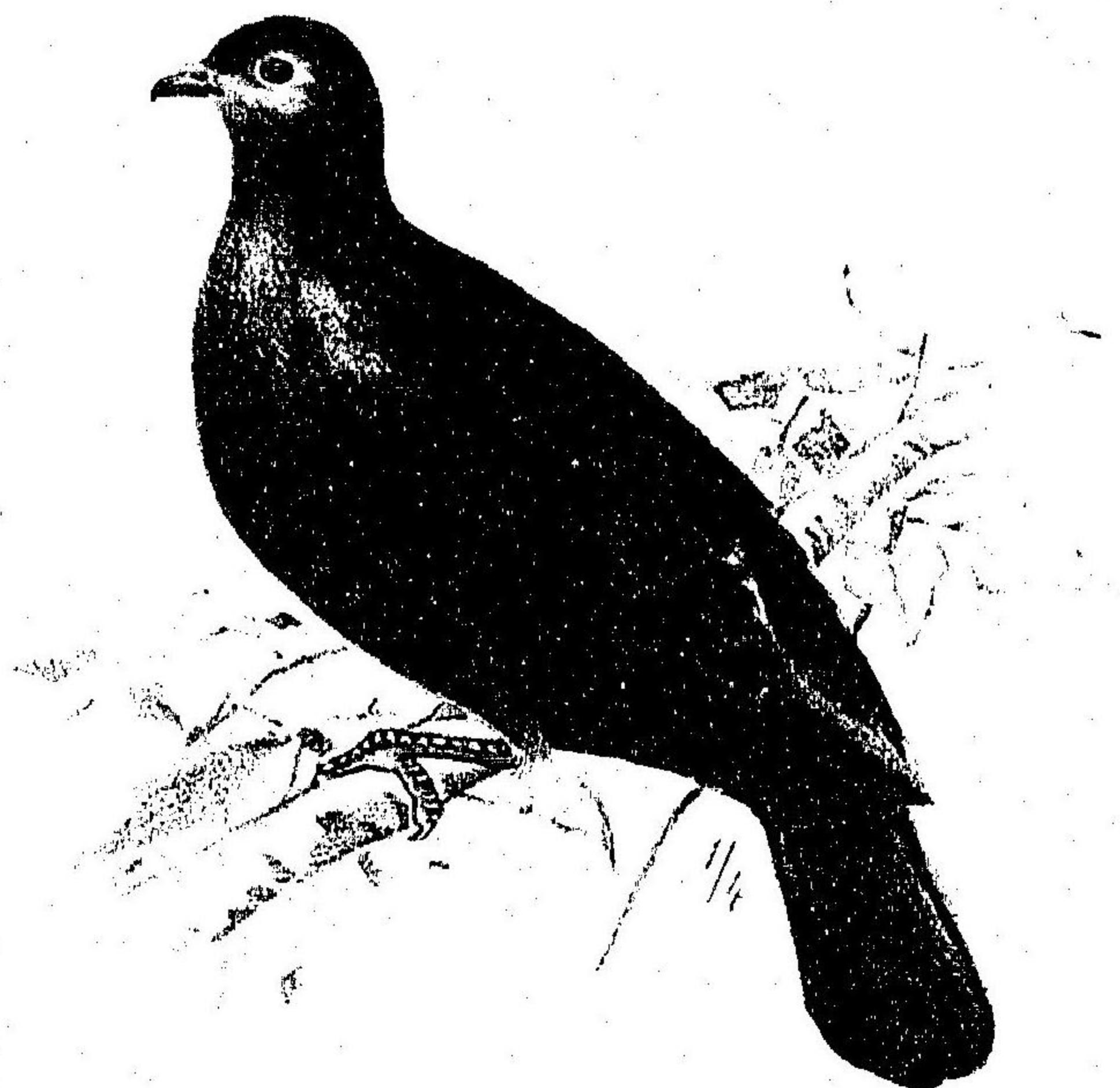
五十七圖(57) シノコバト

五十八圖(58) キンバト

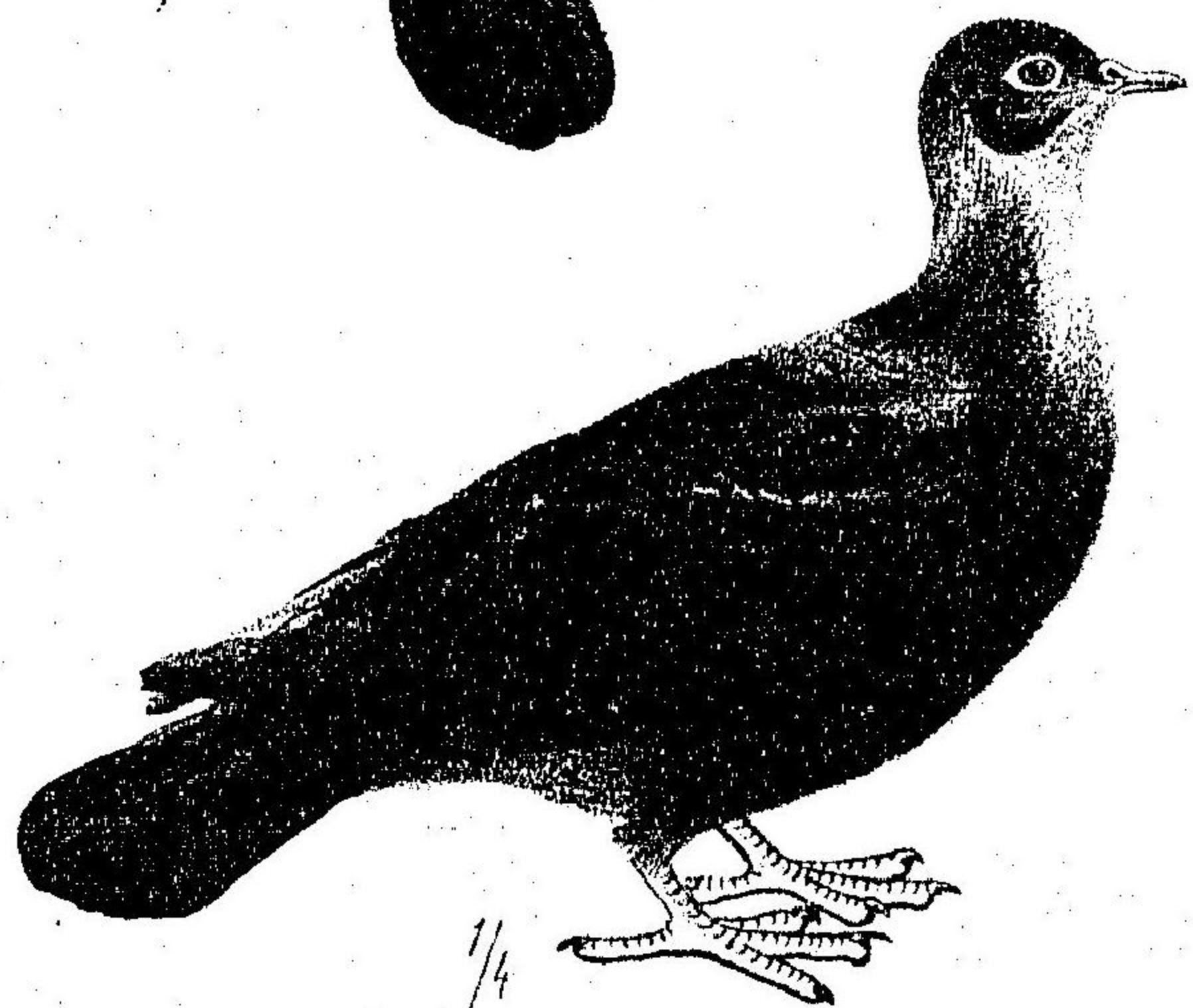
五十九圖(59) アオバト、雌雄

57. COMMON INDIAN DOVE.
58. GREEN-WINGED DOVE.
59. JAPANESE GREEN PIGEON.

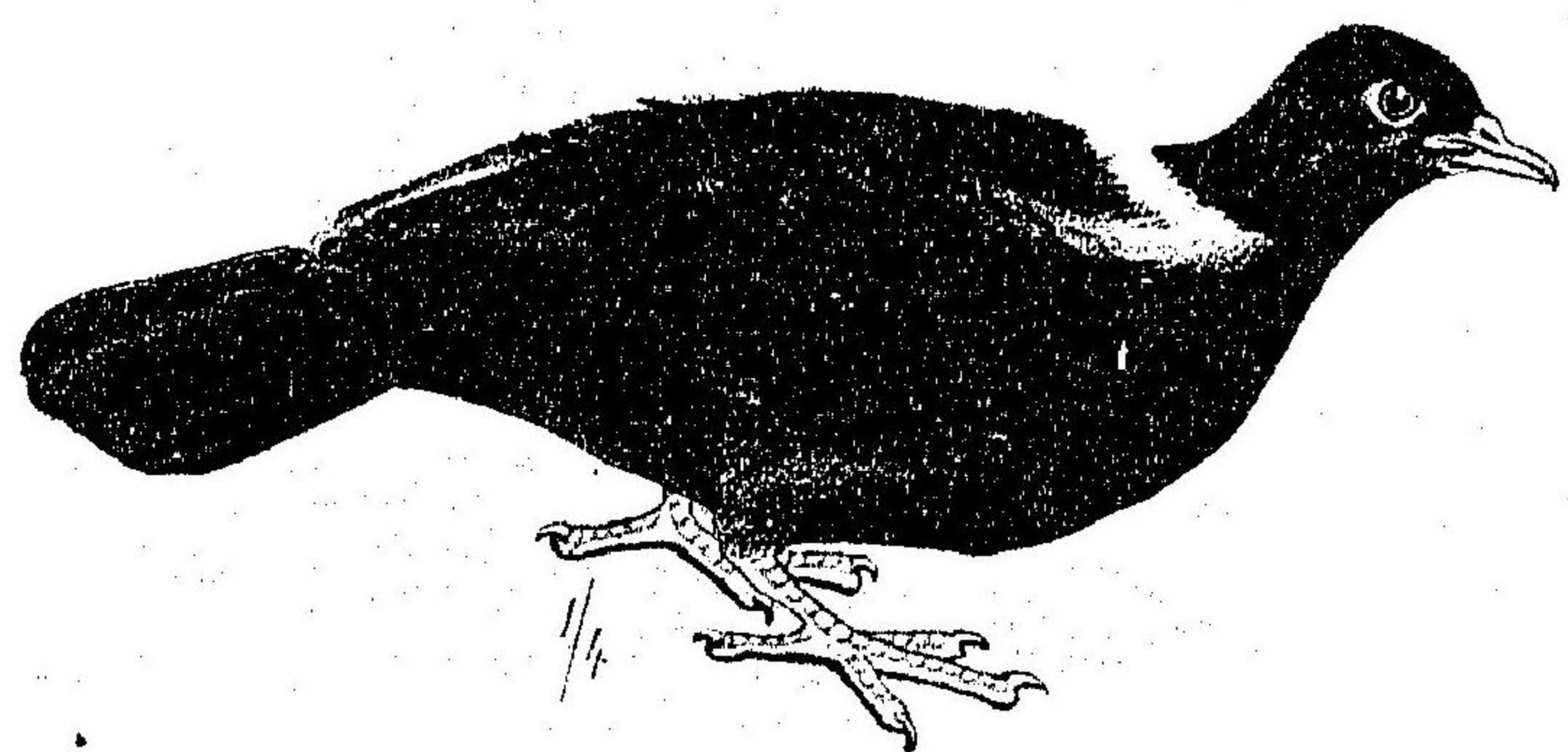
六十圖(60)カラスバト



六十一圖(61)アカミシラカラスバト



六十二圖(62)リウキウカラスバト



- 60. JAPANESE FRUIT-PIGEON.
- 61. STEJNEGER'S FRUIT-PIGEON.
- 62. LOOCHOO FRUIT-PIGEON.

明治三十一年三月十三日印刷
明治三十一年三月十七日發行

農商務省農務局



發行者

東京市神田區一ツ橋通町七番地

江草斧太郎

印刷者

東京市神田區錦町三丁目廿五番地

熊田宜遜

印刷所

東京市神田區錦町三丁目廿五番地

熊田活版所

發賣所

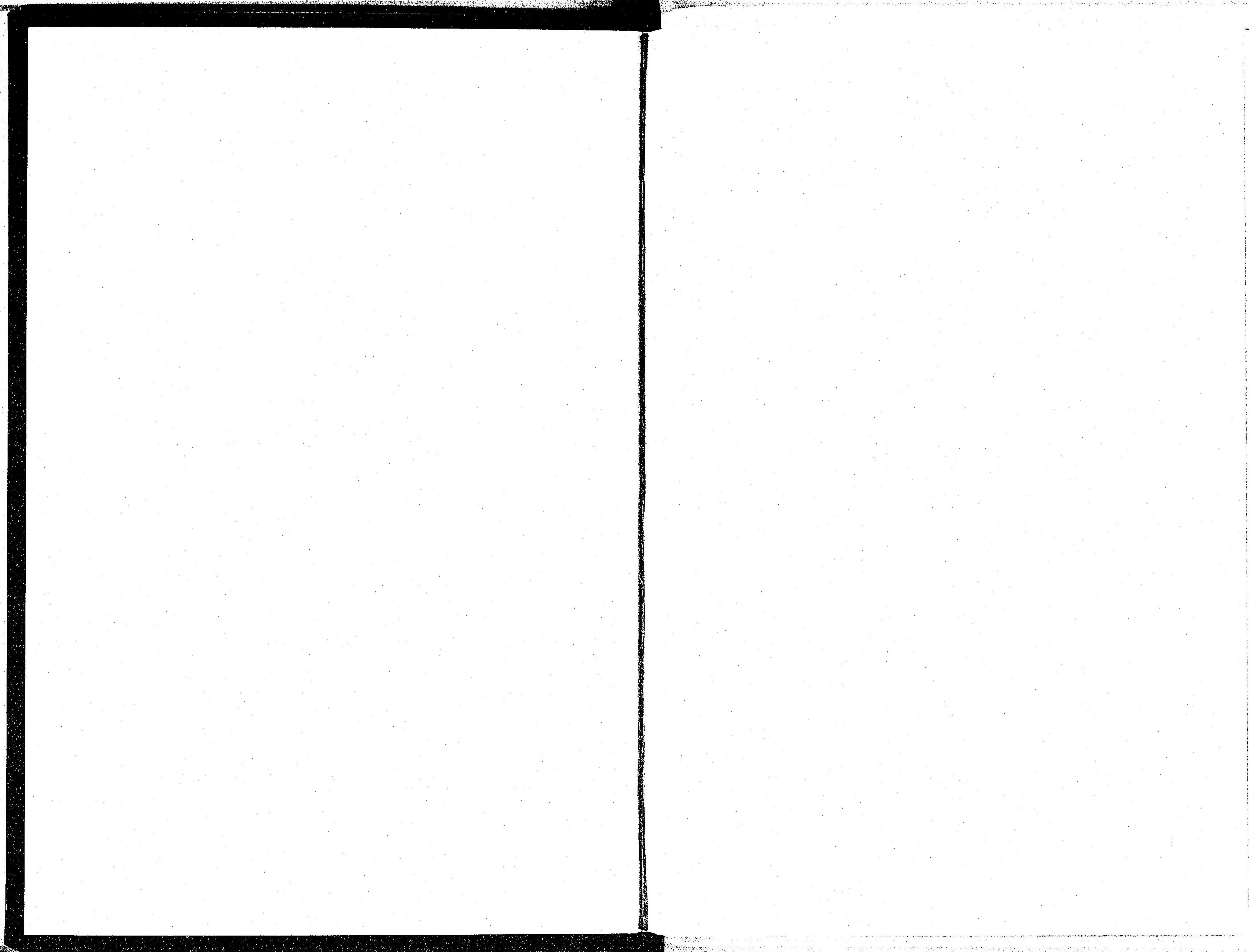
東京市神田區一ツ橋通町七番地

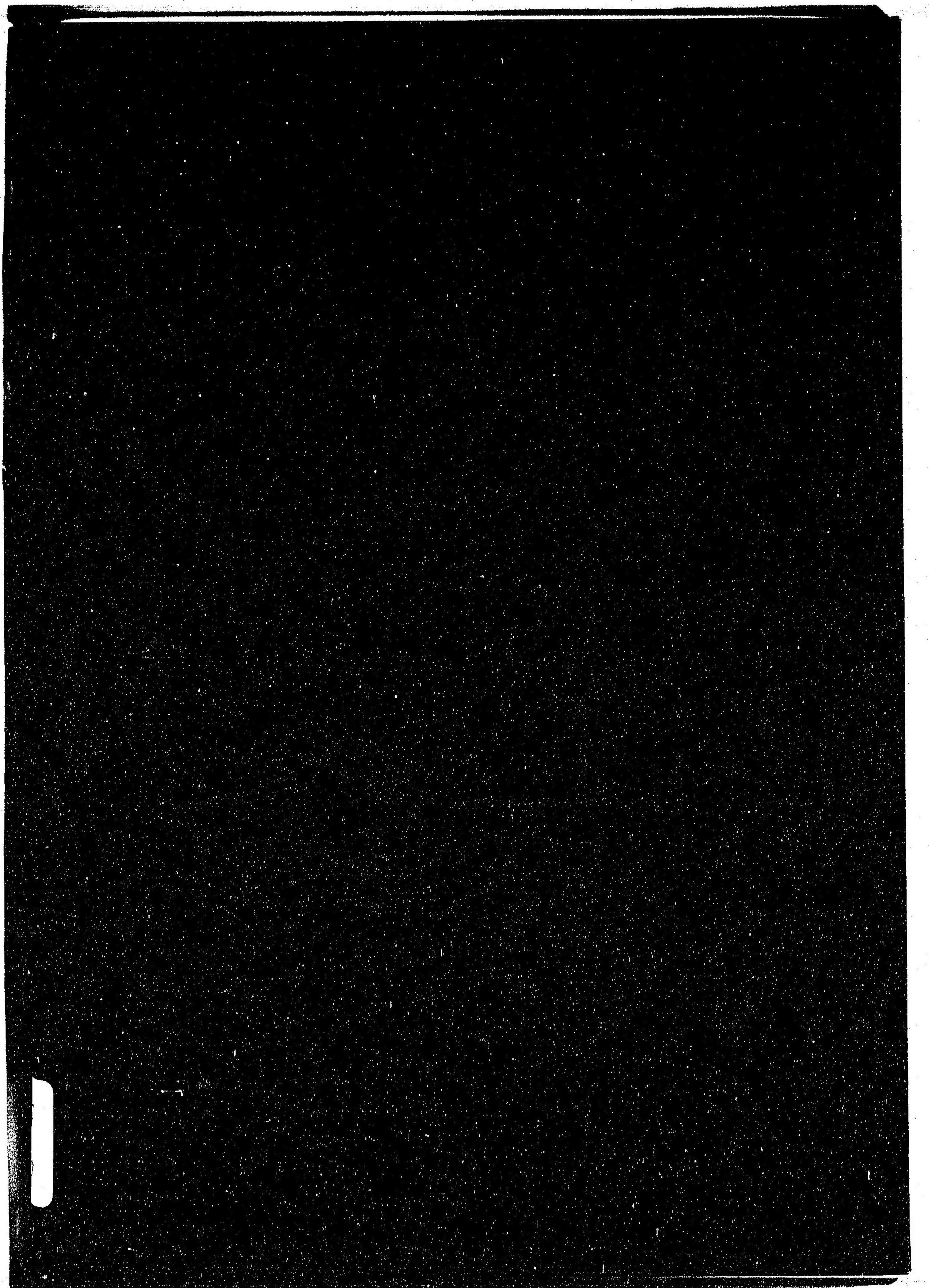
有斐閣書房

(電話本局二二二四番)

鳥獸保護期一覽表 但シ黑色ハ保護期トス

| 鳥獸名 | 一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 十二月 |
|-------|----|----|--------------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 鶴 | | | | | | | | | | | | |
| 燕 除岩燕 | | | | | | | | | | | | |
| コガラ | | | | | | | | | | | | |
| ヒガラ | | | | | | | | | | | | |
| シツツカラ | | | | | | | | | | | | |
| ゴシツカラ | | | | | | | | | | | | |
| エナガ | | | | | | | | | | | | |
| ミンサハ | | | | | | | | | | | | |
| 杜鵑 | | | | | | | | | | | | |
| 郭公 | | | | | | | | | | | | |
| 三光鳥 | | | | | | | | | | | | |
| ヤマドリ | | | 全 日五 全 日六 | | | | | | | | | |
| セキレイ | | | | | | | | | | | | |
| ムクドリ | | | | | | | | | | | | |
| ヒタキ | | | | | | | | | | | | |
| ヒヨドリ | | | | | | | | | | | | |
| モズ | | | | | | | | | | | | |
| コケラ | | | | | | | | | | | | |
| 雷鳥 | | | | | | | | | | | | |
| ヒバリ | | | | | | | | | | | | |
| エシヤドリ | | | | | | | | | | | | |
| 鳩 除鳩 | | | | | | | | | | | | |
| 牝鹿 | | | | 全 | | | | | | | | |
| 牡鹿 | | | | 全 | | | | | | | | |





75

47

057657-000-6

75-47

保護鳥図譜

飯島 魁 / 編

M31

CAR-0260



